

令和6年度

北海道立近代美術館

HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART

年報

目次

1	運営基本方針・計画.....	2
2	事業実施状況	
2-A	収集・保管	
2-A-1	美術作品の収集	
	作品収集状況.....	3
	新収蔵作品目録.....	4
2-A-2	美術作品の保存・修復	7
2-B	展覧会	
2-B-1	展覧会一覧	8
2-B-2	展覧会出品目録	10
2-B-3	美術作品の貸出	50
2-C	教育普及活動	
2-C-1	教育普及活動一覧	51
2-C-2	資料・情報関係	
	特別観覧・情報資料.....	55
	刊行物	56
2-D	調査研究.....	57
2-E	地域との協力事業.....	69
3	評価.....	72
4	リニューアル.....	78
5	名簿・沿革.....	79

1 運営基本方針・計画

【基本方針】 北海道立近代美術館は、北海道立三岸好太郎美術館とともに、多様な人々が互いを受け入れ、活かし合う、創造性と活力にあふれる社会の実現を目指し、美術館としての活動に取り組んでいきます。		
---	--	--

基本的運営方針		取組項目	事業実施計画
A 優れた作品の収集と適切な保管	5つの収集方針に基づいて、優れた作品を計画的に収集し、系統的で個性的なコレクションを形成します。併せて関連資料の整備を進めます。また、IPM(総合的有害生物管理)の進展や当館施設設備の特色と老朽化をふまえながら、保存環境を整備するとともに、作品の修復を計画的に行うなどしながら、作品を適切に保管します。	優れたコレクションの形成	●美術に関する調査研究と収集方針に基づいて、美術史の視点からコレクションの欠けた部分や手薄な部分を洗い出し、それらをリストアップした収集計画を更新する。 ●リストアップされた作品の入手可能性に関する情報を収集し、購入や受贈により計画を実現する。
		所蔵作品の適切な保管	●IPM（総合的有害生物管理）の進展に学びながら、ひと月に1回程度の収蔵庫内清掃や虫トラップの設置・観察・分析等を通して、適切な展示・保存環境を保持する。 ●保存と活用のために修復が必要な作品のリストを更新し、計画的に修復を進める。 ●増加する図書や資料類の収納スペースを確保するため、図書や映像資料、過去の展覧会資料等の整理とデジタル化に努める。 ●所蔵品データベースの確認作業を行い、データの精度を高める。 ●二次資料の幅広い活用と公開を目的とするアーカイヴ（記録・資料保管システム）のあり方について研究する。
		コレクションの効果的な活用	●R5年度に新たに収蔵した作品を「新収蔵品展」において公開するほか、「この1点を見てほしい。」を開催し、作品の魅力を深く掘り下げた研究の成果を紹介する。 ●両方の展示室を使って開催する「星の瞬間」展では、学会員のコレクション研究と現代美術作家の作品により、北海道美術の歴史を再検証する。
B 多彩で特色ある展示活動の充実	収蔵作品を紹介する「近美コレクション」展を、当館の個性を強く発信するとともに、コレクションをすべての人々に向かって開く最も重要な機会と位置づけ、コレクションの魅力や調査研究の進展を伝えます。また、「特別展」では、様々な鑑賞のニーズに応えるとともに、人間と文化の多様性について理解を深める機会となるように、幅広い時代と分野のアートを紹介します。併せて、個性の異なる誰もがアートの親しむことができる展示について研究を進めます。	多様なニーズに応える展覧会の開催	●近美コレクションについては、エコール・ド・パリの象徴的な画家バスキンを検証する「越境者バスキン」、アートギャラリー北海道事業として苫小牧市美術博物館の所蔵品を紹介する「港の今昔」等を開催するほか、子どもが大人を連れて訪れたいくなるような美術館を目指し、新たな企画として「ウィズ・キッズ'24」を開催する。 ●国内外の優れた作品を紹介する特別展については、国宝《鳥獣戯画》ほかを紹介する「京都 高山寺展」をはじめ、皇居三の丸尚蔵館の収蔵品から、北海道ゆかりの作品を中心にピックアップした「皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝」、北海道の美術を学会員と現代アーティストによって読み直す「星の瞬間」、北海道書道連盟の70周年展(貸館)等、近世の日本画や北海道の美術などの幅広い時代・地域・分野に渡る5つの展覧会を開催する。
		観覧者拡充のための工夫	●チラシやポスター等の紙媒体のほか、道立美術館ポータルサイト、ホームページ、X（旧ツイッター）、フェイスブックを通じて、展覧会情報や見どころを細やかに発信する。 ●当館収蔵作品のなかでも人気の高い片岡球子の「面構」シリーズ、岩橋英遠の《道産子追憶之巻》を、それぞれⅠ期とⅡ期のコレクション展において展示する。 ●障がい者、子どもを対象とした展示について研究を深める。
		館外における鑑賞機会の提供	●道内外の美術館からの作品借用希望に協力し、当館来館者以外にもコレクションの鑑賞機会を提供する。主な貸出予定は、道立旭川美術館「オブ・アート展」に約120点、道立釧路芸術館「自然への眼差し」展に5点、三岸好太郎美術館「モダニストの蝶」展に3点、等。
C 学習の場と情報提供の充実	コレクション、展示、調査研究に結びつけながら、個人の成長・年齢や個性に応じたラーニング・プログラムを企画し、実施します。特に鑑賞学習支援ツールとオンラインについて、効果的な活用を進めます。また、コレクションのデジタル・データ化や、ホームページとSNSの活用によって、発信する情報の魅力アップに取り組みます。	教育普及活動の充実	●作品鑑賞の補助ツールとしてスマートフォンアプリ「ポケット学会員」を利用した音声ガイドのコンテンツを増やす。特に、当館前庭と知事公館庭園の野外彫刻のガイドプログラムを充実させることで、当館・三岸好太郎美術館のあるエリア一帯の魅力向上を図る。 ●近美コレクションの内容と連動したワークショップを実施して、鑑賞と制作が一体化した芸術体験の機会を提供する。 ●「ウィズ・キッズ'24」の関連事業として、子どもを対象とするギャラリー・ツアーを実施する。 ●幅広い層に美術館の利用を促すため、外部研究者による特別展に関連した講演会、美術館の雰囲気を活かしたホールでのコンサート等を実施する。
		情報提供の充実	●HP及びSNSを通じ、迅速かつ積極的に、展覧会や関連事業の情報を発信する。 ●展覧会紹介動画「北海道リモート・ミュージアム」の新規コンテンツを制作し、ネット上で公開する。 ●ARSコーナーの魅力向上のため、図書や図録を整理し利便性の向上を図る。上映中の「北海道リモート・ミュージアム」のアーカイブ動画については、新しいコンテンツを編集次第、古いコンテンツと入れ替えて更新する。 ●コレクションのデータベースを着実に整備し、所蔵作品の基本情報を公開する。
D 活動の基礎となる調査・研究の推進	美術及び美術館に関する調査研究を、これまでの蓄積と新たな知見の上に立って推進するとともに、学会員の資質向上を目的とした研修を行うことにより、活動全般の信頼性や企画における創造性を向上させます。また、調査研究の成果を、様々な形で発信し社会に還元します。併せて、リニューアルに向けた活動、施設、運営等に関する調査研究を進めます。	調査・研究の推進	●今年度の近美コレクション展、特別展のほか、来年度以降開催が検討されている展覧会、特に自主企画展について、また作品収集について、調査・研究を着実に進める。 ●コレクション研究を推進し成果をわかりやすく示す展示として、「この1点を見てほしい。」を行う。また、「この1点」の拡大版とも言える「星の瞬間」展を開催するため、各学会員が対象作家・作品の調査研究を深める。 ●リニューアルに向けて、他館のリニューアル事例の情報収集や視察を進めるとともに、実現のためのロードマップ（行程表）をブラッシュアップする。 ●新しい展示用具や照明機器、設備等について情報収集を行い、見やすさや作品保全機能、展示効果向上のための研究を進める。 ●新任学会員を対象とした研修を行う。
E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上	地域の文化活動や学校の教育活動と連携・協働することで、美術に対する関心を高め、美術館の利用促進を図り、地域のアートの活性化に寄与します。	多様な機関との連携・協力	●北海道美術館協会及びボランティアとの取り組みを継続し、図録や美術関連グッズの販売、ギャラリー・ツアー、アート・レファレンス・サービス（ARS）、資料整理、美術講座など、幅広い活動に協力する。 ●北海道の中核的な美術館として、北海道美術館学会研究協議会と協力して道内美術館のネットワークを強化するとともに、学会員の相互研鑽等に協力する。 ●北海道内の多様な美術館等が相互に連携し、本道全体がアートの舞台となることを目指す「アートギャラリー北海道（AGH）」事業として、苫小牧市美術博物館のコレクション展の実施、AGH月間における広報、来年度以降の展覧会の企画、ネットワーク参加館への連携協力等を行う。 ●CAI現代美術研究所/CAI03及び道内現代美術作家と連携し、「星の瞬間」展を実施する。 ●500m美術館や道銀文化財団に協力し、美術の振興および地域作家の顕彰に寄与する。 ●札幌交響楽団等に協力し、美術ファン以外にもコレクションへの関心を高める。
		学校等の教育機関との連携・支援	●自主研修や職場体験等、学校等の要望に応じた教育プログラムを提供する。 ●鑑賞学習支援ツールについてチラシ等で周知し、貸出を行う。 ●「オンライン・アート教室」では多様なプログラムを用意するとともに、学校からの要望に応じて授業内容を構成し、効果的な鑑賞学習を実施する。 ●道立図書館と連携し、特別展ごとに関連図書の閲覧コーナーを設け、「もっと知りたい」という来館者の思いに応える。 ●学校教育における美術館活用を促すため、指導者研修を実施する。 ●道内外の大学からの要請に応じ、博物館実習（館園実習、見学実習）を実施する。 ●「学会員インターンシップ制度」に基づき、学芸業務に携わる実務研修生を広く募集し受け入れる。
F 安全で快適な滞在環境の提供	近代美術館は施設・設備の老朽化が進んでおり、大規模な修繕や工事の実施が難しい状況ではあるものの、職員一人ひとりが、常に、来館される方々の目線に立ち、安全・安心に展覧会を観覧いただき、美術館で充実した時間を過ごしてもらうことが出来るよう、最大限知恵を絞り、工夫を重ねながら、くつろぎの空間としての魅力の向上を図っていきます。	施設の適切な維持管理	●職員一人ひとりが施設・設備の状況を把握し、日常の点検を意識することが出来るよう「点検にあたっての留意事項」を作成、共有することで、施設等の不具合、故障の早期発見、必要な補修の迅速化につなげる。 ●美術館の前庭が、来館者にとって憩いの空間であることを意識し、安全・安心に滞在してもらうため、落枝の可能性のある樹木の剪定、樹高の調整をするなど、自然環境を活かしながら、植栽の適切な維持管理に努める。
		施設の快適性の向上	●来館者アンケートにおいて、より多くの方々から意見等を聴取できるよう、アンケートの聴取方法や内容を工夫するとともに、アンケートの回答内容を早期に共有、分析し、美術館の運営改善に資することができるよう取り組む。 また、アンケートに記載された意見に対する美術館の回答を掲示することで、当館の活動について、より理解いただくよう努める。 ●ミュージアムショップが利用者にとってより魅力あるものとなるよう、事業者と協議した取組や情報発信について検討・実施する。 ●現在、カフェスペースは出店者がいない状況ではあるが、来館者の増加やホスピタリティー向上の観点から、短期間での出店など活用方法を検討していく。 ●来館者の利便性向上のため、関係機関や事業者と連携しながら、キャッシュレスサービスの運用拡大に向けた検討を行う。

2 事業実施状況

2-A 収集・保管

2-A-1 美術作品の収集
作品収集状況

・分野別

区分	令和6年3月末 現在作品収蔵数		令和6年度作品収集数		作品総数（点）	
油彩	834	13.7%	5	(購入0) (寄贈5) (管理換0)	839	13.8%
日本画	283	4.7%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	283	4.7%
水彩・素描	371	6.1%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	371	6.1%
版画	2,288	37.7%	0	(購入0) (寄贈0) (登録変更0)	2,288	37.6%
彫刻	114	1.9%	3	(購入0) (寄贈3) (管理換0)	117	1.9%
工芸	1,731	28.5%	5	(購入3) (寄贈2) (管理換0)	1,736	28.5%
デザイン	231	3.8%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	231	3.8%
写真	217	3.6%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	217	3.6%
合計	6,069	100.0%	13	(購入3) (寄贈10) (管理換0)	6,082	100.0%

・地域別（作家のゆかり等）

地域	令和6年3月末 現在作品収蔵数		令和6年度作品収集数		作品総数（点）	
北海道	3,098	51.0%	8	(購入0) (寄贈8) (管理換0)	3,106	51.0%
日本	1,563	25.8%	5	(購入3) (寄贈2) (管理換0)	1,568	25.8%
海外	1,408	23.2%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	1,408	23.2%
合計	6,069	100.0%	13	(購入3) (寄贈10) (管理換0)	6,082	100.0%

・特色別

特色		令和6年3月末 現在作品収蔵数		令和6年度作品収集数		作品総数（点）	
北海道の美術		3,096	51.0%	8	(購入0) (寄贈8) (登録変更0)	3,104	51.0%
日本近代の美術		505	8.3%	0	(購入0) (寄贈0) (登録変更0)	505	8.3%
パスキン と エコー ル・ド・ パリ	パスキン	223	3.7%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	223	3.7%
	エコール・ ド・パリ	85	1.4%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	85	1.4%
	小計	308	5.1%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	308	5.1%
ガラス 工芸	北海道	4	0.1%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	4	0.1%
	日本	542	8.9%	3	(購入3) (寄贈0) (管理換0)	545	9.0%
	海外	713	11.7%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	713	11.7%
	小計	1,259	20.7%	3	(購入3) (寄贈0) (管理換0)	1,262	20.8%
現代の美術		60	1.0%	2	(購入0) (寄贈2) (管理換0)	62	1.0%
その他		841	13.9%	0	(購入0) (寄贈0) (管理換0)	841	13.8%
合計		6,069	100.0%	13	(購入3) (寄贈10) (登録変更0)	6,082	100.0%

* 各項目間で重複するものもある。
* 各特色ごとのパーセントは所蔵総点数に対する比率をあらわす。

新収蔵作品目録

〔購入〕(作品)

所蔵品番号	分 野	特 色	作 品 名	作 者 名	生 没 年	制 作 年	材 質 形 状	寸法(奥行×幅×高さcm)	出 品 歴
2024004	工芸	ガラス工芸(日本)	月光	福西 毅	1966(昭和41)～	2002(平成14)	ガラス:ホットワーク、キャスト、エナメル彩色	10.0×71.0×60.3	「遠慮のないガラス」展
2024005	工芸	ガラス工芸(日本)	月光	福西 毅	1966(昭和41)～	2002(平成14)	ガラス:ホットワーク、キャスト、エナメル彩色	8.0×66.6×66.0	「遠慮のないガラス」展
2024006	工芸	ガラス工芸(日本)	月光	福西 毅	1966(昭和41)～	2002(平成14)	ガラス:ホットワーク、キャスト、エナメル彩色	10.0×67.4×62.2	「遠慮のないガラス」展

〔受贈〕(作品)

所蔵品番号	分 野	特 色	作 品 名	作 者 名	生 没 年	制 作 年	材 質 形 状	寸法(縦×横×厚) または奥行×幅×高さcm	出 品 歴
2024001	彫刻	北海道の美術	未生命の遊槽	青木 美歌	1981(昭和56)～ 2022(令和4)	2010(平成22)	ガラス:バーナーワーク	サイズ可変 (パーツ 420点)	BIWAKOビエンナーレ、 札幌国際芸術祭 SIAF2024
2024002	彫刻	北海道の美術	animagraphy#3	青木 美歌	1981(昭和56)～ 2022(令和4)	2010(平成22)	ガラス:バーナーワーク	36.4 × 31.9 × 9.4	「animagraphy」展、札幌 国際芸術祭 SIAF2024
2024003	彫刻	北海道の美術	Nr-ls-32	青木 美歌	1981(昭和56)～ 2022(令和4)	2013(平成25)	ガラス:バーナーワーク	12.2×24.4×28.3	「from the kiln 釜の中から」展
2024007	油彩	北海道の美術	Ariadone・Cross	後藤 和子	1941(昭和16)～	1981(昭和56)	アクリル絵具・キャンバス	227.0×182.0	第1回国際現代美術展 サッポロトリエンナーレ
2024008	油彩	北海道の美術	BLUE STREAMS 0403	後藤 和子	1941(昭和16)～	2004(平成16)	アクリル絵具、グワッシュ・紙	76.0×137.0	後藤和子展 COLLAGE OF BRICOLAGE
2024009	油彩	北海道の美術	BLUE STREAMS 0407	後藤 和子	1941(昭和16)～	2004(平成16)	アクリル絵具、グワッシュ・紙	62.0×137.0	後藤和子展 COLLAGE OF BRICOLAGE
2024010	油彩	北海道の美術	オリオン	深井 克美	1948(昭和23)～ 1978(昭和53)	1977(昭和52)	油彩・キャンバス	145.7×97.9	第41回自由美術展
2024011	油彩	北海道の美術	風	深井 克美	1948(昭和23)～ 1978(昭和53)	1978(昭和53)	油彩・キャンバス	89.8×125.4	第42回自由美術展
2024012	工芸	現代の美術	東京景_センター街	石井 亨	1981(昭和56)～	2022(令和4)	糸目友禪染、酸性染料、顔料、フオイル・絹	82.3×82.3×4.0	「石井亨、小池一馬 小 石景」展
2024013	工芸	現代の美術	東京景_In the Garden	石井 亨	1981(昭和56)～	2023(令和5)	糸目友禪染、酸性染料、顔料、フオイル・絹	67.2×82.3×4.0	「KUROOBIANACONDA 05 SUKIYAKI」展

[受贈](資料)

番号	分野	特色	作品名	作者名	生没年	制作年	材質形状	規格(縦×横cm)	出品歴
シ00559	水彩・素描	日本近代の美術	《光と迷宮 No. 30》設計図	瀧川 嘉子	1937(昭和12)～	1982(昭和57)	インク、鉛筆・トレーシングペーパー	各25.7×36.4(5枚)	
シ00560	水彩・素描	日本近代の美術	《光と迷宮 No. 32》設計図	瀧川 嘉子	1937(昭和12)～	1982(昭和57)	インク、鉛筆・トレーシングペーパー	各25.7×36.4(4枚)	
シ00561	水彩・素描	日本近代の美術	《境 KYOH No. 1》設計図	瀧川 嘉子	1937(昭和12)～	1985(昭和60)	インク、鉛筆・トレーシングペーパー	各36.3×51.4(3枚)	
シ00562	水彩・素描	日本近代の美術	《境 KYOH No. 11》設計図	瀧川 嘉子	1937(昭和12)～	1986(昭和61)	インク、鉛筆・トレーシングペーパー	51.3×36.4(2枚)、 41.9×59.1(1枚)	
シ00563	水彩・素描	日本近代の美術	《境 KYOH No. 51 あるいは門》設計図	瀧川 嘉子	1937(昭和12)～	1991(平成3)	インク、鉛筆・トレーシングペーパー	25.7×36.4(2枚)、 51.4×36.5(2枚)	
シ00564	水彩・素描	日本近代の美術	《境 KYOH No. 53》設計図	瀧川 嘉子	1937(昭和12)～	1993(平成5)	インク、鉛筆・トレーシングペーパー	41.8×29.7(3枚)、 51.4×36.3(4枚)	
シ00565	水彩・素描	日本近代の美術	《境 KYOH No. 54》設計図	瀧川 嘉子	1937(昭和12)～	1993(平成5)	インク、鉛筆・トレーシングペーパー	各25.7×36.4(5枚)	
シ00566	水彩・素描	日本近代の美術	《Memory Transcendent No. 11》設計図	瀧川 嘉子	1937(昭和12)～	1993(平成5)頃	インク、鉛筆・トレーシングペーパー	42.0×29.6(2枚)、 25.7×36.4(1枚)	
シ00567	水彩・素描	北海道の美術	スケッチブック(1953年8月東旭川他)	難波田 龍起	1905(明治38)～ 1997(平成9)	1953(昭和28)	鉛筆、インク、水彩・紙	30.0×23.7	
シ00568	水彩・素描	北海道の美術	スケッチブック(1954年8月洞爺湖他)	難波田 龍起	1905(明治38)～ 1997(平成9)	1954(昭和29)	鉛筆、インク、水彩・紙	30.0×23.7	
シ00569	水彩・素描	北海道の美術	スケッチブック(1954年8月支笏湖他)	難波田 龍起	1905(明治38)～ 1997(平成9)	1954(昭和29)	鉛筆、インク、水彩・紙	30.0×23.7	

シ00570	水彩・素描	北海道の美術	スケッチブック(1955年8月昭和西山他)	難波田 龍起	1905(明治38)～1997(平成9)	1955(昭和30)	鉛筆、インク、水彩・紙	29.8×23.4	
シ00571	水彩・素描	北海道の美術	スケッチブック(1960年7月釧路他)	難波田 龍起	1905(明治38)～1997(平成9)	1960(昭和35)	鉛筆、インク、水彩・紙	29.0×20.3	
シ00572	水彩・素描	北海道の美術	スケッチブック(1966年8月層雲峡他)	難波田 龍起	1905(明治38)～1997(平成9)	1966(昭和41)	鉛筆、インク、水彩・紙	17.6×25.0	
シ00573	油彩	北海道の美術	六月の札幌駅	田中 忠雄	1903(明治36)～1995(平成7)	1971(昭和46)	油彩・キャンパス	24.7×33.5	

2-A-2 美術作品の保存・修復

令和7年3月31日現在

	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質	点数	修復日	修復者	修復内容
1	彫刻	新宮 晋	風の対話	1998(平成10)	ステンレス チール・テフロン・シート	2	6月26日	東興株式会社	・羽、金属部分のクリーニング ・グリース交換
2	彫刻	新宮 晋	光のリズムII	1977(昭和52)	F.R.P、鉄	1	6月26日	東興株式会社	・金属部分のクリーニング
3	ガラス	青木 美歌	未生命の遊槽	2010(平成22)	ガラス、バー ナーワーク	14	令和7年1月15日 ～31日	柿崎 均	・欠損部分を、酸素バーナー、電気炉で加熱・加工し、ベルトサンダーにより研磨

2－B 展覧会

2－B－1 展覧会一覧

(1) 常設展 (近美コレクション)

展覧会名		内 容	会場	開催期間	主催・後援・協力	日数	実 施 状 況	
							観覧者数	一日当たり観覧者数
令和6年度 第Ⅰ期	越境者パスキン	ブルガリアに生まれ、ルーマニアで育ち、ウィーン、ブダペスト、ミュンヘンで学び、パリに移住したジュール・パスキン（1885～1930）。異国の地に自由を求め、貧しい者や社会の周縁に生きる者への共感を持って描いたエコール・ド・パリの画家の世界を巡りました。	展示室 A	令和6年 3月23日（土） ～6月16日（日） 「この1点を見てほしい。」は令和6年3月23日（土）～5月12日（日） 「新収蔵品展」は令和6年 5月18日（土）～6月16日（日）	主催：北海道立近代美術館 後援：札幌市、札幌市教育委員会	62	7,752	125
	現代ガラスのオノマトペ	現代ガラスの多彩なかたちは、わたしたちに様々イメージを喚起します。「ゆらゆら」「くねくね」「もぐもぐ」といったオノマトペ（擬音語、擬態語）をキーワードに、創造性豊かな現代ガラスの世界を探りました。						
	片岡球子「面構」シリーズ	令和5年度、新たに収蔵した《面構 一休さま》などを紹介しました。						
	新収蔵品展	令和5年度に当館が新たに収蔵した作品を展示しました。						
	この1点を見てほしい。	当館コレクションの中から1点を選び、多角的な研究を通して作品の奥深い魅力を紹介しました。 山口蓬春《向日葵》1955年 （令和6年5月12日まで）						
第Ⅱ期	浮世絵のヒロインたち 組物・続き絵から生まれるストーリー	歌川国貞、歌川国芳、溪斎英泉が描いた、複数枚からなる「組物」や数枚をつなぎ合わせて大きな画面を形づくる「続き絵」の美人画により、それぞれの画面の関連性から生みだされる広がりストーリーの世界を3期に分けてご紹介しました。	展示室 A	令和6年 7月9日（火） ～ 9月26日（木）	主催：北海道立近代美術館 後援：札幌市、札幌市教育委員会	60	24,815	413
	岩橋英遠《道産子追憶之巻》	岩橋英遠の代表作《道産子追憶之巻》を展示しました。						
	ウィズ・キッズ ²⁴ なぜこのかたちなの？	子どもが大人を連れて来たいような美術館を目指して、新たな企画「ウィズ・キッズ」を始めました。テーマは「なぜこのかたちなの」。ガラスの箱や不思議なカップをご紹介しました。						
	アートギャラリー北海道 港の今昔 苫小牧市美術館コレクションから	道内各地の特色ある美術館を紹介する「アートギャラリー北海道」事業として開催する本展では、街の発展とともに姿を変えてきた港の歴史をテーマに、苫小牧市美術館のコレクションをご紹介しました。						
第Ⅲ期	ウィズ・キッズ ²⁴ みる・ふれる・つたえる さいきょうのざいりょう	私たちがふだん何気なく接している石や木、糸、布なども、工夫しだいで美術作品の「さいきょうのざいりょう」になります。作品をみて、ふれて、身近な素材に秘められた可能性を発見していく展覧会。	展示室 A	令和6年10月12日（土） ～12月 8日（日）	主催：北海道立近代美術館 後援：札幌市、札幌市教育委員会	51	6,725	131
	温かいガラスへ 岩田藤七の軌跡	岩田藤七は（1893-1980）は、豊かな色彩や大胆な形を特色とする作品により、日本のガラスを実用品から芸術の域に高めました。また、茶道や華道の世界にガラスの道具を広めました。その多彩な仕事をごらんいただきました。						
	この1点を見てほしい。	当館コレクションの中から1点を選び、多角的な研究を通して作品の奥深い魅力を紹介しました。 萩須高德《薪炭屋》1954年						
第Ⅳ期	ウィズ・キッズ ²⁵ めでたいな！幸せねがう日本の絵	日本の絵画には、長寿や子孫繁栄、立身出世などの願いをあらわす吉祥モチーフが伝統的に描かれてきました。吉祥モチーフが描かれた「めでたい」作品をご覧いただくとともに、伝統的な画材もあわせて展示し、日本の絵画の魅力や鑑賞のポイントをご紹介しました。	展示室 A	令和7年 3月29日（土） ～7月 6日（日） 「青木美歌《未生命の遊槽》」は令和7年 3月29日（土）～令和8年 4月12日（日）（予定）	主催：北海道立近代美術館 後援：札幌市、札幌市教育委員会	2	446	223
	リーヴル・ダルティストー芸術になった本 ルオー、ダヴィッド、マティス、シャガール	20世紀パリで活躍した画家たちは、詩や小説の挿絵を多く手がけています。それらは「芸術家の本（リーヴル・ダルティスト）」と呼ばれ、この時代に新たな芸術ジャンルとして普及しました。本展は当館所蔵の「芸術家の本」やそのオリジナル版画など150余点をご紹介しました。						
	巴里のかほり アール・デコのガラス	アール・デコとは、工業化社会の到来により1910～30年代のフランスで花開いた、直線や幾何学的模様を特徴とする造形様式です。本展ではパリを中心に活躍したガラス作家たちの作品を通じて、アール・デコの世界を紹介しました。						
	青木美歌《未生命の遊槽》	多種多様な生命体のつながりや、肉眼では見えない微細な存在を顕わにする光をテーマに、ガラスを素材とする制作を展開した、札幌育ちの青木美歌（1981-2022）。令和6年度に寄贈された最大級のインスタレーション《未生命の遊槽》を、通年展示しました。						
	新収蔵品展	令和6年度に当館が新たに収蔵した作品を展示しました。						
計						175	39,738	227

※日数・人数等は、会期にかかわらず令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(2) 特別展

(令和7年3月31日現在)								
展覧会名		内 容	会 場	開 催 期 間	主催・後援・協力	日数	実 施 状 況	
							観覧者数	一日当たり 観覧者数
貸館	「琳派×アニメ」展	「琳派」という語は、尾形光琳の「琳」をとって付けられました。本展は、琳派作品とアニメ、まんがと いう一見異なるジャンルの作品を取り扱う展覧会です。写された琳派作品の中に登場するキャラクターが 醸し出す独特の世界をお楽しみいただきました。	展示室 B	令和6年 4月20日（土） ～6月 2日（日）	主催：STV札幌テレビ放送 後援：札幌市、札幌市教育 委員会 特別協力：公益財団法人細 見美術財団 細見美術館 協力：STVラジオ 企画・監修：細見良行（細 見美術館館長）、松原龍一 （元京都国立近代美術館副 館長）	38	20, 781	546
実行 委員会	京都 高山寺展 明恵上人と文化財の伝承	京都高山寺の中興開祖、明恵上人の生涯とその教えをたどりつつ、同寺が伝承してきた国宝《鳥獣戯画》 など優れた絵画や彫刻、工芸、典籍文書等により現代まで続く高山寺の歩みをご紹介します。	展示室 B	令和6年 7月 9日（火） ～ 9月 1日（日）	主催：北海道立近代美術 館、高山寺、北海道新聞 社、HTB北海道テレビ、NHK 札幌放送局 特別協力：京都国立博物館 後援：札幌市、札幌市教育 委員会	48	82, 981	1728
実行 委員会	皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品	皇居三の丸尚蔵館は、代々皇室に受け継がれてきた美術工芸品を収蔵しています。その中から、北海道と 京都・江戸とのつながりを示す近世の名品や、北海道行幸啓にまつわる作品、北海道ゆかりの作家の作品 など、皇室と北海道をつなぐ優品を一堂にご紹介しました。	展示室 B	令和6年 9月21日（土） ～10月27日（日）	主催：北海道立近代美術 館、テレビ北海道、北海道 新聞社、日本経済新聞社、 皇居三の丸尚蔵館 特別協力：文化庁、読売新 聞社 助成：令和6年度地域ゆか りの文化資産を活用した展 覧会支援事業 協賛：伊藤組グループ、伊 藤忠商事株式会社 後援：北海道、北海道教育 委員会、札幌市、札幌市教 育委員会	32	36, 872	1152
貸館	北海道書道連盟創立70周年記念展	北海道書道連盟の創立70周年を記念して開催された展覧会。	展示室 B	令和6年12月 5日（木） ～12月15日（日）	主催：北海道書道連盟 後援：北海道、札幌市、北 海道新聞社、毎日新聞北海 道支社、読売新聞北海道支 社	10	2, 598	259
道単	星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido	現代アーティストと学芸員それぞれがピックアップした当館の「北海道の美術」コレクション、アーティ ストの自作、学芸員によるコレクション研究の成果を一堂に展示しました。北海道美術史を複眼的に読み 直す試み。企画協力はCAI現代芸術研究所/CAI03。	展示室 A 展示室B	令和7年 1月 5日（日） ～ 3月16日（日）	主催：北海道立近代美術館 企画協力：CAI現代芸術研究 所/CAI03 後援：札幌市、札幌市教育 委員会	61	8, 896	145
	変貌する20世紀ヨーロッパ・ガラス プロダクトへ、アートへ	20世紀のヨーロッパでは、生活を美しく演出するガラス製品（プロダクト）が大量に生産されました。作 家性が強いガラス作品が盛んに発表されるようになったのも20世紀のことです。ヨーロッパ・ガラスの変 わりゆく潮流をご覧いただきました。			主催：北海道立近代美術館 後援：札幌市、札幌市教育 委員会			
計						189	152, 128	804

※日数・人数等は、会期にかかわらず令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

越境者パスキン

Pascin: Crossing Boundaries



2024年3月23日[土]～ 6月16日[日]
北海道立近代美術館 展示室A 1階

ブルガリアに生まれ、ルーマニアで育ち、ウィーン、ブダペスト、ミュンヘンで学び、パリに移住したジュール・パスキン（1885～1930）。その後アメリカ国籍を取得するなど、生涯越境を続けました。異国の地に自由を求め、貧しい者や社会の周縁に生きる者への共感を持って描いたエコール・ド・パリの画家の世界を巡ります。

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
1	ジュール・パスキン	放蕩息子と娘たち	1926	ドライポイント・紙	33.5×47.9
2	ジュール・パスキン	再び放蕩息子	1927	ソフトグランドエッチング・紙	25.2×30.0
3	ジュール・パスキン	放蕩息子	1922	油彩・キャンバス	212.3×302.4
4	ジュール・パスキン	婦人と犬と子ども	1902頃	ペン、インク、水彩・紙	19.7×15.9
5	ジュール・パスキン	祭	1903	ペン、インク、水彩・紙	20.3×20.6
6	ジュール・パスキン	客と3人の娘たち	1905	インク、水彩・紙	20.4×13.8
7	ジュール・パスキン	家族 I	1903	鉛筆、水彩・紙	20.6×26.0
8	—	『ジンプリツィシムス』	1910	印刷物	38.8×28.8（7冊）
9	ジュール・パスキン	女たち	1906頃	鉛筆、ペン、インク・紙	16.0×21.0
10	ジュール・パスキン	二人の若い娘	1909	ペン、インク・紙	16.8×11.0
11	ジュール・パスキン	カフェ	1908	ペン、インク、鉛筆・紙	20.0×31.1
12	ジュール・パスキン	荒野の騎手	1909	油彩・厚紙	19.0×33.0
13	ジュール・パスキン	ジプシー	1906	ドライポイント・紙	8.5×11.6
14	ジュール・パスキン	相続人	1910	ペン、インク、水彩・紙	19.7×13.0
15	ジュール・パスキン	犬の愛嬌	1909	ペン、インク、水彩・紙	12.1×8.3
16	ジュール・パスキン	ソファに腰かけるシュザンヌ	1911	油彩・キャンバス	65.5×54.0
17	ジュール・パスキン	三美神の舞台	1910	ペン、インク、水彩・紙	14.0×16.4
18	ジュール・パスキン	女学生	1908	油彩・キャンバス	55.0×46.0
19	エルミーヌ・ダヴィッド	自画像—17歳	1904	水彩・紙	71.5×52.5
20	ジュール・パスキン	黒いスカートのエルミーヌ	1911	鉛筆、水彩・紙	30.8×21.0
21	ジュール・パスキン	肘掛け椅子のエルミーヌ	1914	鉛筆、水彩・紙	32.0×21.3
22	エルミーヌ・ダヴィッド	ロンシャン競馬場でのゴールイン	1932	油彩・キャンバス	73.0×92.0
23	エルミーヌ・ダヴィッド	パリ郊外—二匹の白い犬	1921	油彩・紙、ボード	54.5×65.0
24	エルミーヌ・ダヴィッド	マルヌ河岸	1922	油彩・キャンバス	76.3×88.2
25	エルミーヌ・ダヴィッド	競輪	1932	エッチング・紙	23.5×29.9
26	ジュール・パスキン	良きサマリア人	1917	油彩・キャンバス	73.5×66.3
27	ジュール・パスキン	キューバの人達	1917	油彩・キャンバス	53.0×64.0
28	ジュール・パスキン	ニューヨーク風景(バトリー・パーク)	1916	エッチング・紙	11.9×15.3
29	ジュール・パスキン	ニューヨークの動物園	1916	コンテ・紙	25.4×19.7

30	ジュール・パスキン	旅する家族	1916	ドライポイント・紙	11.9×7.2
31	ジュール・パスキン	南にて	1916	エッチング・紙	5.9×12.4
32	ジュール・パスキン	ハバナの港	1917	鉛筆、水彩・紙	16.8×21.0
33	ジュール・パスキン	裸婦の構図	1915	油彩・キャンバス	46.0×55.0
34	ジュール・パスキン	ふたりのキューバ人	1917	ドライポイント・紙	18.0×20.0
35	ジュール・パスキン	キューバにて	1917頃	鉛筆、水彩・紙	20.3×27.6
36	ジュール・パスキン	キューバ風景 I	1917	鉛筆、水彩・紙	26.0×20.3
37	ジュール・パスキン	マルセイユの港	1920	コンテ、水彩・紙	20.0×26.0
38	ジュール・パスキン	マルティグ風景	1921	カーボン紙、水彩・紙	32.1×38.1
39	ジュール・パスキン	アンドレ・サルモンとモンマルトル	1921	油彩・キャンバスに裏打ちされた紙	195.0×129.8
40	ジュール・パスキン	二人のモデル	1924	油彩・キャンバス	99.0×80.0
41	ジュール・パスキン	チュニジアの風景	1921	カーボン紙・紙	20.3×24.8
42	ジュール・パスキン	チュニジア	1924	ペン、インク・紙	16.5×20.1
43	ジュール・パスキン	奥様、お食事の用意ができました		水彩、墨・紙	21.0×27.2
44	ジュール・パスキン	モロッコの風景	1928	カーボン紙・紙	49.2×62.2
45	ジュール・パスキン	花束をもつ少女	1925-26	油彩・キャンバス	80.0×64.0
46	ジュール・パスキン	白いリボンの少女	1928	油彩・キャンバス	92.0×73.0
47	ジュール・パスキン	シンデレラ	1930	エッチング・紙（5点組中の2点）	35.0×25.1
48	ジュール・パスキン	かみあわない下手なジャズ	1928	ソフトグランドエッチング・紙	22.9×27.9
49	ジュール・パスキン	パスキン氏をいたぶる意地悪な人々	1930	パステル、ペン、インク、鉛筆・紙	61.0×47.0
50	ジュール・パスキン	恋人たち	1930	油彩・板	46.0×38.0
51	ジュール・パスキン	三人の裸婦	1930	油彩・キャンバス	81.0×100.0
52	パール・クローグ	ローブをまとったテレーズ	1925	油彩・キャンバス	92.0×60.0
53	キスリング	サン=ジェルマン風景	1914	油彩・キャンバス	92.0×73.0
54	キスリング	オランダの娘	1928	油彩・キャンバス	100.4×73.4
55	アンドレ・ドラン	マルティグ風景	1908	油彩・キャンバス	100.0×81.0
56	アンドレ・ドラン	裸婦	1928-29頃	油彩・キャンバス	92.4×72.4
57	マルク・シャガール	パリの空に花	1967	油彩・キャンバス	148.0×140.0
58	ハイム・スーチン	祈る男	1921頃	油彩・キャンバス	94.0×51.0
59	キース・ヴァン・ドンゲン	アガーテ・ヴェゲリフ・グラヴェスタインの肖像	1909	油彩・キャンバス	100.0×81.0
60	キース・ヴァン・ドンゲン	ボドリ・ダッソン侯爵夫人	1919	油彩・キャンバス	130.5×97.5
61	モーリス・ユトリロ	モンルージュの通り(セーヌ)	1910頃	油彩・キャンバス	57.5×79.3
62	モーリス・ユトリロ	シセイ・アン・モルヴァン	1914頃	油彩・ボード	46.0×60.0
63	マリー・ローランサン	婦人像	1920	油彩・キャンバス	73.5×61.0
64	藤田 嗣治	家族の肖像	1954	油彩・ボード	17.5×12.5

*寸法は縦×横

現代ガラスのオノマトペ

Onomatopoeia in Contemporary Glass

3月23日[土]～ 6月16日[日]
展示室A 2階

ガラスの多彩な表現は、わたしたちに様々なイメージを呼び起こします。「ゆらゆら」「くねくね」「もぐもぐ」といったオノマトペ(擬音語、擬態語)をキーワードに、創造性豊かな現代ガラスの世界を探ります。

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
1	ロナルド・ペネル	海の絵	不明	ガラス・宙吹き、エングレーヴィング	18.7×15.8×15.0
2	フランツ・クサヴァ・ヘラー	バルーンⅢ	1994	クリスタルガラス・宙吹き、カット	46.0×46.0
3	カーティス・ブロック	からみあう石のグループ	1997	ガラス・宙吹き、カット、研磨、サンドブラスト、エッチング	34.0×17.0×55.8
4	ベルト・フレインス	丸める	1988	ガラス・板ガラス変形	43.5×16.0×12.5
5	ベルト・フレインス	張る	1987	ガラス、ワイヤー・板ガラス変形	29.0×30.0×9.0
6	アンドルー・マグダンツ	三つの堆積	1988	ガラス・宙吹き、カット、サンドブラスト、エナメル焼付	19.5×50.5
7	アンドルー・マグダンツ	バベルの塔	1987	ガラス・宙吹き、カット、サンドブラスト、エナメル焼付	12.5×56.5
8	フィン・リュンゴー	陸、海そして空	1982	ガラス・エナメル彩	20.5×26.0 (3点組)
9	フィン・リュンゴー	おもちゃの国 I, II	1982	ガラス・型吹き、エナメル彩	8.5×19.5 (2点組)
10	プレストン・シングレタリー	なぐりがきの花瓶	1990	ガラス・宙吹き、被せガラス、溶着	27.6×50.1
11	プレストン・シングレタリー	なぐりがきの花瓶	1990	ガラス・宙吹き、被せガラス、溶着	25.5×54.5
12	淡島 雅吉	ビトレーナ バレリーナ	不明	ガラス、鉄	6.5×14.2×37.1
13	淡島 雅吉	ビトレーナ バレリーナ	不明	ガラス、鉄	5.0×19.0×35.7
14	ヤロスラフ・マトウシュ	露Ⅳ	1994	ガラス、ワイヤー・キャスト、部分的にカット	40.0×26.8
15	瀧川 嘉子	つわものどものゆめのあと	2002(平成14)	ガラス、鉛筆	10.0×52.0×29.0
16	ヴィリ・ピストル	オブジェⅡ1982年	1982	ガラス・熔融カット技法、エッチング	23.0×23.0×9.0
17	ダナ・ザーメチニーコヴァ	空中浮揚	1985	ガラス・多層板ガラス、サンドブラスト、エナメル彩、エングレーヴィング	11.0×40.1×40.3
18	オーサ・ブラント	カイト	1988	ガラス・スランピング、着色、サンドブラスト	150.0×55.0
19	ヤン・ゾリチャック	天上の花 8077	1988	ガラス・エナメル彩、溶接、カット、研磨	8.0×22.5×50.0
20	西 悦子	レースのボウル	1994(平成6)	ガラス・パート・ド・ヴェール	30.0×30.5×26.8
21	岩田 久利	台付流雲壺	1993(平成5)	ガラス・宙吹き	26.5×32.0
22	岩田 藤七	貝	1974(昭和49)	ガラス・宙吹き	16.0×39.0×34.5
23	大木 泉	ウェイヴ	1991(平成3)	ガラス・板ガラスの積み重ね	53.0×19.8×27.7
24	正木 友梨	ガラスと光の造形Ⅳ	1990(平成2)	板ガラス・サンドブラスト、研磨	68.0×25.8×48.0
25	塩谷 直美	嵐の予感	2001(平成13)	ガラス・キャスト、サンドブラスト、研磨	40.0×14.0×66.0
26	扇田 克也	アメノヒモアル	1991(平成3)	ガラス・キャスト、サンドブラスト	32.0×28.0×25.5
27	ベルト・フレインス	石と水と柔らかなガラス	1987	ガラス、御影石・スランピング	49.0×49.0×27.5
28	スタニスラフ・リベンスキー／ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ	頭 89	1989	ガラス・キャスト	58.0×20.0×70.0
29	スタニスラフ・リベンスキー／ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ	球体の中の立方体	1979-1990	ガラス・キャスト、研磨	径40.0
30	イヴァナ・シュラームコヴァ	ダチョウ	2002	ガラス・キャスト、研磨	35.0×100.0×152.5

31	岩田 糸子	躍ぶ	1986(昭和61)	ガラス・宙吹き	23.0×72.5 25.0×69.5 23.0×56.0
32	小林 貢	青のコンポジション	1993(平成5)	ガラス	55.5×14.2×27.2
33	ウィリアム・モリス	石の器	1985	ガラス・被せガラス、粉末ふりかけ、糸を用いて文様を施し後に引き抜く	15.0×37.0×46.0
*寸法は径×高さ、または幅×径、幅×奥行×高さ					

片岡球子「面構」シリーズ

The “Countenance” Series by Kataoka Tamako

3月23日[土]～ 6月16日[日]

展示室A 2階

令和5年度新たに収蔵した作品《面構 一休さま》などを紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	片岡 球子	祈禱の僧	1942(昭和17)	紙本彩色	160.0×109.0
2	片岡 球子	葛飾北斎	1976(昭和51)	紙本彩色	116.0×79.0
3	片岡 球子	面構 一休さま	2000(平成12)	紙本彩色	150.3×300.5
4	片岡 球子	面構 浮世絵師歌川国芳と 浮世絵研究家鈴木重三先生	1988(昭和63)	紙本彩色	181.0×350.0
					*寸法は縦×横 *No. 3は令和5年度新収蔵品

この1点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

3月23日[土]～ 5月12日[日]

展示室A 2階

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	山口 蓬春	向日葵	1955(昭和30)年	紙本彩色	82.3×60.0
					*寸法は縦×横

新収蔵品展

New Acquisitions

5月18日[土]～6月16日[日]

展示室A 2階

令和5年度の新収蔵品を紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	掛川 源一郎	伊達・1946 「あたいの大事な服がこんなになっちゃったア」	1946(昭和21)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9
2	掛川 源一郎	伊達・1953 メンコあそび	1953(昭和28)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9
3	掛川 源一郎	室蘭・1954 古雑誌を売る女の子	1954(昭和29)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
4	掛川 源一郎	札幌・1955 冬のラジオ体操	1955(昭和30)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
5	掛川 源一郎	壮瞥・1956 昭和新山初登頂の記念撮影	1956(昭和31)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
6	掛川 源一郎	長万部・1957 開拓地の兄妹	1957(昭和32)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
7	掛川 源一郎	白老・1959 往診に出かける高橋房次医師	1959(昭和34)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
8	掛川 源一郎	長万部・1960 隣同士、幼なじみの男女	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
9	掛川 源一郎	寿都・1960 のんびり行こう	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
10	掛川 源一郎	伊達・1960 バチラー八重子の横顔	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9
11	掛川 源一郎	伊達・1960 聖書を抱くバチラー八重子	1960(昭和35)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9
12	掛川 源一郎	伊達・1961 日曜学校に来た女の子	1961(昭和36)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9

13	掛川 源一郎	伊達・1961 茶の間の日曜学校	1961(昭和36)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
14	掛川 源一郎	伊達・1961 流木拾い。ボクのが重いぞ	1961(昭和36)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9
15	掛川 源一郎	白老・1962 客待ち顔のエカシ	1962(昭和37)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
16	掛川 源一郎	白老・1962 器用な仔グマがいた	1962(昭和37)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9
17	掛川 源一郎	長万部・1964 「ボクも手伝っているんだ」	1964(昭和39)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
18	掛川 源一郎	礼文・1965 冬の浜の子ら	1965(昭和40)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9
19	掛川 源一郎	伊達・1965 左手だけでもなんでもやれるわ	1965(昭和40)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
20	掛川 源一郎	伊達・1966 拗ねている子	1966(昭和41)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
21	掛川 源一郎	長万部・1967 「ボクのうちにも、やっとテレビが来たよ」	1967(昭和42)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9
22	掛川 源一郎	白老・1967 独りぼっち	1967(昭和42)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9
23	掛川 源一郎	平取・1967 お祭り騒ぎのイヨマンテ会場	1967(昭和42)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
24	掛川 源一郎	伊達・1968 仲間はずれ	1968(昭和43)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9
25	掛川 源一郎	阿寒・1969 湖上で釣りをする山本多助エカシ	1969(昭和44)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
26	掛川 源一郎	伊達・1970 資材の荷揚げにシュプレヒコール	1970(昭和45)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
27	掛川 源一郎	阿寒・1970 日蝕の魔除けの儀式	1970(昭和45)	ゼラチン・シルバー・プリント	50.8×61.0
28	掛川 源一郎	様似・1975 重いほど明るい笑顔	1975(昭和50)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9
29	掛川 源一郎	伊達・1978 銀沼火口	1978(昭和53)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
30	掛川 源一郎	伊達・1986 噴火という名の芸術	1986(昭和61)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9
31	掛川 源一郎	掛川源一郎 自筆冊子 『野菜総目録』	1929(昭和4)年	16歳 室蘭中学校(現・北海道室蘭栄高校)時代	
32	掛川 源一郎	掛川源一郎 自筆冊子 『カメラとサボテン アマチュア・クラブ』	1931(昭和6)年	18歳 室蘭中学校(現・北海道室蘭栄高校)時代	
33	掛川 源一郎	掛川源一郎 使用カメラ			
34	掛川 源一郎	掛川源一郎 ヴィンテージアルバム			
35	富田 幸衛	追分保線区	1964(昭和39)	油彩・キャンバス	72.7×91.0
36	福田 美蘭	婦人像	2000(平成12)	アクリル絵具、パネル、額縁、CPU(コンピュータ)、モーター、リニアレール	118.7×108.5×14.7

*寸法は、縦×横、または縦×横×奥行

*各展覧会 すべて当館蔵

浮世絵のヒロインたち

組物・続き絵から生まれるストーリー

Ukiyo-e Heroines: Stories Told in Sets of Ukiyo-e Prints



2024年7月9日[火]～ 9月26日[木]
北海道立近代美術館 展示室A 1階

「浮世絵のヒロインたち」展は、第Ⅰ期～第Ⅲ期に分けて開催します(作品は総入れ替えとなります)。
*第Ⅰ期 7/9(火)～8/4(日) *第Ⅱ期 8/8(木)～8/25(日) *第Ⅲ期 8/29(木)～9/26(木)

当館が所蔵する高橋博信氏旧蔵の歌川国貞、歌川国芳、溪斎英泉を中心とした3人の浮世絵師の作品の中から、女性を主役(ヒロイン)としながら、場面設定や文化的・社会的背景との関連の中で、さまざまなストーリーを想起させる作品を、「組物」や「続き絵」を通してご紹介します。

◎第Ⅰ期 7/9 (火) ～8/4 (日)

No.	作家名	作品名	制作時期、年代	技法・材質	判型
1	歌川 国貞	新板錦絵 当世美人合 梅好きどり	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
2	歌川 国貞	新板錦絵 当世美人合 三升きどり	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
3	歌川 国貞	新板錦絵 当世美人合 秀佳きどり	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
4	歌川 国貞	新板錦絵 当世美人合 曙山きどり	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
5	歌川 国貞	北国五色墨 (花魁)	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
6	歌川 国貞	北国五色墨 (吉原芸者)	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
7	歌川 国貞	北国五色墨 (くわえ楊枝の女)	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
8	歌川 国貞	春待月 娼家の餅花	文化(1804-18)末	木版・紙	大判錦絵 3枚続
9	歌川 国貞	文月 西陣の星祭	文化14(1817)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続
10	歌川 国貞	三ヶ月お仙つぼね見せ之図	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続
11	歌川 国貞	星の霜 当世風俗 (手桶美人)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
12	歌川 国貞	星の霜 当世風俗 (行燈美人)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
13	歌川 国貞	星の霜 当世風俗 (若衆髷の女)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
14	歌川 国貞	星の霜 当世風俗 (蚊帳美人)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
15	歌川 国貞	星の霜 当世風俗 (格子美人)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
16	歌川 国貞	星や霜 当世風俗 (縁台美人)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
17	歌川 国貞	星や霜 当世風俗 (房楊枝)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
18	歌川 国貞	星や霜 当世風俗 (かげま)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
19	歌川 国貞	星や霜 当世風俗 (こたつ)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
20	歌川 国貞	星や霜 当世風俗 (子守り)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
21	歌川 国貞	(深川新地 月下の三美人)	不詳	木版・紙	大判錦絵 3枚続
22	歌川 国貞	今風化粧鏡 (合せ鏡)	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
23	歌川 国貞	今風化粧鏡 (口紅をさす女)	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
24	歌川 国貞	今風化粧鏡 (歯を磨く女)	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
25	歌川 国貞	今風化粧鏡 (眉をかくす女)	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
26	歌川 国貞	今風化粧鏡 (眉を剃る女)	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
27	歌川 国貞	今風化粧鏡 (眉を整える女)	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
28	歌川 国貞	江戸自慢 開帳の朝参	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵
29	歌川 国貞	江戸自慢 仲の町燈籠	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵
30	歌川 国貞	江戸自慢 山王御祭礼	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵

31	歌川	国貞	江戸自慢 五百羅漢施餓鬼	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵
32	歌川	国貞	江戸自慢 花屋敷の七草	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵
33	歌川	国貞	江戸自慢 真崎みそぎ	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵
34	歌川	国貞	江戸自慢 両国夕涼	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵
35	歌川	国貞	大津絵つくし (鬼の念仏)	文政10(1827)頃	木版・紙	大判錦絵
36	歌川	国貞	大津絵つくし (瓢箪駒)	文政10(1827)頃	木版・紙	大判錦絵
37	歌川	国貞	当世美人合 富士詣ノタ立	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
38	歌川	国貞	当世美人合 おゐらん	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
39	歌川	国貞	当世美人合 江戸芸者	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
40	歌川	国貞	当世美人合 身じまい芸者	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
41	歌川	国貞	当世美人合 かこゐ	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
42	歌川	国貞	当世美人合 町芸	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
43	歌川	国貞	当世美人合 辰巳	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
44	歌川	国貞	(当世)美人合 俄	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
45	歌川	国貞	当世三十式相 あづまのお客もうけ相	文政4-5(1821-22)頃	木版・紙	大判錦絵
46	歌川	国貞	当世三十式相 しばいが見た相	文政4-5(1821-22)頃	木版・紙	大判錦絵
47	歌川	国貞	当世三十式相 はやりさふ	文政4-5(1821-22)頃	木版・紙	大判錦絵
48	歌川	国貞	当世三十式相 たてひき相	文政4-5(1821-22)頃	木版・紙	大判錦絵
49	歌川	国貞	当世三十式相 りこう相	文政4-5(1821-22)頃	木版・紙	大判錦絵
50	歌川	国貞	七小町 応需見立かよひ	文政3-12(1820-29)頃	木版・紙	大判錦絵
51	歌川	国貞	七小町 応需見立鸚鵡	文政3-12(1820-29)頃	木版・紙	大判錦絵
52	歌川	国貞	集女八景 遠浦帰帆 ふね宿	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
53	歌川	国貞	集女八景 洞庭秋月 (襟白粉)	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
54	歌川	国貞	当世夏景色 朝かほ	文政10(1827)頃	木版・紙	大判錦絵
55	歌川	国貞	当世夏景色 かや商	文政10(1827)頃	木版・紙	大判錦絵
56	歌川	国貞	当世夏景色 水屋	文政10(1827)頃	木版・紙	大判錦絵
57	歌川	国貞	(鬼灯を持つ女)	弘化元-2(1844-45)頃	木版・紙	大判錦絵 縦2枚続
58	歌川	国貞	(お高祖頭巾の女)	天保3(1832)頃	木版・紙	大判錦絵 縦2枚続
59	歌川	国貞	(浄瑠璃づくし) おしゅん伝兵衛 堀川の段	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
60	歌川	国貞	(浄瑠璃づくし) 梅か枝源太 無間乃鐘段	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
61	歌川	国貞	(浄瑠璃づくし) 梅川忠兵衛 新口村の段	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
62	歌川	国貞	(浄瑠璃づくし) お染久松 妹背の門松	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
63	歌川	国貞	(浄瑠璃づくし) お千代半兵衛 宵庚申	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
64	歌川	国貞	(浄瑠璃づくし) おつま八郎兵衛 恨鮫鞘	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
65	歌川	国貞	(浄瑠璃づくし) おふさ徳兵衛 重井筒	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
66	歌川	国貞	(浄瑠璃づくし 小紫権八) 驪山比翼塚	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
67	歌川	国貞	(浄瑠璃づくし) 三勝縁切段	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
68	歌川	国貞	(浄瑠璃づくし) 小春治兵衛 新地茶屋段	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
69	歌川	国貞	江戸八景 木母寺暮雪	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続

70	歌川 国貞	江戸新吉原八朔白無垢の図	文政5(1822)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続
71	歌川 国貞	夕立景	文政8(1825)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続
72	歌川 国貞	元柳橋 雪の光景	不詳	木版・紙	大判錦絵 3枚続
73	歌川 国貞	(吉原の花魁たち)	文政後期(1825-30)	木版・紙	大判錦絵 3枚続
74	歌川 国貞、歌川 広重	東源氏雪の庭	安政元(1854)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続
75	歌川 国貞、歌川 広重	東都堀切花菖蒲	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵 3枚続
76	歌川 国貞	六玉顔 (人形遊び)	不詳	木版・紙	団扇絵判錦絵
77	歌川 国貞	六玉顔 (煙管美人)	不詳	木版・紙	団扇絵判錦絵
78	歌川 国貞	紅毛油画名所尽 神田明神	文政後期-天保初期 (1824-31)頃	木版・紙	横大判錦絵
79	歌川 国貞	紅毛油画名所尽 日本橋	文政後期-天保初期 (1824-31)頃	木版・紙	横大判錦絵

◎第Ⅱ期 8/8 (木) ～8/25 (日)

No.	作家名	作品名	制作時期、年代	技法・材質	判型
水辺					
1	歌川 国貞	江戸名所百人美女 御茶の水	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
2	歌川 国貞	江戸名所百人美女 両国はし	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
3	歌川 国貞	江戸名所百人美女 日本はし	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
4	歌川 国貞	江戸名所百人美女 高縄	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
5	歌川 国貞	江戸名所百人美女 霞ヶ関	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
6	歌川 国貞	江戸名所百人美女 根津権現	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
7	歌川 国貞	江戸名所百人美女 しのはず弁天	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
8	歌川 国貞	江戸名所百人美女 品川歩行新宿	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
9	歌川 国貞	江戸名所百人美女 大川橋 里俗吾妻はし	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
10	歌川 国貞	江戸名所百人美女 新はし	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
11	歌川 国貞	江戸名所百人美女 洲崎	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
12	歌川 国貞	江戸名所百人美女 江戸はし	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
13	歌川 国貞	江戸名所百人美女 首尾の松	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
14	歌川 国貞	江戸名所百人美女 呉服ばし	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
15	歌川 国貞	江戸名所百人美女 永代橋	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
16	歌川 国貞	江戸名所百人美女 三囲	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
17	歌川 国貞	江戸名所百人美女 神楽坂	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
18	歌川 国貞	江戸名所百人美女 四ツ谷	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
19	歌川 国貞	江戸名所百人美女 京ばし	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
20	歌川 国貞	江戸名所百人美女 溜いけ	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
21	歌川 国貞	江戸名所百人美女 千束	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
22	歌川 国貞	江戸名所百人美女 柳はし	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
23	歌川 国貞	江戸名所百人美女 三味せんぼり	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
24	歌川 国貞	江戸名所百人美女 新大はし	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
25	歌川 国貞	江戸名所百人美女 今戸	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
町					
26	歌川 国貞	江戸名所百人美女 駿河町	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
27	歌川 国貞	江戸名所百人美女 天神	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
28	歌川 国貞	江戸名所百人美女 今戸	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵

29	歌川	国貞	江戸名所百人美女	堀の内祖師堂	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
30	歌川	国貞	江戸名所百人美女	浅草寺	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
31	歌川	国貞	江戸名所百人美女	王子稻荷	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
32	歌川	国貞	江戸名所百人美女	猿若町	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
33	歌川	国貞	江戸名所百人美女	木場	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
34	歌川	国貞	江戸名所百人美女	目黒瀧泉寺	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
35	歌川	国貞	江戸名所百人美女	染井	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
36	歌川	国貞	江戸名所百人美女	花川戸	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
37	歌川	国貞	江戸名所百人美女	八町堀	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
38	歌川	国貞	江戸名所百人美女	鉄砲洲	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
39	歌川	国貞	江戸名所百人美女	浅草田町	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
40	歌川	国貞	江戸名所百人美女	駒形	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
41	歌川	国貞	江戸名所百人美女	柳島	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
42	歌川	国貞	江戸名所百人美女	いひ田まち	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
43	歌川	国貞	江戸名所百人美女	鎧のわたし	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
44	歌川	国貞	江戸名所百人美女	小梅	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
45	歌川	国貞	江戸名所百人美女	ふる川	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
46	歌川	国貞	江戸名所百人美女	芝神明前	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
47	歌川	国貞	江戸名所百人美女	尾張町	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
48	歌川	国貞	江戸名所百人美女	豎川	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
49	歌川	国貞	江戸名所百人美女	浅草す八丁	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
50	歌川	国貞	江戸名所百人美女	御船蔵前	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
51	歌川	国貞	江戸名所百人美女	人形町	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
52	歌川	国貞	江戸名所百人美女	薬げんぼり	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
53	歌川	国貞	江戸名所百人美女	しん宿	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
54	歌川	国貞	江戸名所百人美女	よし町	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
55	歌川	国貞	江戸名所百人美女	今川はし	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
56	歌川	国貞	江戸名所百人美女	千住	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
57	歌川	国貞	江戸名所百人美女	内藤新宿	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
神社仏閣							
58	歌川	国貞	江戸名所百人美女	芝神明	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
59	歌川	国貞	江戸名所百人美女	かやば町	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
60	歌川	国貞	江戸名所百人美女	築地門跡	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
61	歌川	国貞	江戸名所百人美女	五百羅かん	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
62	歌川	国貞	江戸名所百人美女	大師河原	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
63	歌川	国貞	江戸名所百人美女	赤さか氷川	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
64	歌川	国貞	江戸名所百人美女	山王御宮	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
65	歌川	国貞	江戸名所百人美女	芝あたご	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
66	歌川	国貞	江戸名所百人美女	深川八幡	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
67	歌川	国貞	江戸名所百人美女	赤羽根水天宮	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
68	歌川	国貞	江戸名所百人美女	葵坂	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
69	歌川	国貞	江戸名所百人美女	三縁山増上寺	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
70	歌川	国貞	江戸名所百人美女	湯島天神	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
71	歌川	国貞	江戸名所百人美女	神田のやしろ	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵

72	歌川	国貞	江戸名所百人美女	東本願寺	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
73	歌川	国貞	江戸名所百人美女	成田山旅宿	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
74	歌川	国貞	江戸名所百人美女	妻恋稻荷	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
75	歌川	国貞	江戸名所百人美女	第六天神	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
76	歌川	国貞	江戸名所百人美女	三田聖坂	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
77	歌川	国貞	江戸名所百人美女	あさぢがはら	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
78	歌川	国貞	江戸名所百人美女	鏡が池	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
79	歌川	国貞	江戸名所百人美女	大音寺まへ	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
80	歌川	国貞	江戸名所百人美女	白銀樹目谷	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵

季節							
81	歌川	国貞	江戸名所百人美女	根岸	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
82	歌川	国貞	江戸名所百人美女	新吉原満花	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
83	歌川	国貞	江戸名所百人美女	あすかやま	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
84	歌川	国貞	江戸名所百人美女	日くらしの里	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
85	歌川	国貞	江戸名所百人美女	堀切菖蒲	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
86	歌川	国貞	江戸名所百人美女	梅やしき	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
87	歌川	国貞	江戸名所百人美女	長命寺	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
88	歌川	国貞	江戸名所百人美女	墨水花盛	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
89	歌川	国貞	江戸名所百人美女	小石川牛天神	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
90	歌川	国貞	江戸名所百人美女	上野東叡山	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
91	歌川	国貞	江戸名所百人美女	木母寺	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵
92	歌川	国貞	江戸名所百人美女	海晏寺	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
93	歌川	国貞	江戸名所百人美女	吉徳稻荷	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
94	歌川	国貞	江戸名所百人美女	とりのまち	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
95	歌川	国貞	江戸名所百人美女	するがだい	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
96	歌川	国貞	江戸名所百人美女	白髭明神	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
97	歌川	国貞	江戸名所百人美女	十軒店	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
98	歌川	国貞	江戸名所百人美女	上野山下	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
99	歌川	国貞	江戸名所百人美女	よし原	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵
100	歌川	国貞	江戸名所百人美女	御殿山	安政5(1858)	木版・紙	大判錦絵

◎第Ⅲ期　8/29（木）～9/26（木）

No.	作家名		作品名	制作時期、年代	技法・材質	判型
1	歌川	国芳	譬諭草をしへ早引 わ 輪 （糸車）	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
2	歌川	国芳	譬諭草をしへ早引 へ 辺 土佐の海	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
3	歌川	国芳	賢女烈婦伝 松浦佐用姫		木版・紙	大判錦絵
4	歌川	国芳	賢女烈婦伝 大井兎		木版・紙	大判錦絵
5	歌川	国芳	（雪と娘）		木版・紙	大判錦絵 縦2枚続
6	歌川	国芳	（船橋屋菓子司前）	天保10-12(1839-41)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続
7	歌川	国芳	当盛江戸鹿子 両国の景	天保(1830-44)前期	木版・紙	大判錦絵
8	歌川	国芳	当盛江戸鹿子 三めぐり	天保(1830-44)前期	木版・紙	大判錦絵
9	歌川	国芳	当盛江戸鹿子 茅場町薬師	天保(1830-44)前期	木版・紙	大判錦絵
10	歌川	国芳	大願成就有ヶ滝縞 （玉簾の滝）	弘化2(1845)頃	木版・紙	大判錦絵

11	歌川	国芳	大願成就有ヶ滝縞（布引の滝）	弘化2(1845)頃	木版・紙	大判錦絵
12	歌川	国芳	季寄時計年中行事 申刻 霜月 酉ノまちのにきわひ	弘化4-嘉永5(1847-52)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続
13	歌川	国芳	季寄時計年中行事 戌刻 浅草市の賑ひ	弘化4-嘉永5(1847-52)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続
14	歌川	国芳	当盛 今戸の夜ざしき	弘化4-嘉永5(1847-52)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続
15	歌川	国芳	納涼蛩		木版・紙	大判錦絵 3枚続
16	歌川	国芳	(諸国六玉川) 武蔵国調布の玉川		木版・紙	大判錦絵 3枚続
17	歌川	国芳	(山海)目出鯛図会 あたまかいたい	嘉永5(1852)	木版・紙	大判錦絵
18	歌川	国芳	山海愛度図会 えりをぬきたい	嘉永5(1852)	木版・紙	大判錦絵
19	歌川	国芳	さんかい愛度図会 これが着たい	嘉永5(1852)	木版・紙	大判錦絵
20	歌川	国芳	山海愛度図会 トットやくたい	嘉永5(1852)	木版・紙	大判錦絵
21	歌川	国芳	山海愛度図会 一寸見てもらいたい	嘉永5(1852)	木版・紙	大判錦絵
22	歌川	国芳	山海愛度図会 人形になりたい	嘉永5(1852)	木版・紙	大判錦絵
23	歌川	国芳	山海愛度図会 ねむつたい	嘉永5(1852)	木版・紙	大判錦絵
24	歌川	国芳	山海愛度図会 はやくねかしたい	嘉永5(1852)	木版・紙	大判錦絵
25	歌川	国芳	山海愛度図会 早く見たい	嘉永5(1852)	木版・紙	大判錦絵
26	歌川	国芳	山海愛度図会 よい日をおかミたい	嘉永5(1852)	木版・紙	大判錦絵
27	溪斎	英泉	新吉原八景 狎客の夜の雨 尾張屋内 爰にし	文政4-5(1821-22)頃	木版・紙	大判錦絵
28	溪斎	英泉	新吉原八景 日本堤の落雁 玉屋内玉櫛	文政4-5(1821-22)頃	木版・紙	大判錦絵
29	溪斎	英泉	新吉原八景 楼上の秋の月 丸海老屋内江川	文政5-6(1822-23)頃	木版・紙	大判錦絵
30	溪斎	英泉	今様美女競 辰巳	文政8(1825)頃	木版・紙	大判錦絵
31	溪斎	英泉	今世美女競 深窓娘	文政8(1825)頃	木版・紙	大判錦絵
32	溪斎	英泉	時世美女競 抱けいしや	文政8(1825)頃	木版・紙	大判錦絵
33	溪斎	英泉	時世美女競 女房	文政8(1825)頃	木版・紙	大判錦絵
34	溪斎	英泉	時世美女競 辻君	文政8(1825)頃	木版・紙	大判錦絵
35	溪斎	英泉	当世好物八契 (かるた)	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
36	溪斎	英泉	当世好物八契 けん酒	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
37	溪斎	英泉	当世好物八契 (ひな人形)	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
38	溪斎	英泉	美人会中鏡 時世六佳撰 (湯上がり美人)	文政9-10(1826-27)頃	木版・紙	大判錦絵
39	溪斎	英泉	美人会中鏡 時世六佳撰 (盃を持つ芸妓)	文政9-10(1826-27)頃	木版・紙	大判錦絵
40	溪斎	英泉	今様美人拾二景 高名輪 うわきそう	文政5-6(1822-23)頃	木版・紙	大判錦絵
41	溪斎	英泉	今様美人拾二景 隅田川 おもしろそう	文政4-5(1821-22)頃	木版・紙	大判錦絵
42	溪斎	英泉	今様美人拾二景 深川すさき弁才天 おてんばそう	文政5-6(1822-23)頃	木版・紙	大判錦絵
43	溪斎	英泉	今様美人拾二景 よし原 手がありそう	文政5-6(1822-23)頃	木版・紙	大判錦絵
44	溪斎	英泉	今様美人拾二景 不忍弁天 しづかそう	文政5-6(1822-23)頃	木版・紙	大判錦絵
45	溪斎	英泉	当世廓風俗 海老屋内大井	文政10(1827)頃	木版・紙	大判錦絵
46	溪斎	英泉	当世廓風俗 岡本屋内豊岡	文政10(1827)頃	木版・紙	大判錦絵
47	溪斎	英泉	吉原要事廓の四季志 正月 大こくまい 玉屋内濃紫	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
48	溪斎	英泉	よしはらやうじ廓の四季志 二月 大神楽 尾張屋内長尾	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
49	溪斎	英泉	よしはらやうじ廓の四季志 三月 中の町桜 玉屋内薄雲	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵

50	溪斎	英泉	吉原要事廓四季志 四月 客の行かい 岡本屋内菅之助	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
51	溪斎	英泉	吉原要事廓の四季志 五月 端午初のおやめ 松葉屋内増山	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
52	溪斎	英泉	吉原要事廓の四季志 六月 髪あらい日 三浦屋内三千歳	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
53	溪斎	英泉	よしはらようじ廓四季志 七月 とろうほし祭 尾張屋内嘉保留	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
54	溪斎	英泉	吉原要事廓の四季志 八月 八さくに八か 大文字屋内誰袖	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
55	溪斎	英泉	吉原要事廓の四季誌 九月 俄ねり者 鶴屋内大淀	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
56	溪斎	英泉	吉原要事廓四季志 十月 内証ゑひす講 姿海老屋内七里	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
57	溪斎	英泉	吉原要事廓の四季志 十一月 仲の町雪見 玉屋内白玉	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
58	溪斎	英泉	吉原要事廓の四季志 十二月 節分 海老屋内鴨緑	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
59	溪斎	英泉	契情道中双媒 見立よしはら五十三つみ かめ山 若松屋内花川	文政8(1825)頃	木版・紙	大判錦絵
60	溪斎	英泉	契情道中双媒 見立よしはら五十三つみ 奥津 尾張屋内嘉保留	文政8(1825)頃	木版・紙	大判錦絵
61	溪斎	英泉	傾城道中双媒 見立よしはら五十三対 戸塚 まつはや増山	文政8(1825)頃	木版・紙	大判錦絵
62	溪斎	英泉	(花魁道中 花鳥図)		木版・紙	大判錦絵 縦2枚続
63	溪斎	英泉	(花魁道中 鯉の滝のぼり)	天保期(1830-44)	木版・紙	大判錦絵 縦2枚続
64	溪斎	英泉	吉原美人 いてのやまぶき 扇屋内鳩照	天保6(1835)頃	木版・紙	大判錦絵
65	溪斎	英泉	吉原美人 八瀬のしのぶ 扇屋内朝妻	天保6(1835)頃	木版・紙	大判錦絵
66	溪斎	英泉	(客を送る花魁)	天保6(1835)頃	木版・紙	大判錦絵 縦2枚続
67	溪斎	英泉	(月を眺める娘)		木版・紙	大判錦絵 縦2枚続
68	溪斎	英泉	(湯がえり)	文政10(1827)頃	木版・紙	大判錦絵 縦2枚続
69	溪斎	英泉	美人春の風		木版・紙	大判錦絵 3枚続
70	溪斎	英泉	浮世美人十二箇月 六月 天王祭	天保6(1835)頃	木版・紙	大判錦絵
71	溪斎	英泉	浮世美人十二箇月 四月 郭公 初鯉	天保6(1835)頃	木版・紙	大判錦絵

岩橋英遠《道産子追憶之巻》

IWAHASHI Eien, *Hokkaido Reminiscence*



2024年7月9日[火]～ 9月26日[木]
北海道立近代美術館 展示室A 1階

冬に始まり冬に終わる北海道の四季の移ろいを、夜明けから始まり再び夜となるまでの1日の推移と重ね、静かにそして鮮やかに展開していく絵巻形式の大作。20年に及ぶ長い構想の末、完成させた岩橋英遠の代表作《道産子追憶之巻》をご紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	岩橋 英遠	道産子追憶之巻	1978-82(昭和53-57)	紙本彩色・額	60.7×2,908.8

* 寸法は縦×横

ウィズ・キッズ'24

なぜこのかたちなの？

With Kids '24: Why This Shape?



2024年7月9日[火]～ 9月26日[木]
北海道立近代美術館 展示室A 2階

子どもが大人を連れて来たくなるような美術館を目指して、新たな企画「ウィズ・キッズ」を始めます。テーマは「なぜこのかたちなの？」。ガラスの箱や不思議なカップをご紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
1	アラン・ライス	宙に浮かんだ肝臓の上で対決するカップと空飛ぶ円盤	1973	ガラス	23.7×32.7×15.8
はこ、蓋ものなど					
2	山岡 三秋	黒釉いっちゃん箱	1954(昭和29)	陶磁	9.3×15.1×6.7
3	宮下 貞一郎	呉須絵三つ重ね	1960(昭和35)年頃	陶磁	21.5×11.0×17.5
4	宮下 貞一郎	六角香合	不詳	陶磁	6.0×6.6×4.0
5	バーナード・リーチ	蓋物	不詳	陶磁	22.2×15.8
6	小森 忍	鉄錆花文瓢注	不詳	陶磁	12.6×20.0×30.0
7	佐藤 潤四郎	三蔵法師舍利器とカバー	舍利器：1980(昭和55) カバー：1984(昭和59)	ガラス：宙吹き、カット	舍利器：8.6×7.8 カバー：14.6×21.2
8	佐藤 潤四郎	薬師寺西塔舍利器	1978(昭和53)	ガラス：型吹き、エングレーヴィング	12.2×16.5
9	エミール・ガレ	南瓜文蓋物	1900頃	ガラス：型吹き、エッチング、エナメル彩、金彩	8.9×14.9×13.4
10	小柴 外一	踊り子文香水吹き	1940(昭和15)頃	ガラス：パート・ド・ヴェール	5.0×5.0×6.2
11	ウイスタリア・リズリー	栓付瓶	不詳	ガラス：型吹き	7.3×9.3
12	アンドレ・テュレ	香水瓶	1950-55頃	ガラス：被せガラス	10.0×16.2
13	アンドレ・テュレ	香水瓶	1950-60	ガラス：被せガラス	9.5×15.0
14	藤田 喬平	飾筥・十六夜	1982(昭和57)頃	ガラス：金属箔貼付、型吹き	30.0×14.9
15	藤田 喬平	飾筥・海の彩	1980(昭和55)	ガラス：色ガラス粒と金属箔による装飾、型吹き	20.5×24.0×18.5
16	藤田 喬平	飾筥・竹取物語	1992(平成4)	ガラス、銀：被せガラス、色ガラス粉と金箔、プラチナ箔による装飾、型吹き	26.0×29.5×17.0
17	藤田 喬平	飾筥・源氏物語	1983(昭和58)	ガラス、金属：被せガラス、色ガラス粒と金属箔による装飾、型吹き	21.5×21.0×24.5
18	不詳	蓋付碗	江戸時代末期	ガラス：型吹き、カット、金彩、着色	12.7×8.1
19	不詳	菊唐草文蓋物	江戸時代	ガラス：型吹き	12.9×9.0
20	石狩陶園	草花文蓋物	不詳	陶磁	16.6×7.8
21	小樽焼	染付蓋物	不詳	陶磁	9.3×8.2
22	大塚 哲郎	組み木	1980(昭和55)	木	153.0×135.0×145.0
カップ、グラス					
23	登別窯	抹茶碗	不詳	陶磁	12.5×11.8×6.1
24	登別窯	夫婦湯呑	不詳	陶磁	大：7.3×7.3 小：6.5×6.4
25	山本 正年	天目茶盃	不詳	陶磁	11.8×6.0
26	藤田 喬平	茶碗	1991(平成3)	ガラス：金箔溶着、宙吹き	14.1×7.3
27	ルートヴィヒ・モーゼル工房	ティーカップ	19世紀後半	ガラス：被せガラス、型吹き、エナメル彩、金彩	カップ：9.0×11.0×7.0／皿：14.5×2.5
28	イタリアの工房	ティーカップ	19世紀末	ガラス：金彩	カップ：10.3×7.5×12.5／皿：12.9×2.1
29	ルートヴィヒ・モーゼル工房	ワイングラス	19世紀末	ガラス：型吹き、エングレーヴィング、エナメル彩、金彩	7.9×17.1

30	イタリアの工房	ワイングラス	19世紀末	ガラス：色ガラス粉と金箔、 金粉による装飾、ホットワー クによる装飾	9.4×21.6
31	クリス・テデスコ	無題	1973	ガラス	7.5×11.2×25.3
32	赤地 健	波にプカプカ	1973(昭和48)	陶磁	23.0×35.5×1.9
33	森 正洋	六つのカップ	1973(昭和48)	陶磁	12.8×8.3×15.6他
34	ミネオ・ミズノ	無題	1973	陶磁	8.0×17.5×12.0他
35	リサ・ラーソン	無題	1973	陶磁	13.7×13.0×7.7
36	マーガレタ・ローヘルム	家族の肖像	1973	陶磁	15.8×22.1×11.9
37	ジョニー・ロルフ	花縁カップ	1973	陶磁	19.4×11.5
38	マイケル・エドワード・コーン	スペース・カップⅠ	1973	ガラス：被せガラス、カット	11.2×24.0×9.5
39	マイケル・エドワード・コーン	スペース・カップ64番	1981	ガラス：宙吹き、スランピング、 カット	27.5×51.0×17.5
40	マーヴィン・リポフスキー	パワー・カップ	1973	ガラス：鑄造	14.8×10.0×34.8
41	リチャード・ノットキン	窮地におしこめられたカップ	1973	陶磁、ガラス	20.0×28.0
42	ジェイ・マスラー	街景	1982	ガラス：カット、サンドブラ スト、着色	45.0×20.0
皿					
43	小樽焼	染付皿	不詳	陶磁	11.7×3.0他
44	小樽焼	染付山水文皿	不詳	陶磁	10.2×18.7×2.9
45	蝦夷窯（江戸武焼）	魚形北海道地図深皿	不詳	陶磁	12.3×17.8×4.0
46	柴山 勝	鮑形蟹文器	不詳	陶磁	18.3×27.9×7.0
47	小柴 外一／岩城硝子株式会社	ばら 皿セット	不詳	ガラス：型押し、研磨	大皿1点：30.3×6.0 小 皿6点：(各)14.0×3.0
48	小柴 外一／岩城硝子株式会社	かごめ 皿	不詳	ガラス：型押し	14.8×3.8
49	小柴 外一／岩城硝子株式会社	皿	不詳	ガラス：被せガラス、カット	14.3×14.3×2.3
50	ガレ工房	ラズベリー文皿	1904-14頃	ガラス：被せガラス、エッチ ング	25.0×22.0×5.3
51	マリウス＝エルネスト・サビノ	うにに昆布文皿	1920代	ガラス：彩色、型押し	30.0×7.2
52	山岡 三秋	辛夷文角飾皿	不詳	陶磁	39.6×39.9×7.5
53	宮下 貞一郎	白釉縞鉄絵角皿	不詳	陶磁	42.0×26.4×6.0
54	ベンジャミン・ムーア	パッラ・ボウル	1990	ガラス：宙吹き、被せガラス	51.5×11.5
55	ジョーイ・カークパトリック フローラ・C.メイス	フルーツの静物	1994	ガラス：宙吹き、ガラス粉溶 着による着色、木	49.8×25.1
56	藤田 喬平	大皿・宇宙	1988(昭和63)	ガラス：宙吹き、インカル モ、モザイク・ガラス	66.0×4.0
57	ハーヴィーK.・リトルトン	切断された青い円盤	1981	ガラス：被せガラス、カット	23.0×11.0×10.0他

＊寸法は直径×高さ、あるいは奥行×幅×高さ

＊各展覧会 すべて当館蔵

Art Gallery Hokkaido: The Past and Present of Tomakomai Port
From the Tomakomai City Museum Collection

2024年7月9日[火]～ 9月26日[木]
北海道立近代美術館 展示室A 2階

道内各地の特色ある美術館を紹介する「アートギャラリー北海道」事業として開催する本展では、街の発展とともに姿を変えてきた港のすがたをテーマに、苫小牧市美術博物館等のコレクションをご紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	坂東 史樹	小さくて深い空	2019(令和元)	ミクストメディア	10.0×500.0×200.0
2	坂東 史樹	苫小牧埠頭西No.1倉庫（インスタレーション「その仔犬をポケットに入れよ、旅を続けよう。」より）	2015(平成27)	ミクストメディア	220.0×26.2×26.0
3	坂東 史樹	苫小牧西港（インスタレーション「その仔犬をポケットに入れよ、旅を続けよう。」より）	2015(平成27)	ミクストメディア	220.0×26.0×26.2
4	坂東 史樹	苫小牧遠景（インスタレーション「その仔犬をポケットに入れよ、旅を続けよう。」より）	2015(平成27)	ミクストメディア	220.0×31.1×26.2
5	新井 康須雄	樽前山展望	不詳	油彩・キャンバス	53.0×65.2
6	大平 喜彦	フェリーターミナルを望んで	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	45.5×55.0
7	大平 喜彦	港遠望	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	45.5×55.0
8	大平 喜彦	漁港好日	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	45.5×55.0
9	大平 喜彦	漁港夏の日に	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	45.5×55.0
10	大平 喜彦	商港の午後	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	45.5×55.0
11	横山 順一郎	苫小牧港	1997(平成9)	油彩・キャンバス	91.0×116.7
12	鹿毛 正三	漁港	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	73.0×91.0
13	村上 弥太郎	船のある風景	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	52.7×65.0
14	福井 正治	滞船	不詳	油彩・キャンバス	33.3×53.0
15	本間 武男	夏の日	不詳	油彩・キャンバス	50.0×60.6
16	砂田 友治	勇払原野	不詳	油彩・キャンバス	31.8×41.0
17	菅原 勇	工場地帯への道	1993(平成5)	油彩・キャンバス	162.0×194.0
博物資料					
18	—	潜水用ヘルメット	昭和30-40代		39.0×35.5×42.0
19	—	自記流向流速計	昭和30代		87.0×32.5×55.0
20	—	空撮用カメラ	昭和時代		30.0×30.5×26.8
21	志方 孝之	築港写真	撮影:1953-68(昭和28-43)		60.0×84.7
22	—	絵葉書 ふるさとのみなと 苫小牧港	1988(昭和63)		10.4×26.8
23	吉田 初三郎	苫小牧市鳥瞰図	1953(昭和28)		17.7×49.0
24	吉田 初三郎	苫小牧市鳥瞰図	1950(昭和25)		17.4×49.0
参考資料	志方 孝之	『砂浜と原野にいどんで』	発行:1977(昭和52)		28.3×27.5×2.9

* 寸法は縦×横、または高さ×幅×奥行

No.1は苫小牧市蔵、参考資料は当館蔵、それ以外は全て苫小牧市美術博物館蔵。

ウィズ・キッズ ’24 みる・ふれる・つたえる
さいきょうのざいりょう

With Kids ’24: Look, Touch, Convey —My Best Materials



2024年10月12日(土)～12月8日(日)
展示室A1階

私たちがふだん何気なく接している石や木、糸、布なども、工夫しだいで美術作品の「さいきょうのざいりょう」になります。
作品をみて、ふれて、身近な素材に秘められた可能性を発見していく展覧会です。

*寸法は縦×横、径×高さ、または幅×奥行×高さ

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)*
金属 きんぞく					
1	國松 明日香	北北東の風	2000(平成12)	コルテン鋼	178.0×41.0×198.5
2	三木 富雄	耳	1965(昭和40)頃	アルミニウム	63.0×18.0×108.0
3	折原 久左エ門	広間の花器	2004(平成18)	鍛金、黒メラミン焼付・鉄、木	84.0 ×45.0 ×85.0
4	折原 久左エ門	鉄花器	1961(昭和36)	鉄、黄銅、真鍮	53.0×102.0
水 みず					
5	バルト・フレインス	石と水と柔らかなガラス	1987	ガラス、御影石：スランピング	49.0×49.0×27.5
6	リチャード・マイトナー	ジャック	1997-2000	ガラス：ホウケイ酸ガラス、宙吹き、エナメル焼付、金箔、一部色水を満たす	20.0×68.0×72.0
7	後藤 和子	BLUE STREAMS 0407	2004(平成16)	アクリル絵具、グワッシュ・紙	76.0×137.0
8	後藤 和子	BLUE STREAMS 0403	2004(平成16)	アクリル絵具、グワッシュ・紙	62.0×137.0
9	八木 保次	青の風景	2006(平成18)	グワッシュ・紙(アート紙)	107.8×78.2
光 ひかり					
10	スタニスラフ・リベンスキー/ ヤロスラヴァ・プリフトヴァ	頭 89	1989	ガラス：キャスト	58.0×20.0×70.0
11	家住 利男	P. 040901	2001(平成13)	板ガラス：接着、ハンド・グラインダーによる彫刻、研磨	25.0×9.0×150.0
12	宮島 達男	Monism / Dualism No. 6	1999(平成11)	L.E.D.(発光ダイオード)、IC、電線、スチールパネル	9.0×5.5×330.6
糸 いと					
13	中村 木美	神学生	2009(平成21)	木綿撚り糸、金属枠	26.0×51.5×158.0
14	中村 木美	エトルリヤの貴族	2009(平成21)	木綿撚り糸、金属枠	
15	中村 木美	アリスの大ねずみ	2009(平成21)	木綿撚り糸、金属枠	38.5×44.0×177.0
16	中村 木美	天翔けるもの	2009(平成21)	木綿撚り糸、金属枠	39.0×51.0×165.0
17	沢田 哲郎	無題	1989(平成元)	羊毛・タフト織	245.0×120.0
18	プラブハカール・S・ ナイク＝サタム	混迷	1984	ゴブラン織	294.0×180.0
木 き					
19	岡沼 淳一	森を見た日	1995(平成7)	埋もれ木(ニレ)	223.0×13.5×222.0
20	奎田 たけを	梵 86A-11	1986(昭和61)	木、金属、布	144.0×191.0
21	柿崎 熙	林縁から	2003(平成15)	アクリル絵具・木(カツラ、セン)	850.0×120.0×240.0
22	本田 明二	えもの	1988(昭和63)	木	60.0×30.0×70.0
23	中江 紀洋	私のBC330 (Mater dolorosa)	1982(昭和57)	木(カツラ、マツ、ホウノキ)	82.0×70.5×144.5

土 つち					
24	小川 待子	Time Unearthed 2018 N-1	2018(平成8)	陶土、磁土、ガラス	23.8×27.3×65.5
25	下沢 敏也	Re-birth 「痕跡」	2016(平成28)	陶土、顔料、酸化鋳物、アクリル、ボード	187.0 ×187.0

石 いし					
26	安田 侃	対話	1974(昭和49)	大理石	100.0×130.0×31.0
27	鈴木 吾郎	石あたま	1974(昭和49)	コンクリート	19.5×22.5×18.7
28	流 政之	雲の砦Jr. ※パネル展示	2004(平成16)	石(黒御影)	514.0×262.0×251.0

作品に ふれてみよう！

29	金沢 健一	音のかけらN5	2000(平成12)	鉄、ゴム	300.0×3.2
30	家住 利男	V. 010702	2002(平成14)	板ガラス:接着、ハンド・グラインダーによる彫刻、研磨	60.0×12.0
31	渡辺 信	萌芽	1978(昭和53)	ブロンズ	33.0×34.3×37.5
32	中村 木美	鳥の椅子	1986(昭和61)	木綿糸・金属枠	150.0×70.0×200.0
33	峯田 敏郎	2DK	1975(昭和50)	木(ホオノキ)	181.0×78.5×118.5
34	安田 侃	生誕	1974-75(昭和49-50)	大理石	100.0×80.0×66.0

Nos. 7, 8 のみ個人蔵、それ以外は全て当館蔵

温かいガラスへ 岩田藤七の軌跡

Aiming at Glass with Warmth—The Achievements of Iwata Toshichi



2024年10月12日(土)～12月8日(日)
展示室A2階

岩田藤七(1893-1980)は、豊かな色彩や大胆な形を特色とする作品により、日本のガラスを実用品から芸術の域に高めました。また、茶道や華道の世界にガラスの道具を広めました。その多彩な仕事をご覧ください。

*寸法は縦×横、幅×径、または径×高さ、幅×奥行×高さ

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)*
-----	-----	-----	-----	-------	---------

導入

1	岩田 藤七	花器・光りの美	1950(昭和25)	ガラス:宙吹き	12.0×12.0×40.5
Ⅰ ガラス芸術を拓く					
2	岩田 藤七	色替舟虫手花器	1935(昭和10)	ガラス:宙吹き、ホットワークによる装飾	19.2×14.4×25.0
3	岩田 藤七	一輪挿・ナイル河	1940(昭和15)	ガラス:宙吹き、色ガラス溶着	7.0×15.0
4	岩田 藤七	トンボ玉風一輪挿	1936(昭和11)	ガラス:宙吹き	11.2×22.9
5	岩田 藤七	鉢	1937(昭和12)	ガラス:宙吹き	30.5×10.0
6	岩田 藤七	大鉢	1935(昭和10)	ガラス:宙吹き	37.3×11.3
7	岩田 藤七	鉢	1936(昭和11)	ガラス:宙吹き	30.0×10.5
8	岩田 藤七	硝子鉢	1939(昭和14)頃	ガラス:斑文装飾	28.0×13.0
9	岩田 藤七	花文小鉢	1930年代	ガラス:宙吹き	各8.4×4.1 (5点組)
10	岩田 藤七	花器・宵	1945(昭和20)	ガラス:宙吹き、金属箔封入	20.8×20.0

Ⅱ ガラス芸術の開花					
11	岩田 藤七	玻璃四方形花器	1957(昭和32)	ガラス:金粉封入	21.8×33.3
12	岩田 藤七	金一輪挿		ガラス:宙吹き	11.1×25.3
13	岩田 藤七	花器・おぼろ夜	1958(昭和33)	ガラス:宙吹き	15.0×38.0
14	岩田 藤七	花器・ナイル河畔	1970(昭和45)	ガラス:宙吹き	31.0×16.0×27.0
15	岩田 藤七	鉢	1962(昭和37)	ガラス:宙吹き	42.0×13.0
16	岩田 藤七	花器・荷葉		ガラス:宙吹き、金粉溶着	21.6×33.8×13.8
17	岩田 藤七	水指・雲間	1975(昭和50)	ガラス:宙吹き	22.3×19.0
18	岩田 藤七	花器	1971(昭和46)	ガラス:宙吹き	18.0×33.0
19	岩田 藤七	花器	1970(昭和45)	ガラス:宙吹き	26.0×26.0×77.5
20	岩田 藤七	瓶	1976(昭和51)	ガラス:宙吹き	14.0×15.0×31.0
21	岩田 藤七	栓付瓶・原宿	1976(昭和51)頃	ガラス:型吹き、アブリケ	11.5×11.5×54.5
22	岩田 藤七	瓶	1976(昭和51)	ガラス:型吹き	12.0×12.0×34.5
23	岩田 藤七	花器	1966(昭和41)頃	ガラス:宙吹き	29.6×10.2×37.5
Ⅲ 多彩なかたちとそのインスピレーション					
24	岩田 藤七	花器・殷周によるガラス	1970(昭和45)	ガラス:型吹き、斑文装飾	22.4×13.8×18.5
25	岩田 藤七	花器	1970(昭和45)	ガラス:宙吹き	27.5×14.0×18.0
26	岩田 藤七	花器	1966(昭和41)	ガラス:宙吹き	18.0×27.0
27	岩田 藤七	花器	1960(昭和35)	ガラス:宙吹き	25.0×25.0×28.0
28	岩田 藤七	花器・朝の歌	1962(昭和37)	ガラス:宙吹き、アブリケ	18.0×37.0
29	岩田 藤七	トンボ玉風水指		ガラス	18.3×13.0
30	岩田 藤七	瓶	1975(昭和50)	ガラス:型吹き	10.0×10.0×30.5
31	岩田 藤七	花器	1975(昭和50)	ガラス:宙吹き	13.0×20.5×17.5
32	岩田 藤七	花器	1973(昭和48)	ガラス:宙吹き	17.0×12.0×16.0
33	岩田 藤七	花器	1973(昭和48)	ガラス:宙吹き	20.0×13.0×13.0
34	岩田 藤七	花器	1975(昭和50)	ガラス:宙吹き	18.0×6.5×51.0
Ⅳ 自然・四季を感じさせるガラス					
35	岩田 藤七	花瓶・朝陽	1969(昭和44)	ガラス:宙吹き	19.0×6.5×27.0
36	岩田 藤七	花器・晩暉	1966(昭和41)	ガラス:宙吹き	13.5×28.0
37	岩田 藤七	花器・夕月		ガラス:型吹き	15.5×15.5
38	岩田 藤七	花器・瀬音		ガラス:宙吹き、斑文装飾	29.0×7.5
39	岩田 藤七	水指・水のかげり	1971(昭和46)	ガラス:型吹き、アブリケ	23.5×12.0
40	岩田 藤七	飾皿・初夏	1972(昭和47)	ガラス:宙吹き	32.5×6.0

41	岩田 藤七	水指	1975(昭和50)	ガラス:宙吹き	21.5×21.5×10.5
42	岩田 藤七	水指・竹	1973(昭和48)	ガラス:宙吹き	15.0×15.0×16.5
43	岩田 藤七	花器・南国之花想像	1970(昭和45)	ガラス:宙吹き	28.0×10.0
44	岩田 藤七	花器・曼珠		ガラス:宙吹き	18.5×16.0
45	岩田 藤七	花器・南風		ガラス:宙吹き	18.0×18.0
46	岩田 藤七	花器・紅葉		ガラス:宙吹き、斑文装飾	15.0×36.0
47	岩田 藤七	花器・銀杏之道	1958(昭和33)	ガラス:宙吹き	12.0×24.0
48	岩田 藤七	花器・初時雨		ガラス:宙吹き、金泊溶着	13.0×27.3
49	岩田 藤七	花器・吹雪	1970(昭和45)	ガラス:宙吹き	15.5×16.0
50	岩田 藤七	花瓶・霰		ガラス:宙吹き	12.5×24.4
51	岩田 藤七	鉢と皿・あわ雪		ガラス:気泡封入	鉢:34.5×16.5 皿:各16.5×3.5 (7点組)
Ⅴ ガラスの茶道具					
52	岩田 藤七	茶碗・玄影		ガラス:宙吹き	12.0×9.0
53	岩田 藤七	茶碗・銀河		ガラス:宙吹き	12.5×8.0
54	岩田 藤七	茶碗・福寿		ガラス:宙吹き	15.0×7.5
55	岩田 藤七	水指	1970(昭和45)	ガラス:型吹き、カット	16.5×14.5
56	岩田 藤七	水指	1975(昭和50)	ガラス:型吹き	21.5×16.5
57	岩田 藤七	茶碗・三彩		ガラス:宙吹き	13.0×7.8
58	岩田 藤七	水指・花	1972(昭和47)	ガラス:型吹き	12.2×12.2×14.8
59	岩田 藤七	蓋置		ガラス	6.4×3.7
60	岩田 藤七	茶入・朧		ガラス:宙吹き	8.0×5.2
Ⅵ 貝シリーズ					
61	岩田 藤七	貝	1974(昭和49)	ガラス:宙吹き	39.0×16.0×34.5
62	岩田 藤七	貝・嵐のあした	1976(昭和51)	ガラス:宙吹き	29.0×21.0×10.0
63	岩田 藤七	貝	1973(昭和48)	ガラス:宙吹き	12.0×13.0×8.5
64	岩田 藤七	貝	1976(昭和51)	ガラス:宙吹き	21.5×17.0×15.0
65	岩田 藤七	花器	1973(昭和48)	ガラス:宙吹き	18.0×16.0×7.0
66	岩田 藤七	貝	1976(昭和51)	ガラス:宙吹き	27.5×17.5×10.0
67	岩田 藤七	貝	1973(昭和48)	ガラス:宙吹き	12.5×13.0×9.5
68	岩田 藤七	貝	1975(昭和50)	ガラス:宙吹き	20.5×11.5×7.5
69	岩田 藤七	貝	1970(昭和45)	ガラス:宙吹き	34.5×10.5×10.5
70	岩田 藤七	貝・浜辺の歌	1963(昭和38)	ガラス:宙吹き	21.0×16.5×10.5
71	岩田 藤七	貝	1976(昭和51)	ガラス:宙吹き	28.0×19.5×8.0

72	岩田 藤七	貝	1964(昭和39)	ガラス:宙吹き	43.5×13.5×13.5
73	岩田 藤七	貝	1962(昭和37)	ガラス:宙吹き	27.5×26.0×18.5
74	岩田 藤七	貝・月かげ	1976(昭和51)	ガラス:宙吹き	26.0×20.0×7.5
75	岩田 藤七	貝	1976(昭和51)	ガラス:宙吹き	30.0×18.0×13.0
76	岩田 藤七	貝	1975(昭和50)	ガラス:宙吹き	26.0×22.5×7.0
77	岩田 藤七	貝・砂	1976(昭和51)	ガラス:宙吹き	28.5×26.0×9.0
78	岩田 藤七	貝	1973(昭和48)	ガラス:宙吹き	14.0×14.0×10.5
79	岩田 藤七	貝・彩雨	1976(昭和51)	ガラス:宙吹き	26.0×19.0×8.0
80	岩田 藤七	花貝	1976(昭和51)	ガラス:宙吹き	32.5×17.0×15.0

*全て当館蔵

この1点を見てほしい。

2024年10月12日(土)～12月8日(日)
展示室A2階

Enjoy One Special Piece

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	荻須 高德	薪炭屋	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	58.8×70.2

*当館蔵

ウィズ・キッズ” 25
めでたいな！幸せねがう日本の絵

With Kids '25: Japanese Paintings for Your Hapiness



2025年3月29日(土)～7月6日(日)
展示室A1階

日本の絵画には、長寿や子孫繁栄、立身出世などの願いをあらわす吉祥モチーフが伝統的に描かれてきました。吉祥モチーフが描かれた「めでたい」作品をご覧くださいとともに、伝統的な画材もあわせて展示し、日本の絵画の魅力や鑑賞のポイントをご紹介します。

〈前期〉2025年3月29日(土)～5月18日(日)

* 寸法は縦×横					
No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法・形態	寸法(cm)*
1	蠣崎 波響	蜂巢ト猿	1818～1826 (文政年間)	絹本彩色・軸装	94.0×30.5
2	蠣崎 波響	松瀑雄鷹図	不詳	絹本彩色・軸装	95.3×33.4
3	益田 春光	瑞祥双雅	1974(昭和49)	紙本墨画淡彩・屏風(四曲一双)	各145.0×212.0
4	北上 聖牛	晴間	1928(昭和3)	絹本彩色・屏風(二曲一隻)	180.3×183.0
5	北上 聖牛	不老長春図	1960(昭和35)頃	紙本彩色・屏風(二曲一隻)	171.0×180.0
6	岩橋 英遠	朝陽	1991(平成3)	紙本・彩色、パステル・額装	90.9×175.3
7	片岡 球子	還城楽	1967(昭和42)	麻布彩色・額装	162.0×130.0
8	片岡 球子	富士	1975(昭和50)	紙本彩色・額装	115.0×78.5

〈後期〉2025年5月21日(水)～7月6日(日)

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法・形態	寸法(cm)*
1	蠣崎 波響	孔雀図	不詳	絹本彩色・軸装	99.0×36.5
2	蠣崎 波響	富嶺江春寒之図	1826(文政9)	絹本彩色・軸装	40.0 ×58.0
3	益田 春光	瑞祥双雅	1974(昭和49)	紙本墨画淡彩・屏風(四曲一双)	各145.0×212.0
4	山口 蓬春	暖冬	1933(昭和8)	紙本金地彩色・屏風(二曲一双)	各155.0×156.0
5	岩橋 英遠	朝陽	1991(平成3)	紙本・彩色、パステル・額装	90.9×175.3
6	片岡 球子	還城楽	1967(昭和42)	麻布彩色・額装	162.0×130.0
7	片岡 球子	富士	1975(昭和50)	紙本彩色・額装	115.0×78.5

* 全て当館蔵

リーヴル・ダルティスト ―芸術になった本
ルオー、ダヴィッド、マティス、シャガール

LIVRE D'ARTISTE: The Artist Books of Rouault, David, Matisse and Chagall



2025年3月29日(土)～7月6日(日)
展示室A1階

20世紀パリで活躍した画家たちは、詩や小説の挿絵を多く手がけています。それらは「芸術家の本(リーヴル・ダルティスト)」と呼ばれ、この時代に新たな芸術ジャンルとして普及しました。本展は当館所蔵の「芸術家の本」やそのオリジナル版画などをご紹介します。

* 寸法は縦×横					
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)*
1	アントニ・クラヴェ	ガルガンチュア物語	1951-55	リトグラフ・紙	35.0 ×25.0

1 「芸術家の本」誕生 画商ヴォラールの出版プロデュース

No.	作家名	作品名		制作年	技法・材質	寸法(cm)*
2	ピエール・ボナール	聖女モニク		1930	リトグラフ・紙(和紙)	17.2×15.5
3	パブロ・ピカソ	夜、少女に導かれる盲目のミノタウロス		1934	アクアチント、スクレーパー、 ドライポイント、エングレー ヴィング・紙	24.7×34.7
4-1	マルク・シャガール	死せる魂	小さな町	1927(刊行:1948)	エッチング・紙	22.3×28.5

4-2	マルク・シャガール	死せる魂	飼育場	1927(刊行:1948)	エッチング・紙	22.4×29.1
4-3	マルク・シャガール	死せる魂	路上での共謀	1927(刊行:1948)	エッチング・紙	27.4×21.4
4-4	マルク・シャガール	死せる魂	ゴーゴリとシャガール	1927(刊行:1948)	エッチング・紙	27.4×21.0
4-5	マルク・シャガール	死せる魂	シャツ1枚で勝ち誇るチーチコフ	1927(刊行:1948)	エッチング・紙	27.6×21.0
4-6	マルク・シャガール	死せる魂	裸で逃げ出す	1927(刊行:1948)	エッチング・紙	20.8×27.6
4-7	マルク・シャガール	死せる魂	夕暮れのトロイカ	1927(刊行:1948)	エッチング・紙	20.8×27.3
5-1	ジョルジュ・ルオー	ユビュおやじの転生	扉	1928(刊行:1932)	エリオグラヴュール、アクアチント他・紙	43.5×32.5
5-2	ジョルジュ・ルオー	ユビュおやじの転生	困り者植民者	1928(刊行:1932)	エリオグラヴュール、アクアチント他・紙	43.5×32.5
5-3	ジョルジュ・ルオー	ユビュおやじの転生	聖歌隊ユビュおやじ	1928(刊行:1932)	エリオグラヴュール、アクアチント他・紙	43.5×32.5
5-4	ジョルジュ・ルオー	ユビュおやじの転生	解放された黒人	1928(刊行:1932)	エリオグラヴュール、アクアチント他・紙	43.5×32.5
5-5	ジョルジュ・ルオー	ユビュおやじの転生	植民地行政官	1928(刊行:1932)	エリオグラヴュール、アクアチント他・紙	43.5×32.5
5-6	ジョルジュ・ルオー	ユビュおやじの転生	熱帯の風景	1928(刊行:1932)	エリオグラヴュール、アクアチント他・紙	43.5×32.5
5-7	ジョルジュ・ルオー	ユビュおやじの転生	飛ぶ魚	1928(刊行:1932)	エリオグラヴュール、アクアチント他・紙	43.5×32.5
5-8	ジョルジュ・ルオー	ユビュおやじの転生	ふたりの奥様	1928(刊行:1932)	エリオグラヴュール、アクアチント他・紙	43.5×32.5
6	オディロン・ルドン	聖アントワヌの誘惑(書籍)		1896(刊行:1938)	リトグラフ・紙(ヴェラン・ドウ・マレ)	45.5×34.0
7	ジョルジュ・ルオー	ユビュおやじの転生(書籍)		1928(刊行:1932)	エリオグラヴュール、アクアチント他・紙	48.0×37.0
8	ジョルジュ・ルオー	ユビュおやじの転生(ミニアチュール版)		1929(刊行:1955)	銅版・紙	27.5×19.8
9	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ(書籍)		1923(刊行:1948)	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、アクアチント、ドライポイント、バーニッシャー・紙	71.0×53.5
10	ジョルジュ・ルオー	聖なる顔		1939	油彩・板に貼った紙	56.0×41.0
11-1	オディロン・ルドン	聖アントワヌの誘惑(第3集再版)	VI. ものかげでは、人々が泣いたり祈祷したりしている。その周囲を取り巻いて、彼等を激励する人々がいる…	1896(刊行:1938)	リトグラフ・紙(ヴェラン・ドウ・マレ)	43.5×32.5
11-2	オディロン・ルドン	聖アントワヌの誘惑(第3集再版)	IX. …私は孤独のうちに沈んだ。私はうしろの木に住んでいたのだ	1896(刊行:1938)	リトグラフ・紙(ヴェラン・ドウ・マレ)	43.5×32.5
11-3	オディロン・ルドン	聖アントワヌの誘惑(第3集再版)	XII. 大智はわがものとなった！私は仏陀になった！	1896(刊行:1938)	リトグラフ・紙(ヴェラン・ドウ・マレ)	43.5×32.5
11-4	オディロン・ルドン	聖アントワヌの誘惑(第3集再版)	XIII. …頭を持たない眼が軟体動物のように漂っていた	1896(刊行:1938)	リトグラフ・紙(ヴェラン・ドウ・マレ)	43.5×32.5
11-5	オディロン・ルドン	聖アントワヌの誘惑(第3集再版)	XVIII. アントワヌ:これらすべての目的は何だろう？ 悪魔:目的などはないの	1896(刊行:1938)	リトグラフ・紙(ヴェラン・ドウ・マレ)	43.5×32.5
12-1	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	神よ、われを憐れみたまえ、あなたのおおいなる慈しみによって	1923(刊行:1948)	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、アクアチント、ドライポイント、バーニッシャー・紙	67.0×51.0
12-2	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	たえまなく答打たれ…	1922(刊行:1948)	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー、バーニッシャー、柳炭による磨ぎ出し・紙	67.0×51.0
12-3	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	哀れな放浪者よ、お前の心の中に身を避ける	1922(刊行:1948)	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー、バーニッシャー・紙	67.0×51.0
12-4	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	生きるとは辛い業…	1922(刊行:1948)	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、ルーレット、ドライポイント、バーニッシャー・紙	67.0×51.0
12-5	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	でも愛することができたなら、なんと楽しいことだろう	1923(刊行:1948)	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、アクアチント、ドライポイント、バーニッシャー、柳炭による磨ぎ出し	67.0×51.0
12-6	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	「彼は虐げられ苦しめられ、しかも口を開かざりき」	1923(刊行:1948)	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、アクアチント、ドライポイント、バーニッシャー・紙	67.0×51.0
12-7	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	忘れ去られた十字架のイエスの下で	1926(刊行:1948)	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、アクアチント、ルーレット、ドライポイント、バーニッシャー、紙ヤスリによる磨ぎ出し・紙	67.0×51.0
12-8	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	世のことがらは涙を誘うものがある…	1926(刊行:1948)	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー、バーニッシャー、柳炭による磨ぎ出し・紙	67.0×51.0
12-9	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	「汝ら、互いに愛し合うべし」	1923(刊行:1948)	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、アクアチント、ルーレット、ピュラン、スクレイパー、バーニッシャー・紙	67.0×51.0
12-10	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	「廃墟すら滅びたり」	1926(刊行:1948)	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、アクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー・紙	67.0×51.0
12-11	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	深き淵より…	1927(刊行:1948)	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、アクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー、バーニッ	67.0×51.0
12-12	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	これが最後だよ、おやじさん！	1927(刊行:1948)	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、ドライポイント、スクレイパー、バーニッシャー・紙	67.0×51.0
12-13	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	母親に忌み嫌われる戦争	1927(刊行:1932)	エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、アクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー、バーニッ	67.0×51.0

12-14	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	人は人にとりて狼なり	1926(刊行:1932)	エリオグラヴェール、シュガー・アクアチント、アクアチント、ドライポイント、スクレイパー、バーニッシャー・紙	67.0×51.0
12-15	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	高慢と無信仰のこの暗き時、見守りつづける地の果ての聖母	1927(刊行:1948)	エリオグラヴェール、シュガー・アクアチント、アクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー、バーニッ	67.0×51.0
12-16	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	「正しい人は、白檀の木のごとく己れを打つ斧に香を移す」	1926(刊行:1948)	エリオグラヴェール、シュガー・アクアチント、アクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー、バーニッ	67.0×51.0
12-17	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	「われらが癒されたるは、彼の受けたる傷によりてなり」	1922(刊行:1948)	エリオグラヴェール、シュガー・アクアチント、ルーレット、バーニッシャー・紙	67.0×51.0
12-18	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	「死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順なれば」	1926(刊行:1948)	エリオグラヴェール、シュガー・アクアチント、ルーレット、スクレイパー、バーニッシャー・紙	67.0×51.0

2 テキストとイメージの合奏 ダヴィッドとマティス

No.	作家名	作品名		制作年	技法・材質	寸法(cm)*
13	エルミース・ダヴィッド	モーリス・バレス著『オロントの庭』挿画（書籍）		1922	ドライポイント・紙	20.3×15.3
14	エルミース・ダヴィッド	ジャン・ジロドゥー著『エルペノール』挿画（書籍）		1926	ドライポイント・紙	25.0×19.0
15	エルミース・ダヴィッド	ジャン・ジロドゥー著『感傷的なシモン』挿画（書籍）		1927	ドライポイント・紙	25.0×14.5
16	エルミース・ダヴィッド	フランソワ・モーリヤック著『ファビアン』挿画（書籍）		1926	ドライポイント・紙	19.3×14.4
17	エルミース・ダヴィッド	アンドレ・ビリー著『センチメンタルな郊外』挿画（書籍）		1928	ドライポイント・紙	21.0×15.0
18	エルミース・ダヴィッド	ハンス・クリスチャン・アンデルセン著『古い家』挿画（書籍）		1952	ドライポイント・紙	30.0×20.0
19	エルミース・ダヴィッド	マルテの手記（書籍）		1942	ドライポイント・紙	19.1×11.9
20	エルミース・ダヴィッド	マルテの手記（試刷り）		1942	ドライポイント・紙	19.1×11.9
21	エルミース・ダヴィッド	マルテの手記		1942	ドライポイント・紙	19.1×11.9
22	エルミース・ダヴィッド	マルテの手記（セピア刷）		1942	ドライポイント・紙	19.1×11.9
23	ジャン＝ガブリエル・ダラニエ他	パリ1937		1937	エッチング、ドライポイント・紙	35.0×27.3
24	マリー・ローランサン	三人の娘		1943	油彩・キャンバス	61.0×49.8
25-1	マリー・ローランサン	マリアナ	右向きの女の顔	刊行:1932	リトグラフ・中国紙	29.1×21.1
25-2	マリー・ローランサン	マリアナ（書籍）		刊行:1932	リトグラフ・中国紙	29.1×21.1
26	アンリ・マティス	シャルル・ドルレアン詩集		1943頃	リトグラフ・紙	40.6 ×26.4
27	アンリ・マティス	ポルトガルの尼僧の手紙		刊行:1946	リトグラフ・紙	27.0×20.9
28	アンリ・マティス	アポリネール		刊行:1952	アクアチント・紙	33.0×24.9
29	アンドレ・ドラン	パンタグリュエル挿画集		1941-43(刊行:1943)	木版・紙	34.3×28.0
30	パブロ・ピカソ	A Los Toros avec Picasso		刊行:1961	リトグラフ・紙	24.4×31.6
31	ジョルジュ・ブラック	地獄へ		刊行:1961	リトグラフ・紙	32.0×25.5
32-1	パブロ・ピカソ	メタモルフォーズ	三人の男の頭	1930-31(刊行:1931)	エッチング・紙	32.5×25.5
32-2	パブロ・ピカソ	メタモルフォーズ	三人の裸婦	1930-31(刊行:1931)	エッチング・紙	32.5×25.5
32-3	パブロ・ピカソ	メタモルフォーズ	テレウスと彼の義理の妹ピロメラとの競技	1930-31(刊行:1931)	エッチング・紙	32.5×25.5
32-4	パブロ・ピカソ	メタモルフォーズ	蛇にかまれたエウリュディケ	1930-31(刊行:1931)	エッチング・紙	32.5×25.5
32-5	パブロ・ピカソ	メタモルフォーズ	二人の女の頭	1930-31(刊行:1931)	エッチング・紙	32.5×25.5
33	アンドレ・ドラン	猫と裸婦		1936-38頃	油彩・キャンバス	108.3×150.5

3 広がる「芸術家の本」 ムルロ工房のオリジナル・リトグラフ

No.	作家名	作品名		制作年	技法・材質	寸法(cm)*
34-1	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	扉絵	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-2	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	泉のほとりのダフニスとクロエ	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-3	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	ラモーン、ダフニスを見つける	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-4	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	ディオニューソファネースの到着	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-5	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	ドリュアース、クロエを見つける	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-6	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	ダフニスとリュカイニオン	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-7	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	牧場の春	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-8	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	クロエの判断	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-9	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	真昼、夏	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-10	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	クロエ	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-11	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	ドルコーンの死	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-12	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	フィレータースの果樹園	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-13	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	クロエの誘拐	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-14	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	ニンフたちへの捧げ物	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-15	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	シュリンクスの物語	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-16	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	メガクレースはクロエが自分の娘であることに宴の間に気がつく	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
34-17	マルク・シャガール	ダフニスとクロエ	ニンフたちの洞窟での婚礼の祝宴	1957-60(刊行:1961)	リトグラフ・紙(アルシュ)	42.7×32.3
35	マルク・シャガール	『聖書』のためのデッサン		刊行:1960	リトグラフ・紙(アルシュ)	35.4×26.2
36	マルク・シャガール	『シャガール・リトグラフ第2巻』		1963	リトグラフ・紙	31.8 ×24.0
37	マルク・シャガール	パリの空に花		1967	油彩・キャンバス	148.0×140.0
38	ジュアン・ミロ	ネイラに捧ぐ夢の花束		刊行:1967	リトグラフ・紙	32.7×25.1
39	ジュアン・ミロ	『デリエール・ル・ミロワール №169』HAÏ-KU		刊行:1967	リトグラフ・紙	38.0×28.0
40	ジュアン・ミロ	『デリエール・ル・ミロワール №169』FEMMES		刊行:1967	リトグラフ・紙	38.0×28.0
41	ジュアン・ミロ	ミロ リトグラフ I・II		刊行:1977	リトグラフ・紙	31.9×24.4
42-1	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには・・・	多くの人々を	刊行:1968	リトグラフ・紙	57.3×45.3
42-2	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには・・・	禽獣を知らねばならぬ	刊行:1968	リトグラフ・紙	57.3×45.3
42-3	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには・・・	少年の日の思い出を	刊行:1968	リトグラフ・紙	57.3×45.3
42-4	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには・・・	静かなしんとした部屋で	刊行:1968	リトグラフ・紙	57.3×45.3
42-5	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには・・・	愛にみちた多くの夜の回想	刊行:1968	リトグラフ・紙	57.3×45.3
42-6	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには・・・	一篇の詩の最初の言葉	刊行:1968	リトグラフ・紙	57.3×45.3

*全て当館蔵

巴里のかほり アール・デコのガラス

The Ambience of Paris : Art Déco Glass



2025年3月29日(土)～7月6日(日)
展示室A2階

アール・デコとは、工業化社会の到来により1910～30年代のフランスで花開いた、直線や幾何学的模様を特徴とする造形様式です。本展ではパリを中心に活躍したガラス作家たちの作品を通じて、アール・デコの世界を紹介します。

*寸法は径×高さ、または幅×奥行×高さ					
No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)*
1	ルネ・ラリック	花器・バツカスの巫女	型:1927	ガラス:型押し	21.0×24.9
2	ドーム	昆虫文蓋物	1910代	ガラス:パート・ド・ヴェール	13.2×8.1
3	ドーム	デカンタ	1920代	ガラス:アップリケ	9.0×32.5
4	ドーム	ランプ	1920代	ガラス、金属:ヴィトリフィカシオン	35.2×51.0
5	ドーム	花器	1930代	ガラス:エッチング	34.2×34.3
6	ドーム	樹木文花器	1935	ガラス:型吹き、エッチング	27.0×27.0
7	ドーム	鹿文花器	1925～30頃	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング	33.0×39.5
8	ドームとルイ・マジヨレル	鉄枠吹込花器	1922頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、鉄枠吹込	22.1×28.5
9	ドームとルイ・マジヨレル	鉄枠吹込花器	1922頃	ガラス:斑文装飾、鉄枠吹込み	27.5×26.0
10	ヴィクトール・アマルリク・ヴァルテール	置時計	1915頃	ガラス:パート・ド・ヴェール	13.5×6.7×10.7
11	ヴィクトール・アマルリク・ヴァルテール	置物・青い鳥	1920代	ガラス:パート・ド・ヴェール	4.7×7.2×11.8
12	ドラット工房	葉文花器	1921	ガラス:被せガラス、エッチング	10.5×17.5
13	ドラット工房	花文デカンタ	1920代	ガラス:エッチング	10.9×31.2
14	アンドレ・ドラット	鉄枠吹込花器	1925頃	ガラス:斑文ガラス、鉄枠吹込み	13.0×34.5
15	アンドレ・ドラット	人物文花器	1920代	ガラス:被せガラス、エッチング、エナメル彩	19.5×31.0
16	ミュレル兄弟	花文花器	1910頃	ガラス:被せガラス、金属箔封入、型吹き、エッチング	21.0×41.0
17	ミュレル兄弟	ランプ	1920頃	ガラス、鉄:ヴィトリフィカシオン	42.0×13.0×53.0 (ガラス)11.4×14.8
18	ミュレル兄弟	鉄枠付コンポート	1920代	ガラス、鉄:斑文ガラス	42.0×30.0×22.0
19	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	花文ランプ	1920代	ガラス、鉄:パート・ド・ヴェール	12.0×35.0
20	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	あざみ文鉢	1922	ガラス:パート・ド・ヴェール	12.0×9.6
21	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	けし文碗	1925頃	ガラス:パート・ド・ヴェール	11.5×7.5
22	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	花文鉢	1930	ガラス:パート・ド・ヴェール	12.0×9.9
23	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	あざみ文皿	1910代	ガラス:パート・ド・ヴェール	18.0×2.0
24	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	灰皿・メダイヨン	1923	ガラス:パート・ド・ヴェール	15.9×8.5×2.5
25	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	木の葉文蓋物	1925～30頃	ガラス:パート・ド・ヴェール	9.5×8.0
26	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	ばら文花器	1922	ガラス:パート・ド・ヴェール	16.0×22.0
27	フランソワ＝エミール・デコルシュモン	双耳鉢	1927	ガラス:パート・ド・ヴェール	16.0×12.5×9.5

28	シュネデル工房	花文花器	1920頃	ガラス:被せガラス、斑文装飾、エッチング、 エングレーヴィング	13.5×36.0
29	シュネデル工房	花文水差し	1920代	ガラス:被せガラス、エッチング	20.0×32.1
30	シュネデル工房	斑文コンポート	1920頃	ガラス:斑文装飾	40.0×8.0
31	シュネデル工房	波に風車文花器	1928	ガラス:エッチング、被せガラス	26.0×59.0
32	シュネデル工房	幾何文花器	1920代	ガラス:斑文装飾、被せガラス、エッチング	21.0×58.5
33	マリウス＝エルネスト・サビノ	アネモネ文花器	1920代	ガラス:型吹き	23.0×18.8
34	マリウス＝エルネスト・サビノ	うにに昆布文皿	1920代	ガラス:彩色、型押し	30.0×7.2
35	ルネ・ラリック	コティ香水瓶・シクラメン	型:1909	ガラス:型吹き、着色	5.5×4.5×13.0
36	ルネ・ラリック	羊歯文花器	1920代	ガラス:型吹き	14.5×16.5
37	ルネ・ラリック	花器・バツタ	型:1913	ガラス:型吹き、着彩	26.5×28.0
38	ルネ・ラリック	花器・いんこ	型:1919	ガラス:型吹き	24.8×25.6
39	ルネ・ラリック	花器・いばら	型:1921	ガラス:型吹き	12.0×23.0
40	ルネ・ラリック	花器一蛇	型:1924	ガラス:型吹き	25.8×25.0
41	ルネ・ラリック	貝殻文鉢	1920代	ガラス:型押し	13.0×5.0
42	ルネ・ラリック	ヤドリギ文鉢	1920代	ガラス:型押し	9.5×24.0
43	ルネ・ラリック	タイス	型:1925	ガラス:型押し	19.0×5.5×21.5
44	ルネ・ラリック	スザンナ	型:1925	ガラス:型押し	18.6×5.5×22.8
45	ルネ・ラリック	花束文鉢	1920代	ガラス:型押し	30.5×12.0
46	ルネ・ラリック	皿・カリユプソ	型:1930	ガラス:型押し	38.0×4.5
47	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・ 孔雀の頭	型:1928	ガラス:型押し	14.0×9.8×20.2
48	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・ 5頭の馬	型:1925	ガラス:型押し	15.2×6.7×13.1
49	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・ 勝利	型:1928	ガラス:型押し	25.0×11.7×19.3
50	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・ とんぼ	型:1928	ガラス:型押し	6.6×20.0×20.8
51	モーリス・マリノ	人物文扁壺	1920代	ガラス:エナメル彩	19.8×9.0×23.1
52	モーリス・マリノ	栓付瓶	1929	ガラス:エッチング	17.3×9.7×22.0
53	アンリ・ナヴァール	花器	1930代	ガラス	14.0×25.5
54	アンドレ・テュレ	花器	1930頃	ガラス	19.0×34.0
55	アンドレ・テュレ	花器	1950～60頃	ガラス	14.9×17.0
56	アンドレ・テュレ	花器	1950～60頃	ガラス	12.8×13.0
57	アンドレ・テュレ	灰皿	1950～60頃	ガラス	11.1×11.9×8.7
58	アンドレ・テュレ	花器	1935～40頃	ガラス:被せガラス	13.7×18.2
59	アンドレ・テュレ	花器	1950～60頃	ガラス:被せガラス	7.0×11.5×13.4
60	アンドレ・テュレ	香水瓶	1950～60頃	ガラス:被せガラス	10.0×16.2

＊全て当館蔵

青木美歌《未生命の遊槽》

Aoki Mika, *Aquarium of life and death*



2025年3月29日(土)～2026年4月12日(日)

展示室A2階

生命体のつながりや光をテーマに、ガラスを素材とする制作を展開した青木美歌(1981～2022)。その最大級のインスタレーションを通年展示します。

*寸法は奥行×幅×高さ

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)*
1	青木 美歌	未生命の遊槽	2010(平成22)	ガラス:バーナーワーク	可変
2	青木 美歌	animagraphy#3	2010(平成22)	ガラス:バーナーワーク	36.4×31.9×9.4
3	青木 美歌	Nr-ls-32	2013(平成25)	ガラス:バーナーワーク	12.2×24.4×28.3

*全て当館蔵

新収蔵品展

New Acquisitions



2025年3月29日(土)～7月6日(日)

展示室A2階

2024(令和6)年度に新たに収蔵した作品を紹介します。

*寸法は縦×横、または縦×横×厚さ

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)*
1	福西 毅	月光	2002(平成14)	ガラス:ホットワーク、キャスト、エナメル彩色	60.3×71.0×10.0
2	福西 毅	月光	2002(平成14)	ガラス:ホットワーク、キャスト、エナメル彩色	66.0×66.6×8.0
3	福西 毅	月光	2002(平成14)	ガラス:ホットワーク、キャスト、エナメル彩色	62.2×67.4×10.0
4	石井 亨	東京景 In the Garden	2023(令和5)	糸目友禅染、酸性染料、顔料、フオイル・絹	67.2×82.3×4.0
5	石井 亨	東京景 センター街	2022(令和4)	糸目友禅染、酸性染料、顔料、フオイル・絹	82.3×82.3×4.0
6	後藤 和子	Ariadone・Cross	1981(昭和56)	アクリル絵具・キャンバス	227.0×182.0
7	深井 克美	オリオン	1977(昭和52)	油彩・キャンバス	145.7×97.9
8	深井 克美	風	1978(昭和53)	油彩・キャンバス	89.8×125.4

*全て当館蔵

北海道初公開

2024 7.9 — 9.1

TUE SUN

主 催 北海道立近代美術館、高山寺、北海道新聞社、HTB北海道テレビ、NHK札幌放送局

特別協力 京都国立博物館

後 援 北海道、札幌市、札幌市教育委員会

協 賛 医療法人 さっぽろ脊椎外科クリニック

国 宝 鳥 獣 戯 画

京 都 高 山 寺 展

— 明 恵 上 人 と 文 化 財 の 伝 承 —

※一部作品の展示替えを行います。

「鳥獣戯画」 展示場面	1 期 (甲 巻)		2 期 (乙 巻)		3 期 (丙・丁 巻)	
	前半	後半	前半	後半	前半	後半
	7/9~7/15	7/17~7/28	7/30~8/4	8/6~8/18	8/20~8/25	8/27~9/1
絵画・ 典籍文書	前期 7/9~8/4			後期 8/6~9/1		

凡例

- ・リスト上の作品番号は展示作品のキャプション番号と一致するが、実際の展示順とは異なる場合がある。
- ・国指定の文化財については、国宝を●、重要文化財を◎で示す。
- ・南方熊楠と土宜法龍の書簡(No.56~64)の日付は、「高山寺蔵 南方熊楠書翰―土宜法龍宛 1893~1922」(藤原書店、2010年)所載の「南方熊楠・土宜法龍往復書翰表」を参照した。
- ・小川義章来訪録(No.88~90, 92~97, 101, 106, 107, 115~117)の時代については、冊子の成立時期を記した。

番号	指定	作品名	著者／作者等	材質技法	時代	所蔵	前期	後期
第一章 国宝「鳥獣戯画」			※「鳥獣戯画」は各期間の途中で場面替えを行います。					
1	●	鳥獣戯画 甲巻		紙本墨画	平安時代・12世紀	京都・高山寺		1期
2	●	鳥獣戯画 乙巻		紙本墨画	平安時代・12世紀	京都・高山寺		2期
3	●	鳥獣戯画 丙巻		紙本墨画	平安～鎌倉時代・12～13世紀	京都・高山寺		3期
4	●	鳥獣戯画 丁巻		紙本墨画	鎌倉時代・13世紀	京都・高山寺		3期
第二章 明恵上人―高山寺中興の祖			※No.17は前後期で場面替えを行います。					
5	◎	夢記 第二篇	明恵筆	紙本墨書	鎌倉時代・建久7年(1196)	京都・高山寺		○
6	◎	夢記 第十篇	明恵筆	紙本墨書	鎌倉時代・承久2～貞応2年(1220～23)	京都・高山寺	○	
7	◎	子犬		木造彩色	鎌倉時代・13世紀	京都・高山寺	○	○
8	●	明恵上人像(樹上坐禅像)		紙本着色	鎌倉時代・13世紀	京都・高山寺		○
9		明恵上人像(樹上坐禅像)模写	林司馬筆	紙本着色	昭和25年(1950)頃	京都・高山寺	○	
10		明恵上人像(山中の御影)		紙本墨画	鎌倉時代・13世紀	京都・高山寺	○	
11		明恵上人像(石上坐禅像)	岩崎信盈筆	紙本淡彩	江戸時代・天保10年(1839)	京都・高山寺		○
12	●	仏眼仏母像		絹本着色	平安～鎌倉時代・12～13世紀	京都・高山寺	○	
13		仏涅槃図		絹本着色	鎌倉時代・13世紀	京都・高山寺	○	
14		仏涅槃図		絹本着色	鎌倉時代・14世紀	京都・高山寺		○
15		五秘密像		絹本着色	鎌倉時代・14世紀	京都・高山寺	○	
16	◎	華嚴海会諸聖衆曼荼羅図		絹本着色	鎌倉時代・13世紀	京都・高山寺		○
17		明恵上人行状絵 巻下	三宅高信筆	紙本着色	江戸時代・元禄3年(1690)	京都・高山寺	○	○
18		経櫃		木製漆塗	鎌倉時代・12世紀	京都・高山寺	○	○
19		蘇婆石・鷹島石				京都・高山寺	○	○
20		学問印信・課業印信掛板	明恵筆	木製墨書	鎌倉時代・建仁元年(1201)	京都・高山寺	○	○
21	◎	華嚴一乗教分記 巻上		紙本墨書	鎌倉時代・12世紀	京都・高山寺	○	
22	◎	華嚴孔目章 巻第一	明恵筆	紙本墨書	鎌倉時代・建久5年(1194)	京都・高山寺		○
23	◎	華嚴孔目章 巻第四	明恵筆	紙本墨書	鎌倉時代・建久5年(1194)	京都・高山寺		○
24	◎	入解脱門義	明恵筆	紙本墨書	鎌倉時代・承久2年(1220)	京都・高山寺	○	

番号	指定	作品名	著者／作者等	材質技法	時代	所蔵	前期	後期
25	◎	華嚴信種義	明恵筆	紙本墨書	鎌倉時代・承久3年(1221)	京都・高山寺		○
26	◎	大方広仏華嚴經中唯心観行式	明恵筆	紙本墨書	鎌倉時代・建久9年(1198)	京都・高山寺	○	
27	◎	五秘密与五聖同脉事	仁真筆	紙本墨書	鎌倉時代・宝治2年(1248)	京都・高山寺	○	
28	◎	明恵上人置文案	静海筆	紙本墨書	鎌倉時代・建長6年(1254)	京都・高山寺		○

第三章 高山寺に伝わる至宝と典籍

※前後期でNo.36は六帖のうち三帖ずつ、No.43は二幅のうち一幅ずつ展示します。

29		金銅五鈷鈴		銅・鑄造、鍍金	鎌倉時代・13～14世紀	京都・高山寺	○	○
30		金銅柄香炉		銅・鍛造、鍍金	鎌倉時代・13世紀	京都・高山寺	○	○
31		金銅金剛盤		銅・鑄造、鍍金	鎌倉時代・13世紀	京都・高山寺	○	○
32		金銅金剛盤		銅・鑄造、鍍金	鎌倉時代・建長2年(1250)	京都・高山寺	○	○
33	◎	黒漆机		木製漆塗	平安時代・11世紀	京都・高山寺	○	○
34	◎	高山寺聖教目録		紙本墨書	鎌倉時代・13世紀	京都・高山寺	○	
35	◎	高山寺縁起		紙本墨書	室町時代・永正11年(1514)	京都・高山寺		○
36	●	篆隸万象名義		紙本墨書	平安時代・永久2年(1114)	京都・高山寺	○	○
37	◎	涅槃会法式	喜海筆	紙本墨書	鎌倉時代・嘉祿2年(1226)	京都・高山寺	○	
38	◎	高僧像		紙本墨画	鎌倉時代・13世紀	京都・高山寺		○
39		文覚上人像		絹本着色	室町時代・15世紀	京都・高山寺	○	
40		僧形八幡神像		絹本着色	江戸時代・天保12年(1841)	京都・高山寺		○
41	◎	菩薩像(伝弥勒菩薩像)		絹本着色	鎌倉時代・13世紀	京都・高山寺	○	
42	◎	達磨宗六祖師像		紙本墨画	鎌倉時代・12～13世紀	京都・高山寺		○
43		春日・住吉大明神像		絹本着色	鎌倉～南北朝時代・14世紀	京都・高山寺	○	○
44		春和夜神像		絹本着色	鎌倉時代・13世紀	京都・高山寺	○	
45		八幡大菩薩・弘法大師・春日明神像		絹本着色	室町時代・15世紀	京都・高山寺		○
46		義湘像		絹本着色	室町時代・15世紀	京都・高山寺	○	
47		元暁像		絹本着色	室町時代・15世紀	京都・高山寺		○
48	◎	獅子・狛犬		木造彩色	鎌倉時代・13世紀	京都・高山寺	○	○
49	◎	馬		木造彩色	鎌倉時代・13世紀	京都・高山寺	○	○
50	◎	神鹿		木造彩色	鎌倉時代・13世紀	京都・高山寺	○	○

第四章 近現代の高山寺

※第四章は全て通期展示します。

51		「石水院」墨書	富岡鉄斎筆		大正13年(1924)	京都・高山寺		
52		The World's Parliament of Religions 万国宗教会議議事録	John Henry Barrows 著		明治26年(1893)	龍谷大学図書館		
53		米欧日記	土宜法龍著		明治26年(1893)	京都・高山寺		
54		土宜法龍のトランク				京都・高山寺		
55		Si-do-in-dzou 四度印図	土宜法龍著		明治32年(1899)	東京大学 総合図書館		
56		明治26年11月3日付 土宜法龍宛南方熊楠書簡	南方熊楠筆		明治26年(1893)	京都・高山寺		

番号	指定	作品名	著者／作者等	時代	所蔵
57		明治35年4月3日付土宜法龍宛南方熊楠書簡	南方熊楠筆	明治35年(1902)	京都・高山寺
58		明治27年1月25日付南方熊楠宛土宜法龍書簡	土宜法龍筆	明治27年(1894)	南方熊楠顕彰館
59		明治27年2月7日付南方熊楠宛土宜法龍書簡	土宜法龍筆	明治27年(1894)	南方熊楠顕彰館
60		明治27年3月3日付南方熊楠宛土宜法龍書簡	土宜法龍筆	明治27年(1894)	南方熊楠顕彰館
61		明治35年3月23日付土宜法龍宛南方熊楠書簡	南方熊楠筆	明治35年(1902)	京都・高山寺
62		明治35年3月25日付土宜法龍宛南方熊楠書簡	南方熊楠筆	明治35年(1902)	京都・高山寺
63		明治36年7月18日付土宜法龍宛南方熊楠書簡(複製)	南方熊楠筆	原本：明治36年(1903)	南方熊楠顕彰館
64		明治36年8月8日付土宜法龍宛南方熊楠書簡(複製)	南方熊楠筆	原本：明治36年(1903)	南方熊楠顕彰館
65		遺香庵常什寄進目録	起草：高橋義雄(箒庵) 作：田中親美	昭和6年(1931)	京都・高山寺
66		遺香庵寄進顛末	高橋義雄(箒庵) 著	昭和6年(1931)	京都府立 京都学・歴史館
67		自作古材扇形煙草盆 志野火入添	作・寄進：初代長谷川甫斎		京都・高山寺
68		手造竹置窓花入 銘「明窓」	作・寄進：14代千宗室(無限斎)		京都・高山寺
69		好み物伊賀土掛花入 銘「二王門」	寄進：横井清三郎(三王)		京都・高山寺
70		好み物日出釜	作：13代大西清右衛門(浄長) 寄進：高橋宗伯		京都・高山寺
71		好み物色系組丸釜敷	寄進：寺村助右衛門雅彌(唯庵)		京都・高山寺
72		紅葉の絵丸香合	寄進：10代堀内宗完(不仙斎)		京都・高山寺
73		手造志野土狸香合	作・寄進：前山久吉(観空庵)		京都・高山寺
74		好み物茶入 銘「石水瓢箪」	寄進：高橋義雄(箒庵)		京都・高山寺
75		高山寺唐物茶入挽家形一閑飯器棗	作：飛来一閑 寄進：11代久田宗也(無適斎)		京都・高山寺
76		手造茶碗 銘「清滝川」	作・寄進：野崎廣太(幻庵)		京都・高山寺
77		手造鶴堂集翠庵合作赤茶碗	作：嘉納治兵衛(鶴堂) 作・寄進：服部七兵衛(集翠庵)		京都・高山寺
78		手造茶碗 銘「星月夜」	作・寄進：益田多喜子(紫明庵)		京都・高山寺
79		永樂善五郎作天目茶碗	作：15代永樂善五郎(正全) 寄進：12代千宗左(惺斎)		京都・高山寺
80		手造茶杓 共筒 銘「遺香」	作・寄進：益田孝(鈍翁)		京都・高山寺
81		青磁三人形蓋置	作・寄進：磯野良吉(丹庵)		京都・高山寺
82		自画兎の絵大土器皿	作陶：6代高橋道八 絵付・寄進：野村徳七(得庵)		京都・高山寺
83		手造雲錦透菓子鉢	作・寄進：梅上尊融(西庵)		京都・高山寺
84		手造遺香庵文字入茶碗	作・寄進：高橋義雄(箒庵)		京都・高山寺
85		明恵上人(「京洛名紳帖」の内)	堂本印象筆	昭和5年(1930)	京都府立 堂本印象美術館
86		梅尾明恵上人旧跡 (「洛中洛外十二景勝」の内)	堂本印象筆	昭和5年(1930)	京都府立 堂本印象美術館
87		視霊者の夢(形而上学の夢により説明されたる) (ロゴス叢書 第一編)	カント著／小川義章訳／ ロゴス社刊	大正11年(1922)	個人蔵

番号	指定	作品名	著者／作者等	時代	所蔵
88		小川義章来訪録 (先照集芳記)		昭和26年(1951) 頃	京都・高山寺
89		小川義章来訪録 (十重無尽結縁録 昭和37年9月～38年1月)		昭和37年(1962) 頃	京都・高山寺
90		小川義章来訪録 (十無尽結縁録 昭和38年1月～8月)		昭和38年(1963)	京都・高山寺
91		小川義章師の肖像	土門拳撮影	昭和38年(1963) 7月22日	京都・高山寺
92		小川義章来訪録 (十重無尽莊嚴録 昭和38年11月～39年5月)		昭和38年(1963) 頃	京都・高山寺
93		小川義章来訪録(無題)		昭和39年(1964) 頃	京都・高山寺
94		小川義章来訪録(風雅帖)		昭和39年(1964) 頃	京都・高山寺
95		小川義章来訪録(無題)		昭和40年(1965) 頃	京都・高山寺
96		小川義章来訪録(無題)		昭和41年(1966) 頃	京都・高山寺
97		小川義章来訪録(映画人 その他)		昭和27年(1952) 頃	京都・高山寺
98		高山寺記録 寺史作成の資料Ⅰ	小川義章著	昭和30年代	京都・高山寺
99		高山寺史料覚え書Ⅱ	小川義章著	昭和30年代	京都・高山寺
100		重要記録	小川義章著	昭和30～40年代	京都・高山寺
101		小川義章来訪録(枯巖集)		昭和29年(1954) 頃	京都・高山寺
102		高山寺文書目録	文化財保護委員会編	昭和29～30年(1954～55) 頃	京都・高山寺
103		夢記断簡	明恵筆	鎌倉時代・12世紀	川端康成記念会
104		「風や身にしむ雪や冷めたき」	川端康成筆	昭和47年(1972)	茨城市立 川端康成文学館
105		古都(初版本)	川端康成著／新潮社刊	昭和37年(1962)	北海道立文学館
106		小川義章来訪録(十重無尽録)		昭和34年(1959) 頃	京都・高山寺
107		小川義章来訪録(無題)		昭和43年(1968) 頃	京都・高山寺
108		梅尾高山寺 明恵上人(初版本)	白洲正子著／講談社刊	昭和42年(1967)	北海道立文学館
109		高山寺石水院西南面	土門拳撮影	昭和38年(1963) 頃	土門拳記念館
110		高山寺石水院廂の間西面摹股	土門拳撮影	昭和40年(1965)	土門拳記念館
111		高山寺開山堂明恵上人坐像全身	土門拳撮影	昭和40年(1965)	土門拳記念館
112		高山寺楞伽山明恵上人定心石	土門拳撮影	昭和38～40年(1963～65) 頃	土門拳記念館
113		高山寺石水院門前	土門拳撮影	昭和34～40年(1959～65) 頃	土門拳記念館
114		高山寺石水院冬日	土門拳撮影	昭和34年(1959)	土門拳記念館
115		小川義章来訪録(無題)		昭和40年(1965) 頃	京都・高山寺
116		小川義章来訪録(無題)		昭和43年(1968) 頃	京都・高山寺
117		小川義章来訪録(無題)		昭和43年(1968) 頃	京都・高山寺
118		高山寺経蔵典籍文書目録(原簿)	高山寺典籍文書総合調査団編	昭和47年(1972) 頃	京都・高山寺
119		高山寺資料叢書	高山寺典籍文書総合調査団編／ 汲古書院刊	昭和46～平成19年(1971～2007)	個人蔵



皇室の至宝

北海道ゆかりの名品

2024.9.21[土]ー10.27[日]

主催：北海道立近代美術館、テレビ北海道、北海道新聞社、日本経済新聞社、
皇居三の丸尚蔵館

特別協力：文化庁、紡ぐプロジェクト、読売新聞社

助成：令和6年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

協賛：伊藤組グループ、伊藤忠商事株式会社

後援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

北海道立近代美術館

HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART

※本リストは、作品番号 / 作家名 / 作品名 / 制作年代 / 材質技法 / 寸法 (cm、縦×横、高さ×幅×奥行、長さ×直径) / 所蔵先の順に記載した。ただし、皇居三の丸尚蔵館収蔵の作品は収蔵先を省略し、それ以外の所蔵先のみ特記した。作品情報は原則として所蔵者より提供されたものを記載した。

Note: This list contains information in the following order: Artwork No./Artist/Title/Date/Materials and method/Dimensions (length × width, height × width × depth, length × diameter in cm)/Location. Location information is omitted when the work belongs to The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan. In principle, artwork information is supplied by the owner.

※本リストは図録番号順に記載し、展示順とは必ずしも一致しない。

※ No.23は頁替えを行い、Ⅰ期 9/21～10/4、Ⅱ期 10/5～10/18、Ⅲ期 10/19～10/27 とする。

第一章 近世絵画のネットワーク ― 松前藩と京都・江戸 ―

Chapter 1 The Early Modern Painting Network - Matsumae Domain, Kyoto, and Edo

1. 瓢形丁子風炉 Gourd-Shaped Clove Boiler

江戸時代 (18世紀) Edo period, 18th century

銀、象嵌 台：蒔絵 Silver, inlay Stand: Makie

風炉：30.0×25.5×24.3 Boiler：30.0×25.5×24.3

台：6.3×29.5×29.5 Stand：6.3×29.5×29.5

2. 忍草蒔絵十種香箱 Set of Utensils for Incense Identifying Game with Ferns

江戸時代 (18～19世紀) Edo period, 18-19th century

蒔絵 Makie

香箱：21.0×28.5×21.7 Box：21.0×28.5×21.7

3. 行円 GYOEN
笙 銘 鳩丸 Sho (Mouth Organ), Named "Hatomaru"

鎌倉時代、寛喜3年 (1231) Kamakura period, 1231

頭：江戸時代 (17～18世紀) Head：Edo period, 17-18th century

竹、蒔絵 Bamboo, makie

42.0×6.6×8.5

4. 龍笛 銘 鶉丸 Ryuteki (Flute), Named "Uzuramaru"

鎌倉時代 (14世紀) Kamakura period, 14th century

竹、漆 Bamboo, lacquer

37.9×2.3

5. 原在中 HARA Zaichu
蕨図扇子 Bracken Fan

江戸時代 (18～19世紀) Edo period, 18-19th century

紙本着色 Color on paper

30.8×44.5

6. 鶴に竹図中啓 Crane and Bamboo Ceremonial Folding Fan

江戸時代 (18～19世紀) Edo period, 18-19th century

紙本着色 Color on paper

33.2×31.0

7. 渡辺広輝 WATANABE Hiroteru
夷酋列像模本 Series of Paintings of Ezo Chieftains (copy)

江戸時代、文化元年 (1804) Edo period, 1804

絹本着色 Color on silk

各 39.8×33.1 (一帖六面) 39.8×33.1 each (1 quire: a set of 6 works)

個人蔵 (北海道博物館寄託) Private Collection (deposited at Hokkaido Museum)

8. 高山彦九郎・金井烏州 TAKAYAMA Hikokuro, KANAI Uju
高山彦九郎喪中和歌草稿

Draft of a Japanese Poem by TAKAYAMA Hikokuro During Mourning

江戸時代 (18世紀) Edo period, 18th century

紙本墨書・紙本着色 Ink on paper, color on paper

36.3×530.2

9. 林子平 HAYASHI Shihei
夜聞鼠囓画軸因歎

Elegy: The Sound of a Rat Nibbling a Painting Scroll in the Night

江戸時代、天明7年 (1787) Edo period, 1787

紙本墨書 Ink on paper

51.2×20.9

10. 蠣崎波響 KAKIZAKI Hakyo
孔雀図 Peacock

江戸時代 (18～19世紀) Edo period, 18-19th century

絹本着色 Color on silk

99.0×36.5

北海道立近代美術館 Hokkaido Museum of Modern Art

11. 円山応挙 MARUYAMA Okyo
牡丹孔雀図 Peony and Peafowls

江戸時代、安永5年 (1776) Edo period, 1776

絹本着色 Color on silk

130.0×98.9

12. 蠣崎波響 KAKIZAKI Hakyo
狛鉄線花図 Japanese Spaniel with Clematises

江戸時代、文化10年 (1813) 頃 Edo period, c.1813

絹本着色 Color on silk

44.3×65.6

北海道立近代美術館 Hokkaido Museum of Modern Art

13. 群獣図屏風 Various Animals

江戸時代 (18世紀) Edo period, 18th century

紙本着色 Color on paper

各 168.5×364.8 (六曲一双) 168.5×364.8 each (pair of 6-fold screens)

14. 呉春 GOSHUN
秋草図衝立 Autumn Flowers

江戸時代 (18世紀) Edo period, 18th century

紙本着色 Color on paper

123.0×83.2

15. 原在中 HARA Zaichu
公孫大娘剣舞図 Gongsun Daniang Sword Dance

江戸時代、天明5年 (1785) Edo period, 1785

絹本着色　Color on silk
161.8×86.4

16.
伊藤若冲 ITO Jakuchu
【国宝】動植綵絵　紫陽花双鶏図・群魚図（2点）
【National Treasure】Colorful Realm of Living Beings "Hydrangeas and Fowl" "Fish"
江戸時代（18世紀）　Edo period, 18th century
絹本着色　Color on silk
紫陽花双鶏図：142.9×79.7　Hydrangeas and Fowl: 142.9×79.7
群魚図：142.3×78.9　Fish: 142.3×78.9

17.
月僊 GESSEN
十八学士文会図　Litterary Assembly of Eighteen Bachelors
江戸時代、寛政11年（1799）頃　Edo period, c.1799
絹本着色　Color on silk
117.5×145.5

18.
酒井抱一 SAKAI Hoitsu
花鳥十二ヶ月図　Birds and Flowers of the Twelve Months
・梅椿に鶯図（1月）Plums, Camellia, and a Japanese Nightingale(January)
・牡丹に蝶図（4月）Peonies and a Butterfly(April)
・菊に小禽図（9月）Chrysanthemums and a Small Bird(September)
・檜に啄木鳥図（12月）A Woodpecker on a Japanese Cypress(December)
江戸時代、文政6年（1823）　Edo period, 1823
絹本着色　Color on silk
各141.7×51.1（4点）　141.7×51.1 each（4　works）

19.
谷文晁 TANI Buncho
虎図　Tiger

江戸時代（18～19世紀）　Edo period, 18-19th century
絹本着色　Color on silk
150.0×74.2

20.
谷文晁　印　seal: TANI Buncho
蝦夷山水器物図巻　Landscapes and Utensils of Ezo
江戸時代、寛政12年（1800）頃　Edo period, c.1800
紙本着色　Color on paper
1巻：25.5×830.3　Ⅰ：25.5×830.3
3巻：25.5×783.5　Ⅲ：25.5×783.5
蝦夷器物屋宇図：25.5×2182.0　Utensils and Houses of Ezo：25.5×2182.0
北海道立近代美術館　Hokkaido Museum of Modern Art

第二章　近代の皇室と北海道
Chapter 2　The Imperial Family and Hokkaido in the Modern Era

21.
富岡鉄斎 TOMIOKA Tessai
旧蝦夷風俗　Genre Scenes of Ainu People
明治29年（1896）
紙本着色　Color on paper
各166.5×183.6（二曲一双）　166.5×183.6 each（pair of 2-fold screens）
東京国立博物館　Tokyo National Museum

22.
岸光景 KISHI Kokei
蝦夷地奇観　Wonders of Ezo
明治6年（1873）
絹本着色　Color on silk
34.3×1420.6

23.
大蔵省印刷局　Printing Bureau, Ministry of Finance
明治十四年巡幸写真帖　Photograph Album of Imperial Tour in 1881
明治14年（1881）
鶏卵紙　Albumen paper
各19.6×23.7　19.6×23.7 each

写真パネル①　Photo panel ①
長谷川吉次郎 HASEGAWA Kichijiro

明治九年巡幸写真
《各地勝景四　明治九年巡幸・グラント将軍来朝ほか》より）
Photographs of Imperial Tour in 1876 from Various Scenic Photographs IV.
"Imperial Tour in 1876, General Ulysses S. Grant's Visit to Japan, etc."
明治9年（1876）

写真パネル②　Photo panel ②
武林盛一か　Attributed to TAKEBAYASHI Seiichi
札幌産業施設写真
《各地勝景三　明治九年巡幸関係・小笠原島ほか》より）
Sapporo Industrial Facility Photograph　from Various Scenic Photographs III.
"Related to the Imperial Tour in 1876, Various Places in Ogasawara Islands, etc."
明治9年（1876）

写真パネル③　Photo panel ③
遠藤陸郎 ENDO Rikuro
明治二十四年同二十五年千島探検諸島之実景
Scenes of Chishima Islands Expedition 1891-92
明治24～25年（1891～92）

写真パネル④　Photo panel ④
占守島写真　Photograph Album of Shumshu Island
明治31年（1898）頃　c.1898

写真パネル⑤　Photo panel ⑤
大蔵省印刷局ほか　Printing Bureau, Ministry of Finance and others
北海道ゆかりの人物
《明治十二年明治天皇御下命「人物写真帖」》より）
People Related to Hokkaido from "Album of Portraits" by order of Emperor Meiji, 1879
明治13年（1880）頃　c.1880

24.
松浦武四郎 MATSUURA Takeshiro
和歌「蝦夷途上吟」　Waka Poem "Poetry on the Way to Ezo"
江戸～明治時代（19世紀）　Edo period-Meiji era, 19th century
紙本墨書　Ink on paper
125.5×29.5

25.
釧路郷土工芸品研究所　Kushiro Local Craft Institute
白樺皮絵額　Picture of White Birch Bark
昭和11年（1936）
白樺細工　White birch craft
38.0×64.5

26.
親子熊置物　Bear and Cub Sculpture
昭和時代（20世紀）　Showa era, 20th century
木彫　Wood carving
18.8×20.0×8.5

27.
大西錦綾堂　Onishi Kinryo-do
麦酒コップ　Beer Cup
明治44年（1911）
銀　Silver
各高14.0（6点組）　height 14.0 each（a set of 6 works）

28.
野村文挙 NOMURA Bunkyo
北海道忍路高島真景　Scenes of Oshoro and Takashima in Hokkaido
明治43年（1910）
絹本着色　Color on silk
各167.6×84.9（2点組）　167.6×84.9 each（a set of 2 works）

29.
川島織物　Kawashima Textile
綴錦牡丹図屏風　Folding Screen of Peonies in Figured Brocade
大正14年（1925）
綴織　Brocade
185.0×272.0（四曲一隻）　166.5×183.6 each（4-fold screens）

30.

伏鳥籠形ボンボニエール

Bonbonnière in the Shape of a Bird Cage (Overturned Basket)

昭和時代前期 (20世紀) Early Showa era, 20th century

銀 Silver

7.0×4.7
31.

菊花形ボンボニエール

Bonbonnière in the Shape of a Chrysanthemum Flower

昭和9年 (1934)

銀 Silver

2.8×6.0
32.

手鏡形すみれ文ボンボニエール

Bonbonnière in the Shape of a Hand Mirror with Violet Flower

昭和5年 (1930)

銀 Silver

1.5×5.8×8.1
33.

貝桶形流水菊花葵文ボンボニエール

Bonbonnière in the Shape of a *Kaioke* (Box for the Shell-Matching Game), with Flowing Water, Chrysanthemum and Hollyhock Design

昭和10年 (1935)

銀 Silver

5.9×4.7×4.3
34.

丸形鴛鴦文ボンボニエール

Round Bonbonnière with a Pair of Mandarin Ducks

昭和34年 (1959)

銀 Silver

2.2×5.8
35.

洲浜形ボンボニエール

Bonbonnière in the Shape of a *Suhama* (Sandy Beach)

昭和5年 (1930)

銀 Silver

1.8×6.2×4.0
36.

犬張り子形ボンボニエール

Bonbonnière in the Shape of a Papier-Mâché Dog

昭和9年 (1934)

銀 Silver

5.0×5.4×3.0
37.

木瓜形桐文ボンボニエール

Eight-Lobed Bonbonnière with Paulownia

昭和16年 (1941)

ジュラルミン Duralumin

2.0×5.9
38.

六角櫃形岩に杜若文ボンボニエール

Bonbonnière in the Shape of a Hexagonal Chest with Rock and Irises

昭和13年 (1938)

銀 Silver

3.6×6.5×5.7
39.

碁盤形ボンボニエール

Bonbonnière in the Shape of a *Go* Game Board

昭和39年 (1964)

銀 Silver

3.1×4.3×5.0
40.

濤川惣助

NAMIKAWA Sosuke

御紋付七宝鶏に秋草図花瓶

Pair of Cloisonné Enamel Vases with Imperial Crests, Roosters, and Autumn Grasses

明治時代 (20世紀) Meiji era, 20th century

七宝 Cloisonné

各 42.3×18.6 (2点組) 42.3×18.6 each (a set of 2 works)
41.

深川製磁

Fukagawa Seiji Co., Ltd.

有田焼白地鳳凰模様花瓶

Pair of Vases with Phoenix Design

大正10年 (1921)
陶磁 Porcelain
各 70.5×38.7 (2点組) 70.5×38.7 each (a set of 2 works)

第三章 北海道と近代美術

Chapter 3 Hokkaido and Modern Art

42.

望月金鳳

MOCHIZUKI Kimpo

月秋草狗之図

Dogs and Autumn Flowers beneath the Moon

明治20年代 (19世紀) Meiji 20s, 19th century

絹本墨画淡彩 Ink and light color on silk

133.6×70.5

43.

森川菊畝

MORIKAWA Kikuho

幽溪飛瀑図

Waterfall

明治39年 (1906)

絹本墨画 Ink on silk

174.2×85.6

44.

山口蓬春

YAMAGUCHI Hoshun

浄境閑寂

Sacred Calm

大正15年 (1926)

絹本着色 Color on silk

113.6×56.6

北海道立近代美術館 Hokkaido Museum of Modern Art

45.

山口蓬春

YAMAGUCHI Hoshun

秋意

Signs of Autumn

昭和37年 (1962)

紙本着色 Color on paper

92.7×36.2

46.

宇治橋春年

UJIHASHI Shunnen

旭日桜花図

Rising Sun and Cherry Blossoms

大正14年 (1925)

絹本着色 Color on silk

141.2×50.0

47.

横山大観

YOKOYAMA Taikan

耀く大八洲

Brilliant Oyashima (Eight Great Islands/Japan)

昭和16年 (1941)

絹本着色 Color on silk

47.0×2716.0

48.

松本春子

MATSUMOTO Haruko

和歌「さくらたへ」

Waka Poem "To Sakurata"

昭和51年 (1976) 頃 c.1976

紙本墨書 Ink on paper

35.0×52.7

49.

坂本直行

SAKAMOTO Naoyuki

初冬の日高連峰

Hidaka Mountain Range in Early Winter

昭和48年 (1973)

カンヴァス、油彩 Oil on canvas

44.0×59.0

50.

岩橋英遠

IWAHASHI Eien

憂北の人

MATSUURA Takeshiro

昭和45～54年 (1970～79)

紙本着色 Color on paper

180.5×368.0

北海道立近代美術館 Hokkaido Museum of Modern Art

51.

片岡球子

KATAOKA Tamako

初夏 Early Summer
昭和31年 (1956)
紙本着色 Color on paper
174.2×217.5
北海道立近代美術館 Hokkaido Museum of Modern Art

52.
山口蓬春ほか YAMAGUCHI Hoshun and others
現代風俗絵巻(鳳凰菊文蒔絵飾棚 棚飾品)
Pictorial Scroll of Contemporary Genre Scenes
(Accompanying the Cabinet with Phoenix and Chrysanthemum Design)
昭和3年 (1928)
絹本着色 Color on silk
28.4×967.0

53.
豊川楊溪(4代) TOYOKAWA Yokei IV
螺鈿軸盆 藤花菖蒲文様(鳳凰菊文蒔絵飾棚 棚飾品)
Scroll Tray with Wisteria and Irises
(Accompanying the Cabinet with Phoenix and Chrysanthemum Design)
昭和3年 (1928)
漆塗、螺鈿 Lacquer, mother of pearl inlay
2.8×13.9×38.1

54.
六角紫水 ROKKAKU Shisui
蒔絵手筈 瑞鳥霊獣文様(鳳凰菊文蒔絵飾棚 棚飾品)
Box with Auspicious Birds and Sacred Beasts
(Accompanying the Cabinet with Phoenix and Chrysanthemum Design)
昭和3年 (1928)
蒔絵 Makie
11.5×23.6×30.6

55.
大島如雲 OSHIMA Joun
龍置物(鳳凰菊文蒔絵飾棚 棚飾品)
Dragon (Accompanying the Cabinet with Phoenix and Chrysanthemum Design)
昭和3年 (1928)
銅、鍍金 Copper, casting
12.7×18.5×16.5

56.
片岡球子、岩橋英遠ほか KATAOKA Tamako, IWAHASHI Eien, and others
光彩 Album "*Kosai* (Bright Colors) "
昭和61年 (1986)
紙本着色 Ink on paper
各 26.8×34.7(一帖35点組) 26.8×34.7 each (1 quire: a set of 35 works)

57.
菊川多賀、後藤純男ほか KIKUKAWA Taka, GOTO Sumio, and others
彩雲 Album "*Saiun* (Colorful Clouds) "
昭和56年 (1981)
紙本着色 Ink on paper
各 26.7～30.0×34.5～37.9(一帖28点組)
26.7～30.0×34.5～37.9 each (1 quire: a set of 28 works)

58.
鹿子木孟郎 KANOKOGI Takeshiro
土佐桂ノ濱 Katsuranohama in Tosa
昭和3年 (1928)
紙、水彩 Watercolor on paper
33.1×45.5
北海道立近代美術館 Hokkaido Museum of Modern Art

59.
鹿子木孟郎 KANOKOGI Takeshiro
桂浜 Katsurahama
昭和3年 (1928)
和紙、油彩 Oil on paper
93.7×142.0

60.
上野山清貢 UENOYAMA Kiyotsugu
阿寒遠望図 View of Akan
昭和12年 (1937)頃

カンヴァス、油彩 Oil on canvas
鶴：65.1×90.8 Cranes：65.1×90.8
風景：65.1×90.9 Landscape: 65.1×90.9

61.
沼田一雅 NUMATA Ichiga
牛と童 Boy on Ox
大正～昭和時代前期 (20世紀) Taisho era-Early Showa era, 20th century
ブロンズ Bronze
18.5×36.5×17.3

62.
札幌陶園 Sapporo Pottery
陶塑・臥牛 Ox
昭和時代前期 (20世紀) Early Showa era, 20th century
陶磁 Porcelain
12.1×16.9×30.0
北海道立近代美術館 Hokkaido Museum of Modern Art

63.
山岡三秋 YAMAOKA Miaki (Sanshu)
辰砂釉花瓶 Vase Enrobed in Cinnabar Glaze
昭和45年 (1970)
陶磁 Porcelain
43.4×29.0

64.
宮下貞一郎 MIYASHITA Teiichiro
額皿 Dish
昭和27年 (1952)
陶磁 Porcelain
4.7×35.6×35.6

65.
宮下貞一郎 MIYASHITA Teiichiro
面取八角草花文大瓶
Large Octogonal Chamfered Vase with Grass and Flower
昭和時代 (20世紀) Showa era, 20th century
陶磁 Porcelain
30.6×21.7
北海道立近代美術館 Hokkaido Museum of Modern Art

66.
小森忍 KOMORI Shinobu
仿霽紅宝相華紋花瓶
Vase Decorated in Copper Red Glaze with Arabesque Flowers
大正～昭和時代前期 (20世紀) Taisho era-Early Showa era, 20th century
陶磁 Porcelain
31.2×19.9

67.
小森忍 KOMORI Shinobu
青瓷草花紋花瓶 Celadon Vase with Floral Vines
大正～昭和時代前期 (20世紀) Taisho era-Early Showa era, 20th century
陶磁 Porcelain
33.0×18.0

68.
小森忍 KOMORI Shinobu
搔落手アイヌ文花瓶 Vase Etched with Ainu Patterns
昭和30年 (1955)頃 c.1955
陶磁 Porcelain
39.2×19.8
北海道立近代美術館 Hokkaido Museum of Modern Art

69.
石狩陶園 Ishikari Pottery
草花文花瓶 Vase with Grass and Flower
昭和時代 (20世紀) Showa era, 20th century
陶磁 Porcelain
30.3×14.1
北海道立近代美術館 Hokkaido Museum of Modern Art

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
1	インゲボリィ・ルンディーン	花器・りんご	デザイン:1957	ガラス:被せガラス、宙吹き	径33.8×高36.0
第1章 デザイナーとガラス職人の協働					
2	エミール・ガレ	ガラス工場風景文花器	1900	ガラス:被せガラス、金属箔封入、型吹き、エッチング、エングレーヴィング	44.5×63.0
3	エミール・ガレ	虫文花器	1889	ガラス:被せガラス、型吹き、エングレーヴィング	8.5×11.0
4	エミール・ガレ	シクラメン文碗	1898～1900頃	ガラス:被せガラス、型吹き、マルケトリ、エングレーヴィング	9.9×10.9
5	エミール・ガレ	カトレア文花器	1900頃	ガラス:被せガラス、金属箔封入、型吹き、エッチング、エングレーヴィング	12.0×12.0
6	ガレ工房	プラム文花器	1925～30頃	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング	27.2×32.5
7	ガレ工房	こぶし文扁壺	1904～14頃	ガラス:被せガラス、エッチング	34.0×19.5×43.0
8	ガレ工房	湖水風景文花器	1920代	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング	31.5×67.0
9	ヨハン・レッツ・ヴァイトヴェ工房	おだまき形花器	1900頃	ガラス:虹彩ガラス	21.5×39.5
10	ヨハン・レッツ・ヴァイトヴェ工房	波状文花器	1900頃	ガラス:虹彩ガラス	12.0×25.5
11	ドーム	あざみ文花器	1900頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、型吹き、エッチング、エングレーヴィング	14.0×50.7
12	ドーム	クロッカス文花器	1904～14頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、型吹き、エッチング、エングレーヴィング	12.3×30.2
13	ドーム	マロニエ文花器	1907～10頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、型吹き、エッチング	15.0×36.5
14	ドーム	鹿文花器	1925～30頃	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング	33.0×39.5
15	ドーム	樹木文花器	1935	ガラス:型吹き、エッチング	27.0×27.0
16	ドーム	花器	1930代	ガラス:エッチング	34.2×34.3
17	ドームとルイ・マジヨレル	鉄枠吹込花器	1922頃	ガラス:斑文装飾、鉄枠吹込	22.1×28.5
18	ドームとルイ・マジヨレル	鉄枠吹込花器	1922頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、金属箔封入、鉄枠吹込み	27.5×26.0
19	ミュレル兄弟	ランプ	1920頃	ガラス、鉄:斑文装飾	42.0×13.0×53.0
20	ミュレル兄弟	花文花器	1910頃	ガラス:被せガラス、金属箔封入、型吹き、エッチング	21.0×41.0
21	シュネデル工房	花文花器	1920頃	ガラス:被せガラス、斑文装飾、エッチング、エングレーヴィング	13.5×36.0
22	シュネデル工房	幾何文花器	1920代	ガラス:斑文装飾、被せガラス、エッチング	21.0×58.5
23	ドーム	昆虫文蓋物	1910代	ガラス:パートド・ヴェール	13.2×8.1
24	ドーム	蝶文蓋	1910頃	ガラス:パートド・ヴェール	10.0×5.5
25	ヴィクトール・アマルリク・ヴァルテール	置時計	1915頃	ガラス:パートド・ヴェール	13.5×6.7×10.7
26	ヴィクトール・アマルリク・ヴァルテール	置物・青い鳥	1920代	ガラス:パートド・ヴェール	4.7×7.2×11.8
27	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	木の葉文蓋物	1925～30頃	ガラス:パートド・ヴェール	9.5×8.0
28	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	あざみ文鉢	1922	ガラス:パートド・ヴェール	12.0×9.6
29	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	けし文碗	1925頃	ガラス:パートド・ヴェール	11.5×7.5
30	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	ばら文花器	1922	ガラス:パートド・ヴェール	16.0×22.0
31	フランソワ＝エミール・デコルシュモン	双耳鉢	1927	ガラス:パートド・ヴェール	16.0×12.5×9.5
32	モーリス・マリノ	人物文扁壺	1920代	ガラス:エナメル彩	19.8×9.0×23.1
33	モーリス・マリノ	栓付瓶	1929	ガラス:エッチング	17.3×9.7×22.0
34	アンリ・ナヴァール	花器	1930代	ガラス	14.0×25.5
35	アンドレ・テュレ	花器	1950～60頃	ガラス:被せガラス	15.0×15.1

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
36	アンドレ・テュレ	花器	1950～60頃	ガラス:被せガラス	12.8×13.0
37	アンドレ・テュレ	花器	1950～60頃	ガラス:被せガラス	14.9×17.0
第2章 プロダクトの開発					
38	ルネ・ラリック	花器・バッカスの巫女	型:1927	ガラス:型押し	21.0×24.9
39	ルネ・ラリック	花器・いんこ	型:1919	ガラス:型吹き	24.8×25.6
40	ルネ・ラリック	花器・蛇	型:1924	ガラス:型吹き	25.8×25.0
41	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・勝利	型:1928	ガラス:型押し	25.0×11.7×19.3
42	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・とんぼ	型:1928	ガラス:型押し	20.0×6.6×20.8
43	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・孔雀の頭	型:1928	ガラス:型押し	14.0×9.8×20.2
44	シーモン・ガーテ/ オレフォッシュ社	高脚杯	デザイン:1923	ガラス:吹込み	16.8×19.3
45	シーモン・ガーテ/ オレフォッシュ社	人物文ゴブレット	デザイン:1920 制作:1926	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	13.2×24.0
46	シーモン・ガーテ/ オレフォッシュ社	馬に人物文コンポート	デザイン:1920 制作:1925	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	23.5×18.8
47	エードヴァルド・ハルド/ オレフォッシュ社	花器	1942	ガラス:宙吹き、エッチング、被せガラス	14.0×19.4
48	エードヴァルド・ハルド/ オレフォッシュ社	鉢	1939	ガラス:宙吹き、エングレーヴィング、被せガラス	14.2×12.1
49	エードヴァルド・ハルド/ オレフォッシュ社	鉢・雷雨	デザイン:1922 制作1953	ガラス:被せガラス、型吹き、エングレーヴィング	14.4×11.2
50	エードヴァルド・ハルド/ オレフォッシュ社	鉢・葡萄の収穫	デザイン:1924 制作1925	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	27.9×13.5(鉢)／ 29.8×2.2(皿)
51	エードヴァルド・ハルド/ オレフォッシュ社	皿付鉢・ヴェール	デザイン:1919 制作:1922	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	29.4×23.5
52	エーヴァルド・ダールスクーグ/コスタ社	蓋付高脚杯・テスピス	デザイン:1927 制作:1927～31	ガラス:型吹き、カット、エングレーヴィング	13.4×38.7
53	エーヴァルド・ダールスクーグ/コスタ社	蓋付台付鉢・メリーゴーランド	1926	ガラス:型吹き、カット、エングレーヴィング	28.0×38.5
54	ヴィッケ・リンドストランド/ オレフォッシュ社	花器・真珠採り	デザイン:1934 制作:1938	ガラス:吹込み、エングレーヴィング	16.8×28.0
55	ヴィッケ・リンドストランド/ コスタ社	花器・洗濯	デザイン:1951頃 制作:1950代	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	20.0×10.3×26.1
56	ヴィッケ・リンドストランド/ コスタ社	花器・秋	デザイン:1950～51 制作:1950代	ガラス:宙吹き、色ガラス封入	14.3×9.4×22.4
57	エードヴィン・エールシュトレム/ オレフォッシュ社	鳩に人物文花器	1953	ガラス:宙吹き、サンドブラスト、被せガラス	14.5×18.7
58	インゲボリイ・ルンディーン/ オレフォッシュ社	花器・顔	1968	ガラス:被せガラス、気泡封入	12.3×16.0
59	モーナ・モーラレス＝シルト	花器	1960代	ガラス:被せガラス、カット	11.3×7.0×17.2
60	スヴェン・パルムクヴィスト/ オレフォッシュ社	鉢 ラヴェンナ	1952	ガラス:ラヴェンナ	25.5×19.5
61	スヴェン・パルムクヴィスト/ オレフォッシュ社	鉢・カンタラ	1944	ガラス:被せガラス、宙吹き	31.5×8.5
62	スヴェン・パルムクヴィスト/ オレフォッシュ社	鉢・カンタラ	1944	ガラス:被せガラス、宙吹き	16.5×6.0
63	ニルス・ランドベリイ/ オレフォッシュ社	チューリップグラス	デザイン:1957 制作:1950代末	ガラス:被せガラス、宙吹き	11.0×44.2
64	ニルス・ランドベリイ/ オレフォッシュ社	チューリップグラス	デザイン:1957 制作:1950代末	ガラス:被せガラス、宙吹き	12.7×48.8
65	ニルス・ランドベリイ/ オレフォッシュ社	チューリップグラス	デザイン:1957 制作:1950代末	ガラス:被せガラス、宙吹き	12.6×48.2
66	アナ・アナー/コスタ工房	ホワイト・ボウル	1980	ガラス:被せガラス、エッチング	21.5×17.0
67	カイ・フランク	花器	1970頃	ガラス:型吹き	17.0×21.8
68	タピオ・ヴィルツカラ/ ヴェニーニ商会	コンポート	1970	ガラス	24.2×14.4
69	タピオ・ヴィルツカラ/ ヴェニーニ商会	花器	1971	ガラス:インカルモ	30.9×18.7
第3章 表現手段としてのガラス					
70	イヴァン・マレシュ	卵	1997	クリスタルガラス:キャスト、部分的にカット	105.0×75.0×75.0
71	スタニスラフ・リベンスキー、 ヤロスラヴァ・プリフトヴァ	接触	1985	ガラス:キャスト	57.0×19.5×60.0
72	エルヴィン・アイシュ	インター＝ネット	1997	ガラス:型吹き、エナメル焼付、エングレーヴィング	21.5×27.5×58.0

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
73	ベント・ボネ	人間	1985	ガラス：型吹き、エングレーヴィング	18.5×21.5×39.4
74	イヴァン・マレシュ	悪夢 I	1990	ガラス：キャスト、カット、研磨	65.0×58.5×62.0
75	ギゼラ・シャボーコヴァ	最後の門	1992	ガラス：キャスト、着色、カット	68.0×36.0×40.6
76	ジェルジィ・ブツコ	竜	1996	ガラス：板ガラス、フュージング、ホットワーク成形、接着	58.5×98.0×22.5
77	ベッティル・ヴァツリー	静かなる旅	1985	ガラス：サンドキャスト	48.0×11.0×14.0
78	ダナ・ザーメチニーコヴァ	私の家族	1997	板ガラス、ミクストメディア：着色	56.1×120.0×210.0
79	ベルナール・ドゥジョング	円環	1994	ガラス(光学ガラス)：研磨、失透	57.8×24.7
80	ウルズラ・フート	素描一日記より	1985	ガラス、鉛柀：被せガラス、ステイニング、エングレーヴィング、着色	57.0×70.0
81	ロナルド・ペネル	「危機に瀕して」ヒューマニストの表現の試み	1994	ガラス：エングレーヴィング、カット、研磨	13.4×23.0×21.1
82	アンドリース・D. コピール	ユニクム(トランフェー)	1981	ガラス：宙吹き、色ガラス溶着、サンドブラスト	25.5×28.0
83	パオロ・マルティヌツィ	無題	1987～88	ガラス、木：エングレーヴィング	15.5×24.0×37.0
84	ベルト・フレインス	張る	1987	ガラス、ワイヤー：板ガラス変形	29.0×30.0×9.0

* 寸法は径×高さ、または幅×奥行×高さ
 * すべて当館蔵

星の瞬間

アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido

The Starry Moment: Hokkaido Reexamined by Artists and Curators



2025年1月5日(日)～3月16日(日)／展示室B、A 1F

現代アーティストと学芸員それぞれがピックアップした当館の「北海道の美術」コレクション、アーティストの自作、学芸員によるコレクション研究の成果を一堂に展示します。
企画協力:CAI現代芸術研究所／CAI03

* 寸法は縦×横、径×高さ、または幅×奥行×高さ

展示室B

No.		作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)*	所蔵
1	TH-1	武田 浩志	portrait 292	2025(令和7)	木製パネル、アクリル絵具、エポキシ樹脂、印刷物、ラメ、55インチモニター、4Kシングルチャンネル・ビデオ	各125.5×74.0×12.5(2点組)	作家蔵
2	TH-2	佐々木 徹	無題 #4	1990(平成2)	アクリル絵具、コラージュ・板、竹	220.0×280.0×140.0	当館蔵
3	TH-3	佐々木 徹	無題 #5	1990(平成2)	アクリル絵具、コラージュ・板、竹	220.0×180.0×150.0	当館蔵
4	TM-1	横山 大観	秋思	1898(明治31)	絹本彩色	158.0×82.5	当館蔵
5	TM-2	横山 大観	陶靖節「幽篁弾琴」	1919(大正8)	絹本彩色	154.2×70.5	当館蔵
6	TM-3	下村 観山	陶靖節「見南山図」	1919(大正8)	絹本彩色	156.0×70.5	当館蔵
7	TM-4	筆谷 等観	春寒賜浴	1924(大正13)	絹本彩色	118.3×87.0	当館蔵
8	HY-1	片岡 球子	面構 浮世絵師歌川国芳と浮世絵研究家鈴木重三先生	1988(昭和63)	紙本彩色	181.0×350.0	当館蔵
9	HY-2	片岡 球子	面構 一休さま	2000(平成12)	紙本彩色	150.3×300.5	当館蔵
10	HY-3	片岡 球子	葛飾北斎	1976(昭和51)	紙本彩色	116.0×79.0	当館蔵
11	HY-4	片岡 球子	雅楽(女神と胡飲酒)	1967(昭和42)	紙本彩色	181.7×260.0	当館蔵
12	KN-1	桎見 菜々子	静かな夜	2023(令和5)	シングルチャンネル・ビデオ、布	可変	作家蔵
13	KN-2	杉山 留美子	HERE - NOW あるいは難思光 - 6	2011(平成23)	アクリル絵具・綿キャンバス	各100.0×100.0(3点組)	当館蔵
14	IR-1	伊藤 隆介	風景考	2024(令和6)	CCDカメラ、ビデオ・プロジェクター、ミクストメディア	可変	作家蔵
15	IR-2	箱館焼	染付湯呑茶碗・唐太之内ヲチョボロ	1860(万延元)	陶磁	径8.6×7.8	当館蔵
16	MM-1	藤戸 康平	Singing of the Needle	2021(令和3)	鉄、鹿の頭骨、アクリル絵具	210.0×210.0	当館蔵
17	HS-1	端 聡	アースに還る	2024(令和6)	鉄	可変	作家蔵
18	HS-2	砂澤 ビッキ	風	1988(昭和63)	木(ナラ)	174.5×124.0×131.0	当館蔵
19	NS-1	作者不詳 (イモンパウクと推定)	盆	制作年不詳	木(カツラ)	径97.3×5.3	北海道博物館蔵 No,11463
20	NS-2	イモンパウク	盆	制作年不詳	木(カツラ)	径97.1×5.1	北海道博物館蔵 No,11464
21	NS-3	作者不詳 (イモンパウクと推定)	盆	制作年不詳	木(ハリギリ)	径86.0×5.3	北海道博物館蔵 No,11465
22	MS-1	木路 毛五郎	疎外された人間 その1	1970(昭和45)	油彩・キャンバス	129.5×190.2	当館蔵
23	MS-2	木路 毛五郎	虚と実	1970(昭和45)	油彩・キャンバス	193.5×130.5	当館蔵
24	MS-3	一ノ戸 ヨシノリ	国旗	1970(昭和45)	日米国旗、鏡2枚、鏡スタンド、木製テーブル2台、テーブルクロス2枚	180.0×120.0×92.8	当館蔵
25	MS-4	荒井 善則	林の中の20枚の板 2	1983(昭和58)	シルクスクリーン・布	103.4×146.0	当館蔵
26	OJ-1	大黒 淳一	100年前、100年後	2025(令和7)	PC、アンプ、8chスピーカー、4Kモニター、機材ラックほか	可変	作家蔵
27	OJ-2	林 竹治郎	積丹風景	1925(大正14)	油彩・キャンバス	61.0×151.5	当館蔵

展示室A 1階

No.		作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)*	所蔵
28	SR-1	鈴木 涼子	冬菊	2024(令和6)	映像	可変	作家蔵
29	SR-2	鈴木 涼子	parasite 01	2020(令和2)	クロモジェニック・プリント	120.0×180.0	作家蔵
30	SR-3	鈴木 涼子	parasite 02	2020(令和2)	クロモジェニック・プリント	120.0×180.0	作家蔵
31	SR-4	鈴木 涼子	parasite 03	2020(令和2)	クロモジェニック・プリント	120.0×90.0	作家蔵
32	SR-5	鈴木 涼子	parasite 04	2020(令和2)	クロモジェニック・プリント	100.0×150.0	作家蔵
33	SR-7	鈴木 涼子	焰	2024(令和6)	映像、和紙	可変	作家蔵
34	SR-9	深井 克美	バラード	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	116.5×73.6	当館蔵
35	II-1	今村 育子	臍でつながる女	2024(令和6)	ミクストメディア	可変	作家蔵
36	II-2	三岸 節子	摩周湖	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	59.5×108.5	当館蔵
37	NK-1	栗谷川 健一	家路	1962(昭和37)	オフセット・紙	102.9×73.0	当館蔵
38	NK-2	栗谷川 健一	川に憩う	1959(昭和34)	オフセット・紙	103.0×73.1	当館蔵
39	NK-3	栗谷川 健一	十勝川温泉	1960(昭和35)	オフセット・紙	102.4×72.6	当館蔵
40	NK-4	栗谷川 健一	落陽の平原	1973(昭和48)	オフセット・紙	104.3×72.8	当館蔵
41	SY-1	上野山 清貢	とかげを弄び夢見る島の乙女	1924(大正13)	油彩・キャンバス	79.5×115.3	当館蔵
42	SY-2	上野山 清貢	ある夜	1928(昭和3)	油彩・キャンバス	127.0×95.9	当館蔵
43	KT-1	風間 天心	Invisible faith	2024(令和6)	ミクストメディア	可変	作家蔵
44	KT-2	俣野 第四郎	梨果図	1923(大正12)	油彩・キャンバス	37.9×45.5	当館蔵
45	KT-3	俣野 第四郎	静物(2)	1924(大正13)	油彩・キャンバス	37.8×45.6	当館蔵
46	KT-4	俣野 第四郎	静物図	1924(大正13)	油彩・キャンバス	37.9×45.5	当館蔵
47	KT-5	林 竹治郎	朝の祈り	1906(明治39)	油彩・キャンバス	50.0×90.0	当館蔵
48	KA-1	小寺 真知子	アウローラ	1991(平成3)	ブロンズ	45.0×75.0×232.0	当館蔵
49	KM-1	青山 熊治	アイス	1910(明治43)	油彩・キャンバス	150.0×188.0	当館蔵
50	KM-2	青山 熊治	アイス婦人横顔	1907(明治40)	油彩・ボール紙	33.0×24.0	当館蔵
51	KM-3	青山 熊治	アイス青年白鳥権治の像	1911(明治44)	油彩・キャンバス	44.5×33.5	当館蔵
52	KM-4	青山 熊治	男の顔A	制作年不詳	木炭・紙	63.0×48.0	当館蔵
53	KM-5	青山 熊治	男の顔B	制作年不詳	コンテ・紙	63.0×48.0	当館蔵
54	TK-1	高橋 喜代史	わたし山	2024(令和6)	ミクストメディア	可変	作家蔵
55	TK-2	花田 和治	手稲山	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	125.0×272.0	当館蔵
56	TK-3	花田 和治	水辺にて	2004-05 (平成16-17)	油彩・キャンバス	112.1×162.1	当館蔵
57	MK-1	小川原 脩	男と白鳥	1939(昭和14)	油彩・キャンバス	145.5×112.1	当館蔵
58	MK-2	小川原 脩	雪	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	154.8×191.2	当館蔵

2-B-3 美術作品の貸出

令和7年3月31日現在

	貸出先(会場名)	展覧会名	点数
1	北海道立三岸好太郎美術館	「モダニストの『蝶』」展	3点(俣野第四郎《郊外》他)
2	木田金次郎美術館	「木田金次郎ストーリーズ」展	16点(木田金次郎《風景(下谷あたり)》他)
3	北海道庁舎内知事室等	知事室および知事公館での展示	7点(岡部文之助《緑の羅臼岳》他)
4	北海道立三岸好太郎美術館	「わがころの街―好太郎と画家たちの札幌」展	28点(本間莞彩《道庁》他)
5	北海道立釧路芸術館	「自然へのまなざし 天と地と」展	5点(岩橋英遠《誌(一)》他)
6	北海道立旭川美術館	「オブ・アート展」	56点(ブリジット・ライリー《アレスト I 》他)

計115点

2-C 教育普及活動

2-C-1 教育普及活動一覧

① 展覧会関連事業

展覧会ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
国宝「鳥獣戯画」北海道初公開 京都 高山寺展 －明恵上人と文化財の伝承 7月9日(火)～9日1日(日)	講演会「明恵上人と文化財の伝承」	7月9日(火) 10:30-12:00	講堂	石塚晴通(北海道大学名誉教授・東洋文庫研究員・高山寺典籍文書総合調査団代表・高山寺責任役員)	123	
	講演会「高山寺の仏画から見える、明恵が憧れた仏教の本場・中国－明恵上人樹上座禅像を中心に－」	7月15日(月祝) 14:00-15:30	講堂	大原嘉豊(京都国立博物館学芸部 教育室長)	90	
	講演会「国宝・鳥獣戯画 入門」	7月28日(日) 14:00-15:30	講堂	土屋貴裕(東京国立博物館学芸研究部調査研究課 絵画・彫刻室長)	183	
	講演会「鳥獣戯画における線の表現－乙巻・丙巻・丁巻の魅力－」	8月18日(日) 14:00-15:30	講堂	井並林太郎(京都国立博物館学芸部企画室 主任研究員)	137	
	見どころ解説	①8月4日(日) 14:00-14:30 ②8月12日(月祝) 14:00-14:30 ③8月25日(日) 14:00-14:30 ④9月1日(日) 14:00-14:30	講堂	①星野靖隆(当館学芸員) ②門間仁史(当館企画推進課長) ③星野靖隆(当館学芸員) ④門間仁史(当館企画推進課長)	585	①153 ②159 ③143 ④130
	ナイト・ミュージアム(医療法人さっぽろ脊髄クリニック)	8月17日(土) 17:45-19:20 (見どころ解説18:00-18:30)	展示室B 講堂	門間仁史(当館企画推進課長)	30	
ウィズ・キッズ' 24 なぜこのかたちなの？ 7月9日(火)～9月26日(木)	「なぜこのかたちなの？」学芸員といっしょに、作品にふれてみよう！	①8月3日(土) 15:00-15:30 ②8月10日(土) 15:00-15:30	展示室A2F 造形室	①飯田花織(当館学芸員) ②河本真夕(当館学芸員)	27	①13 ②14
皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品 9月21日(土)～10月27日(日)	講演会「美が結ぶ－皇室と北海道」	9月21日(土) 14:00-15:30	講堂	五味聖(皇居三の丸尚蔵館)	116	
	講座「絵画が見つないだ人々－蠣崎波響を中心として」	10月12日(土) 14:00-15:30	講堂	上嶋悟史(皇居三の丸尚蔵館)	117	
	見どころ解説	①9月28日(土) 14:00-14:30 ②10月5日(土) 14:00-14:30 ③10月19日(土) 14:00-14:30 ④10月26日(土) 14:00-14:30	講堂	①久米淳之(当館上席専門員) ②藺部容子(当館リサーチ推進課長) ③藺部容子(当館リサーチ推進課長) ④久米淳之(当館上席専門員)	287	①80 ②82 ③60 ④65
	英語ツアー	①10月16日(水) 11:00-11:30 ②10月24日(木) 11:00-11:30	展示室B	①久米淳之(当館上席専門員) ②藺部容子(当館リサーチ推進課長)	15	①5 ②10
ウィズ・キッズ' 24 みる・ふれる・つたえる さいきょうのざいりょう 10月12日(土)～12月8日(日)	キッズツアー みよう！ふれよう！つたえよう！	①10月27日(日) 13:30-14:00 ②11月3日(日) 13:30-14:00 ③12月1日(日) 13:30-14:00	展示室A1F	①村山美波(当館学芸員) ②村山美波(当館学芸員) ③村山美波(当館学芸員)、河本真夕(当館学芸員)	111	①8 ②10 ③93
星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、 Hokkaido 令和 7年1月5日(日)～3月16日(日)	Talk&Talk☆キュレーター・サンデー	①1月12日(日) 14:00-15:00 ②1月19日(日) 14:00-15:00	展示室A1F 展示室B	①土岐美由紀(当館主任学芸員)、星野靖隆(当館学芸員)、藺部容子(当館リサーチ推進課長)、河本真夕(当館学芸員)、光岡幸治(当館上席専門員) ②村山美波(当館学芸員)、中村聖司(当館学芸副館長)、門間仁史(当館企画推進課長)、野田佳奈子(当館主任学芸員)、久米淳之(当館上席専門員)	70	①40 ②30
	Meet&Greet☆アーティスト・サタデー	①2月8日(土) 13:30-14:30 ②2月15日(土) 13:30-14:30	ホール 展示室A1F 展示室B	①風間天心、櫻見菜々子、鈴木涼子、武田浩志 ②伊藤隆介、今村育子、大黒淳一、高橋喜代史、端聡進行：村山美波(当館学芸員)	100	①41 ②59

②解説活動

事業名等	タイトル・内容等	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
学芸員によるミュージアム・トーク	「藤田嗣治－第二次大戦下とその前後の制作について」	4月7日(日) 14:00-14:30	展示室A	光岡幸治(当館上席専門員)	417	16
	「岩田久利と現代ガラス」	4月14日(日) 14:00-14:30	展示室A	飯田花織(当館学芸員)		7
	「片岡球子《面構 一休さま》」	4月21日(日) 14:00-14:30	展示室A	土岐美由紀(当館主任学芸員)		15
	「ユトリロの描いた街並み」	4月28日(日) 14:00-14:30	展示室A	野田佳奈子(当館主任学芸員)		20
	「『この1点を見てほしい。』補遺～山口蓬春と中国の古画」	5月5日(日) 14:00-14:30	展示室A	星野靖隆(当館学芸員)		13
	「ユトリロの描いた街並み」	5月12日(日) 14:00-14:30	展示室A	野田佳奈子(当館主任学芸員)		11
	「パスキンの《放蕩息子》をよむ」	5月19日(日) 14:00-14:30	展示室A	河本真夕(当館学芸員)		32
	「戦後北海道の断章－掛川源一郎のまなざし」	5月26日(日) 14:00-14:30	展示室A	中村聖司(当館学芸副館長)		7
	「福田美蘭 絵画の「ふしぎ」」	6月2日(日) 14:00-14:30	展示室A	村山美波(当館学芸員)		19
	「戦後北海道の断章－掛川源一郎のまなざし」	6月9日(日) 14:00-14:30	展示室A	久米淳之(当館上席専門員)		17
	「パスキン－足跡をたどって」	6月16日(日) 14:00-14:30	展示室A	蘭部容子(当館リサーチ推進課長)		15
	「歌川国貞－「組物」と「続き絵」を読み解く」	7月14日(日) 14:00-14:30	展示室A	光岡幸治(当館上席専門員)		48
	「民藝運動と北海道のやきもの」	7月21日(日) 14:00-14:30	展示室A	飯田花織(当館学芸員)		50
	「歌川国貞《江戸名所百人美女》	8月11日(日) 14:00-14:30	展示室A	志賀万有美(当館臨時学芸員)		32
	「アートギャラリー北海道 港の今昔」	9月15日(日) 14:00-14:30	展示室A	野田佳奈子(当館主任学芸員)		13
	「歌川国芳・溪斎栄泉－「組物」と「続き絵」を読み解く」	9月22日(日) 14:00-14:30	展示室A	光岡幸治(当館上席専門員)		19
	「荻須高德《薪炭屋》をめぐる」	10月13日(日) 14:00-14:30	展示室A	野田佳奈子(当館主任学芸員)		7
	「さいきょうのざいりょう－光を使った美術表現」	10月20日(日) 14:00-14:30	展示室A	河本真夕(当館学芸員)		11
	「染める、編む、織る－糸を使った作品の魅力」	11月10日(日) 14:00-14:30	展示室A	村山美波(当館学芸員)		17
	「岩田藤七－美と創造のエッセンス」	11月17日(日) 14:00-14:30	展示室A	星野靖隆(当館学芸員)		5
	「染める、編む、織る－糸を使った作品の魅力」	11月24日(日) 14:00-14:30	展示室A	村山美波(当館学芸員)		13
	「芸術家の本」と20世紀美術の巨匠たち	3月30日(日) 14:00-14:30	展示室A	河本真夕(当館学芸員)		30

③その他の教育普及事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
電子ガイド	スマートフォンのアプリ「ポケット学芸員」を通じて、野外彫刻や当館及び三岸好太郎美術館の展示作品について文字と音声による電子版のガイドを公開し、両館の所在するエリア一帯の魅力向上と作品鑑賞の促進を図った。	10月16日(水)～	北海道立近代美術館、三岸好太郎美術館、知事公館	執筆:当館学芸員 音声:北海道札幌北陵高等学校放送局 コンテンツ／執筆: ①伊藤隆道《回転螺旋・1月》／土岐美由紀(当館主任学芸員) ②本郷新《嵐の中の母子像》／河本真夕(当館学芸員) ③寺田栄《風景》／門間仁史(当館企画推進課長) ④安田侃《天秘》／久米淳之(当館上席専門員) ⑤三岸好太郎《道化》／光岡幸治(当館上席専門員) ⑥三岸好太郎《大通公園》／井内佳津恵(当館上席専門員) ⑦長谷川昇《婦人像》／野田佳奈子(当館主任学芸員) ⑧難波田龍起《尾瀬沼にて》／蘭部容子(当館リサーチ推進課長)		
アートギャラリー北海道～みんなのアートプロジェクト 夏休みこどもワークショップ2024 ※(公財)日本教育公務員弘済会北海道支部 共催事業	「デコデコのうつわを作ろう」	8月3日(土) 10:00-11:30	展示室A2F 造形室	朝地信介(日本画家・札幌国際大学短期大学部教授)	22	
北海道リモート・ミュージアム	展覧会やコレクション等を学芸員が紹介・解説する動画をWEB配信	①配信日:5月30日(木) ②配信日:3月13日(木)	WEB配信(Youtube)	コンテンツ／解説／編集: ①「越境者パスキン」／蘭部容子(当館リサーチ推進課長)、飯田花織(当館学芸員) ②「星の瞬間」／中村聖司(当館学芸副館長)、村山美波(当館学芸員)、門間仁史(当館企画推進課長)		

④学校教育との連携・協力事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
オンラインアート教室	遠隔地の学校を対象に、オンラインで当館および三岸好太郎美術館の収蔵作品の鑑賞と解説を行った。	①8月23日(金) 11:15-12:30 豊富町立豊富中学校 ②9月26日(木) 13:20-14:10 北海道余市養護学校しりべし学園分校 ③10月23日(水) 14:05-14:50 平取町立平取小学校 ④12月19日(木) 9:50-12:30 北海道千歳高等支援学校 ⑤1月21日(火) 11:10-12:10 北海道札幌稲穂高等支援学校 ⑥1月21日(火) 13:30-14:15 北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校 ⑦1月22日(水) 10:40-11:30 北海道札幌聾学校 ⑧1月29日(水) 10:40-11:25 えりも町立庶野小学校	収蔵庫前および三岸好太郎美術館展示室	解説: ①久米淳之(当館上席専門員) ②野田佳奈子(当館主任学芸員) ③河本真夕(当館学芸員) ④星野靖隆(当館学芸員) ⑤門間仁史(当館企画推進課長) ⑥門間仁史(当館企画推進課長) ⑦村山美波(当館学芸員) ⑧星野靖隆(当館学芸員)	164	①29 ②7 ③16 ④62 ⑤19 ⑥14 ⑦2 ⑧15
博物館実習(館園実習)	学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、7日間のカリキュラムで美術館における実務実習を受け入れた。	8月21日(水)～8月29日(木) 10:00-17:00	映像室、展示室、収蔵庫ほか	当館職員、北海道美術館協会ボランティア	3	
博物館実習(見学実習)	学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、美術館の見学実習を受け入れた。	①7月19日(金)北海道大学 ②10月31日(木)東海大学	展示室、収蔵庫ほか	対応:当館学芸員	61	①12 ②49
北海道立近代美術館学芸員インターンシップ(実務研修)の受け入れ	美術館学芸員を志す者を対象に、専門知識を深め今後の美術館活動を担う人材となってもらうために、学芸員業務に関わる実務研修生を受け入れた。	5月16日(木)～7月25日(木)	館内各室	対応:当館職員	1	
職場体験等の受け入れ	学校からの依頼により、職場体験学習として美術館での業務を希望する生徒を受け入れた。	①10月30日(水) 札幌市立栄中学校 ②11月12日(火) 札幌市立新川中学校 ③11月15日(金) 札幌市立中の島中学校 ④11月29日(金) 札幌市立南が丘中学校	館内各室	対応:当館企画推進課学芸員	16	①4 ②4 ③4 ④4

自主研修等の受け入れ	修学旅行や研修旅行、総合的な学習の時間などの一環として当館を訪問する児童・生徒に対して、美術館活動の説明や質問への回答、施設見学などを行った。	①5月22日(水) みなみの杜高等支援学校 ②5月24日(金) 札幌市立南が丘中学校 ③5月29日(水) 小樽市立銭函中学校 ④5月30日(木) 札幌市立発寒中学校 ⑤5月30日(木) 北広島市立西の里中学校 ⑥6月6日(木) 札幌市立平岡緑中学校 ⑦6月7日(金) 札幌市立宮の森中学校 ⑧7月11日(木) 新冠町立新冠中学校 ⑨7月17日(水) 当別町立当别中学校 ⑩7月24日(水) 札幌市立小野幌小学校 ⑪7月30日(火) 札幌市立北陽中学校美術部 ⑫8月2日(金) 北海道大麻高等学校 ⑬8月4日(日) 滝川市立江陵中学校美術部 ⑭8月30日(金) 酪農学園大学付属とわの森三愛高等学校 ⑮9月25日(水) 酪農学園大学付属とわの森三愛高等学校 ⑯11月1日(金) 札幌市立藻岩中学校 ⑰11月8日(金) 市立札幌山の手支援学校 ⑱11月9日(土) 札幌市立篠路西中学校 ⑲11月20日(水) 市立札幌大通高等学校 ⑳12月1日(日) 北海道札幌西高等学校 ㉑12月4日(水) 札幌市立大通高等学校 ㉒12月5日(木) 北海道教育大学附属札幌中学校 ㉓12月8日(土) 市立札幌みなみの杜高等支援学校アート部	映像室、展示室、ARSほか	対応：当館学芸員、北海道美術館協力会ボランティア解説部	532	①110 ②20 ③5 ④20 ⑤8 ⑥12 ⑦5 ⑧3 ⑨6 ⑩99 ⑪16 ⑫3 ⑬14 ⑭30 ⑮105 ⑯16 ⑰2 ⑱5 ⑲21 ⑳1 ㉑24 ㉒1 ㉓6
教員研修	道立近代美術館・道立三岸好太郎美術館を活用した鑑賞学習の充実及び学校と道立近代美術館・道立三岸好太郎美術館との一層の連携を図るため、長期休業期間中に、教員を対象に研修を実施した。	①8月1日(木) 13:00-17:00 ②1月9日(木) 13:00-17:00	映像室ほか	対応：当館企画推進課学芸員	21	①5 ②16

2-C-2 資料・情報関係

(1) 特別観覧

当館所蔵の作品や写真資料等について、印刷物掲載やインターネット上の公開等を目的にした撮影や写真又は画像データの借用希望等、並びに研究目的の熟覧希望等に対し、特別観覧として対応した。

(令和7年3月31日現在。単位は件)

	撮影	模写	熟覧	写真原板 使用	デジタル データ	掲載承諾	合計
研究	3	1	5		6	1	16
展示					5		5
出版				1	17	8	26
放送							0
上映					1		1
配信							0
合計	3	1	5	1	29	9	48

(うち重複7件)

主な申請者

撮影 / 国内外個人研究者

熟覧 / 国内外個人研究者、本郷新記念札幌彫刻美術館、札幌芸術の森美術館

写真原板又はデジタルデータの使用 / 日本経済新聞社、北海道造形教育連盟、平木浮世絵財団、國華社 ほか

(2) ウェブサイト

ホームページにおける情報提供を行った。

令和6年度の年間アクセス件数(令和7年3月31日現在) : 700,795件 開設(平成11年4月)以来のアクセス件数 : 7,955,721件

(3) 所蔵作品データ公開

Web上で令和4年1月7日よりサムネイル画像及び基本データ(作家名、作品名、制作年等)を検索可能なデータベースとして公開。

(現時点で令和6年度末までの全収蔵作6,082点を公開)

(4) ソーシャルメディア

ソーシャルメディア(Xおよびフェイスブック)を活用して、逐次的な情報提供と広報活動に取り組んだ。

Xへの投稿数	: 191回	Xのフォロワー数(定期通知者数)	令和7年3月31日現在	: 13,904名
フェイスブックへの投稿数	: 194回	フェイスブックのフォロワー数(定期通知者数)	令和7年3月31日現在	: 6,629名

刊行物

令和7年3月31日現在

種別	刊行物名	出版時期	備考
図録	『国宝「鳥獣戯画」北海道初公開 京都 高山寺展－明恵上人と文化財の伝承』	令和6年7月	編集：北海道立近代美術館、北海道新聞社 発行：北海道新聞社
図録	『皇居三の丸尚三館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品』	令和6年9月	編集：北海道立近代美術館 発行：テレビ北海道
図録	『星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido』	令和7年1月	編集：北海道立近代美術館 発行：中西出版株式会社
紀要	『北海道立美術館・芸術館紀要』 第34号	令和7年3月	編集・発行：北海道立近代美術館ほか

2-D 調査研究

1 学芸員の調査研究活動

当館は、地域の研究機関としての役割を果たし、美術に関する総合的な調査・研究を行って、その成果を展覧会や普及事業、教育支援等、広く美術館活動に反映させるとともに地域社会に還元している。

とくにコレクションの柱である北海道の美術、ガラス、エコール・ド・パリ関係については重点的に調査研究を推進するよう努めているほか、各学芸員はそれぞれコレクションの各分野、所蔵品特別研究、展覧会（特別展・コレクション展・その他プロジェクト）、教育支援、美術館学、地域文化振興等を担当して関連する調査研究、また個別的研究課題や重点分野に関して継続的な調査研究を行っている。

本項には、各員ごとの担当および研究成果等を記した（なお、コレクション分野のうち、北海道の美術、ガラス、エコール・ド・パリについては、担当者以外にも全員が調査研究対象とすることとしている）。

○飯田花織（学芸員）

[担当分野（コレクション）]

- ・日本画
- ・版画
- ・エコール・ド・パリ
- ・ガラス工芸

[担当展覧会]

- ・現代ガラスのオノマトベ（近美コレクション）
- ・ウィズ・キッズ'24 なぜこのかたちなの？（近美コレクション）
- ・皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品
- ・ウィズ・キッズ'24 みる・ふれる・つたえる さいきょうのざいりょう（近美コレクション）

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学、美術館学

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代日本画
- ・京都画壇、特に国画創作協会

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講話]「岩田久利と現代ガラス」（令和 6/4/14 近美コレクション・ミュージアム・トーク）
- ・[講話]「民藝運動と北海道のやきもの」（令和 6/7/21 近美コレクション・ミュージアム・トーク）

<執筆・発表>

- ・第一章解説、作品解説『皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品』図録、テレビ北海道（令和 6/9）
- ・「紡ぐプロジェクト 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品 皇居三の丸尚蔵館展（上）【国宝】「動植綵絵 群魚図」伊藤若冲」読売新聞（令和 6/10/10）

<展示>

- ・現代ガラスのオノマトベ 解説執筆
- ・ウィズ・キッズ'24 なぜこのかたちなの？ 展示構成、解説執筆
- ・皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品 展示構成、解説執筆
- ・ウィズ・キッズ'24 みる・ふれる・つたえる さいきょうのざいりょう 展示構成、解説執筆

<教育支援>

- ・博物館実習（事業担当）
- ・北海道リモート・ミュージアム「越境者パスキン」（令和 6/5/30）
- ・ワークショップ「デコデコのうつわを作ろう」（令和 6/8/3 アートギャラリー北海道～みんなのアートプロジェクト 夏休みワークショップ 2024）
- ・ワークショップ「「なぜこのかたちなの？」学芸員といっしょに、作品にふれてみよう！」（令和 6/8/3, 10 ウィズ・キッズ'24 なぜこのかたちなの？）

＜調査活動＞

- ・山口蓬春作家作品調査
- ・現代作家調査（札幌）

○大石智子（臨時学芸員）

[担当分野（コレクション）]

- ・日本画
- ・ガラス工芸
- ・陶磁・染織

[担当展覧会]

- ・国宝「鳥獣戯画」北海道初公開 京都 高山寺展 一明恵上人と文化財の伝承
- ・変貌する 20 世紀ヨーロッパ・ガラス プロダクトへ、アートへ（近美コレクション）

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代日本美術
- ・ガラス工芸
- ・美術作品の情報管理

[研究成果・発表活動]

＜展示＞

- ・国宝「鳥獣戯画」北海道初公開 京都 高山寺展 一明恵上人と文化財の伝承 解説執筆
- ・変貌する 20 世紀ヨーロッパ・ガラス プロダクトへ、アートへ 展示構成・解説執筆

○河本真夕（学芸員）

[担当分野（コレクション）]

- ・油彩
- ・版画
- ・彫刻
- ・エコール・ド・パリ

[担当展覧会]

- ・ウィズ・キッズ'24 なぜこのかたちなの？（近美コレクション）
- ・ウィズ・キッズ'24 みる・ふれる・つたえる さいきょうのざいりょう（近美コレクション）
- ・mima-no-me #みまのめ VOL.10（北海道立三好好太郎美術館）
- ・星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido
- ・リーヴル・ダルティスト—芸術になった本 ルオー、ダヴィッド、マティス、シャガール（近美コレクション）

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、学校連携
- ・博物館学、美術館学

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・北海道の美術
- ・ルネサンス以降の西洋美術（スペイン）
- ・近代日本のキリスト教美術
- ・エコール・ド・パリ
- ・ナバレーテ・エル・ムード

[研究成果・発表活動]

＜講演・講座・トーク等＞

- ・[講話]「パスキンの《放蕩息子》をよむ」（令和 6/5/19 近美コレクション・ミュージアム・トーク）
- ・[講座]「ミケランジェロとそのライバルたち VS. レオナルド・ラファエロ・ティツィアーノ」（令和 6/5/23 北海道美術館 協力会美術講座 2024）
- ・[講話]「さいきょうのざいりょう—光を使った美術表現」（令和 6/10/20 近美コレクション・ミュージアム・トーク）

- ・[講話]「アーティスト・トーク 秋元さなえ・清水芹春」(令和 7/1/11, 2/15 mima-no-me #みまのめ VOL.10 展関連事業)
- ・[講話]Talk & Talk☆キュレーター・サンデー(令和 7/1/12 星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido)
- ・[講話]「「芸術家の本」と20世紀美術の巨匠たち」(令和 7/3/30 近美コレクション・ミュージアム・トーク)

<執筆・発表>

- ・発表「ナバレーテ・エル・ムードとヴェネツィア派再考―「スペインのティツィアーノ」としての画家像の形成をめぐって」美術史学会西支部例会、大阪公立大学(令和 6/11/16)
- ・「秋元さなえ」「清水芹春」『mima-no-me #みまのめ VOL.10』展リーフレット、北海道立三岸好太郎美術館(令和 6/12)
- ・「洋画家・青山熊治の北海道虻田村滞在と《アイヌ》」『星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido』展図録、中西出版(令和 7/1/31)
- ・論文「パスキン《放蕩息子》(1922年、北海道立近代美術館蔵)の制作背景をめぐる考察―画業における位置づけと1920年代後半の「娼館への帰還」主題への転換―」『北海道立美術館・芸術館紀要』第34号(令和 7/3/7)

<展示>

- ・ウィズ・キッズ'24 なぜこのかたちなの? 展示構成、解説執筆
- ・ウィズ・キッズ'24 みる・ふれる・つたえる さいきょうのざいりょう 展示構成、解説執筆
- ・mima-no-me #みまのめ VOL.10 作家選定、展示構成、解説執筆
- ・星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido 解説執筆
- ・リーヴル・ダルティスト―芸術になった本 ルオー、ダヴィッド、マティス、シャガール 展示構成、解説執筆

<教育支援>

- ・ワークショップ「デコデコのうつわを作ろう」(令和 6/8/3 アートギャラリー北海道～みんなのアートプロジェクト 夏休みワークショップ 2024)
- ・ワークショップ「「なぜこのかたちなの?」学芸員といっしょに、作品にふれてみよう!」(令和 6/8/3, 10)
- ・オンラインアート教室「チカチカ? ゆらゆら? 目の錯覚を生むアート」(令和 6/10/23 平取町立平取小学校)
- ・近代美術館・三岸好太郎美術館・知事公館をめぐる「ポケット学芸員」による電子ガイド(令和 6/10/27 公開)
- ・キッズ・ツアー「みよう! ふれよう! つたえよう!」(令和 6/12/1)

<調査活動>

- ・#みまのめ出品候補作家調査(札幌)
- ・パスキン《放蕩息子》関連資料調査

○久米淳之(上席専門員)

[担当分野(コレクション)]

- ・彫刻
- ・現代美術
- ・映像・写真

[担当展覧会]

- ・片岡球子「面構シリーズ」(近美コレクション)
- ・新収蔵品展(近美コレクション)
- ・皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品
- ・リーヴル・ダルティスト―芸術になった本 ルオー、ダヴィッド、マティス、シャガール(近美コレクション)

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネジメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代美術
- ・彫刻
- ・北海道の美術
- ・安田侃(作家作品研究)
- ・北海道の彫刻庭園調査

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講話]「戦後北海道の断章―掛川源一郎のまなざし」(令和 6/6/9 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
- ・[講座]見どころ解説(令和 6/9/28, 10/26 皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品)
- ・[講話]英語ツアー(令和 6/10/16 皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品)
- ・[講話]Talk & Talk☆キュレーター・サンデー(令和 7/1/19 星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido)

<執筆・発表>

- ・第三章解説、作品解説『皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品』図録、テレビ北海道（令和 6/9）
- ・「紡ぐプロジェクト 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品 皇居三の丸尚蔵館展（下）」『耀く大八洲』横山大観 読売新聞（令和 6/10/20）
- ・「彫刻への衝動 小寺真知子」『星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido』展図録、中西出版（令和 7/1/31）

＜展示＞

- ・片岡球子「面構シリーズ」展示構成、解説執筆
- ・新収蔵品展 展示構成、解説執筆
- ・皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 展示構成、解説執筆
- ・星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido 解説執筆
- ・リーヴル・ダルティストー芸術になった本 ルオー、ダヴィッド、マティス、シャガール 解説執筆

＜教育支援＞

- ・オンラインアート教室 「なんのかたち？ かたい？ 柔らかい？ 抽象彫刻の世界」（令和 6/8/23 豊富町立豊富中学校）
- ・近代美術館・三岸好太郎美術館・知事公館をめぐる「ポケット学芸員」による電子ガイド（令和 6/10/27 公開）

＜調査活動＞

- ・掛川源一郎資料調査
- ・小寺真知子作品調査
- ・後藤和子作品調査
- ・洞爺湖芸術館コレクション調査
- ・イワタルリ作品調査

＜社会貢献活動＞

- ・一般財団法人安田侃財団理事
- ・洞爺湖芸術館あり方検討委員会オブザーバー
- ・第 36 回有島武郎青少年公募絵画展審査員（令和 6/10/17, 18）
- ・2025 さっぽろ雪まつりスノーオブジェコンテスト審査員（令和 7/2/4）

○志賀万有美（臨時学芸員）

[担当分野（コレクション）]

- ・油彩
- ・ガラス工芸
- ・浮世絵

[担当展覧会]

- ・浮世絵のヒロインたち 組物・続き絵から生まれるストーリー（近美コレクション）
- ・巴里のかほり アール・デコのガラス（近美コレクション）

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学、美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・仏教絵画史
- ・安野光雅
- ・北海道の美術

[研究成果・発表活動]

＜講演・講座・トーク等＞

- ・[講話]「《江戸名所百人美女》を読み解く」（令和 6/8/11 近美コレクション・ミュージアム・トーク）

＜展示＞

- ・浮世絵のヒロインたち 組物・続き絵から生まれるストーリー（Ⅱ期） 展示構成、解説執筆
- ・巴里のかほり アール・デコのガラス 展示構成、解説執筆

＜教育支援＞

- ・オンラインアート教室（事業担当）
- ・ワークショップ「デコデコのうつわを作ろう」（令和 6/8/3 アートギャラリー北海道～みんなのアートプロジェクト 夏休みワークショップ 2024）

○蘭部容子（リサーチ推進課長）

[担当分野（コレクション）]

- ・油彩
- ・ガラス工芸
- ・陶磁・染織
- ・現代美術

[担当展覧会]

- ・越境者パスキン（近美コレクション）
- ・皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品
- ・新収蔵品展（近美コレクション）

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・北海道十勝地方の美術
- ・北海道の現代美術
- ・戦前の道東美術
- ・能勢眞美（作家作品研究）
- ・寺島春雄（作家作品研究）

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講座]「越境者パスキン 東欧からパリ、アメリカ、再びパリ」（令和 6/5/9 北海道美術館協力会美術講座 2024）
- ・[講座]「展覧会の企画運営（三の丸尚蔵館展）」（令和 6/5/15 新任学芸員等専門研修講義）
- ・[講座]「パスキンとは／学芸員という仕事」（令和 6/5/24 北海道高等学校文化連盟石狩支部美術専門部東ブロック大会研修②）
- ・[講話]「パスキン―足跡をたどって」（令和 6/6/16 近美コレクション・ミュージアム・トーク）
- ・[講座]「近代美術館の活動②―コレクションの収集・管理および調査研究とその実際」（令和 6/8/22 博物館実習講義&ワーク）
- ・[講座]見どころ解説（令和 6/10/5, 10/19 皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品）
- ・[講話]英語ツアー（令和 6/10/24 皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品）
- ・[シンポジウム]「十勝のアートシーン」パネリスト（令和 6/11/9 レタラ・スペース「十勝ゆかりのアーティスト 12人」）
- ・[講座]「近代美術館の活動（1）作品の収集・保管（2）調査・研究」（令和 6/11/14 ボランティア共通研修）
- ・[講話]Talk & Talk☆キュレーター・サンデー（令和 7/1/12 星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido）

<執筆・発表>

- ・「【花束をもつ少女】ジュル・パスキン」『第 661 回札幌交響楽団定期演奏会プログラム』（札幌交響楽団 令和 6/5/25, 5/26）
- ・第二章解説、作品解説『皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品』図録、テレビ北海道（令和 6/9）
- ・「紡ぐプロジェクト 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品 皇居三の丸尚蔵館展（中）「犬張り子型ボンボンニエール」」読売新聞（令和 6/10/12）
- ・「上野山清貢 南の島に何を求めたのか」『星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido』展図録、中西出版（令和 7/1/31）

<展示>

- ・皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品 展示構成、解説執筆
- ・星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido 解説執筆
- ・新収蔵品展 展示構成、解説執筆

<教育支援>

- ・北海道リモート・ミュージアム「越境者パスキン」（令和 6/5/30）
- ・近代美術館・三岸好太郎美術館・知事公館をめぐる「ポケット学芸員」による電子ガイド（令和 6/10/27 公開）

<調査活動>

- ・上野山清貢作家作品調査
- ・イワタルリ作家作品調査

<社会貢献活動>

- ・札幌市 500m 美術館専門委員会委員

○土岐美由紀（企画推進課調整幹 兼 主任学芸員）

[担当分野（コレクション）]

- ・日本画
- ・デザイン
- ・浮世絵
- ・三岸好太郎

[担当展覧会]

- ・国宝「鳥獣戯画」北海道初公開 京都 高山寺展—明恵上人と文化財の伝承
- ・mima-no-me #みまのめ VOL.10（北海道立三岸好太郎美術館）

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学、美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・北海道の美術
- ・近現代日本画
- ・片岡球子、岩橋英遠、福井爽人

<講演・講座・トーク等>

- ・[講話]「片岡球子「面構 一休さま」(令和 6/4/21 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
- ・[講座]「作品の取扱—借用・輸送—」(令和 6/5/15 新任学芸員等専門研修)
- ・[講座]「岩橋英遠—眼差しの軌跡」(令和 6/11/2 北海道釧路芸術館「自然へのまなざし 天と地と」プレミアム・トーク)
- ・[講座]「二次資料について」(令和 6/5/15 ボランティア資料部専門研修)
- ・[講座]「近代美術館の活動⑤—ボランティアの活動」(令和 6/8/22 博物館実習講義)
- ・[講座]「解説とは」「アートレファレンスサービス ARS とは」(令和 6/10/3 令和 6 年度ボランティア解説部専門研修／部内研修)
- ・[講座]「二次資料の活用」(令和 6/10/9 ボランティア資料部専門研修／部内研修)
- ・[講話]Talk & Talk☆キュレーター・サンデー(令和 7/1/12 星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido)

<執筆・発表>

- ・「川村正寿」「佐藤寧音」『mima-no-me #みまのめ VOL.10』展リーフレット、北海道立三岸好太郎美術館（令和6/12）
- ・「筆谷等観—小樽から近代日本画創造の本拠地に飛び込んだ道産子」『星の瞬間』展図録、中西出版（令和 7/1/31）

<展示>

- ・国宝「鳥獣戯画」北海道初公開 京都 高山寺展—明恵上人と文化財の伝承 展示構成
- ・mima-no-me #みまのめ VOL.10 展示構成、解説執筆
- ・星の瞬間—アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido 解説執筆

<教育支援>

- ・近代美術館・三岸好太郎美術館・知事公館をめぐる「ポケット学芸員」による電子ガイド（令和 6/10/27 公開）

<調査活動>

- ・古美術取扱に関する調査
- ・高山寺、相国寺所蔵作品調査
- ・筆谷等観画業調査
- ・北海道の現代作家調査

<社会貢献活動>

- ・北海道教育大学岩見沢校非常勤講師／博物館学

○中村聖司（学芸副館長）

[担当分野（コレクション）]

- ・版画
- ・デザイン
- ・エコール・ド・パリ

[担当展覧会]

- ・星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido
- ・青木美歌《未生命の遊槽》(近美コレクション)

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学的視点からの当館リニューアル検討

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代美術
- ・北海道の美術
- ・博物館学

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講座]「美術館の沿革・活動・運営など」(令和 6/5/15 新任学芸員研修)
- ・[講話]「戦後北海道の断章― 掛川源一郎のまなざし」(令和 6/5/26 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
- ・[講座]「クリムト、マーラー、そして…。―《ベートーヴェン・フリーズ》とその背景」(令和 6/5/30 北海道美術館協力会美術講座 2024)
- ・[講座]「近代美術館のこれまでとこれから」(令和 6/8/21 博物館実習)
- ・[講座]「近代美術館のこれまでとこれから」(令和 6/9/19 北海道美術館協力会研修部共通研修)
- ・[講座]「Think School ジュニア: 展覧会は「知りたい」「調べたい」「伝えたい」から生まれてくる」(令和 7/2/26 赤れんがテラス 5F 眺望ギャラリーテラス)
- ・[講話]Talk & Talk☆キュレーター・サンデー (令和 7/1/19 星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido)

<執筆・発表>

- ・「序文」「イモンパウクの盆: どこから来たのか、何者か、どこへ行くのか」『星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido』展図録、中西出版 (令和 7/1/31)
- ・『第 667 回札幌交響楽団定期演奏会プログラム』掲載「青木美歌《未生命の遊槽》」(令和 7/2/22)

<展示>

- ・星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido 企画、解説文等執筆
- ・青木美歌《未生命の遊槽》 展示構成、解説文等執筆

<教育支援>

- ・北海道リモート・ミュージアム「星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido」(令和 7/3/13)

<調査活動>

- ・イモンパウクに関する調査
- ・青木美歌作品、難波田龍起のスケッチブックに関する調査

<社会貢献活動>

- ・札幌大谷大学・大谷短期大学非常勤講師(北海道の美術)
- ・札幌芸術の森事業部美術館専門委員会委員
- ・札幌芸術の森の魅力向上に向けた在り方検討委員会委員
- ・北海道立釧路芸術館運営協議会委員
- ・神田日勝記念美術館運営協議会委員
- ・北海道博物館協会副会長
- ・道央地区博物館等連絡協議会監事
- ・北海道美術館学芸員研究協議会副会長

○野田佳奈子(主任学芸員)

[担当分野(コレクション)]

- ・油彩
- ・版画
- ・デザイン
- ・エコール・ド・パリ

[担当展覧会]

- ・アートギャラリー北海道 港の今昔 苫小牧市美術博物館コレクションから
- ・この1点を見てほしい。荻須高德《薪炭屋》(近美コレクション)
- ・星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・北海道の美術
- ・美術館における鑑賞教育
- ・栗谷川健一(作家作品研究)

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講話]「ユトリロの描いた街並み」(令和 6/4/28、5/12 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
- ・[講座]「黒田清輝と近代洋画のあゆみ」(令和 6/6/6 北海道美術館協力会美術講座 2024)
- ・[講話]「アートギャラリー北海道 港の今昔展」(令和 6/9/15 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
- ・[講話]「荻須高德《薪炭屋》をめぐる」(令和 6/10/13 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
- ・[講話]Talk & Talk☆キュレーター・サンデー (令和 7/1/19 星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido)

＜執筆・発表＞

- ・[執筆] 作品解説「この1点を見てほしい。荻須高德《薪炭屋》」
- ・[執筆]「《家路》からたどる栗谷川健一のポスター制作プロセス」『星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido』展図録、中西出版 (令和 7/1/31)

＜展示＞

- ・アートギャラリー北海道 港の今昔 苫小牧市美術博物館コレクションから 展示構成、解説執筆
- ・この1点を見てほしい。荻須高德《薪炭屋》 解説執筆
- ・星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido 展示構成、解説執筆

＜教育支援＞

- ・オンラインアート教室「チカチカ？ゆらゆら？目の錯覚を生むアート」(令和 6/9/26 北海道余市養護学校しりべし学園分校)
- ・近代美術館・三岸好太郎美術館・知事公館をめぐる「ポケット学芸員」による電子ガイド (令和 6/10/27 公開)

＜調査活動＞

- ・荻須高德作家作品調査
- ・栗谷川健一作家作品調査

○星野靖隆 (学芸員)

[担当分野 (コレクション)]

- ・日本画
- ・油彩
- ・ガラス工芸
- ・浮世絵

[担当展覧会]

- ・この1点を見てほしい。山口蓬春《向日葵》(近美コレクション)
- ・国宝「鳥獣戯画」北海道初公開 京都 高山寺展一明恵上人と文化財の伝承
- ・温かいガラスへ 岩田藤七の軌跡 (近美コレクション)
- ・ウィズ・キッズ'25 めでたいな！幸せねがう日本の絵 (近美コレクション)

[教育支援・美術館学]

- ・博物館学、博物館経営論
- ・博物館教育、鑑賞教育
- ・道内の小中高等学校との連携

[地域文化の振興]

- ・ガラス工芸を中心とする北海道の美術の現況調査

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代日本画
- ・北海道の美術
- ・ガラス工芸
- ・博物館経営論

[研究成果・発表活動]

＜講演・講座・トーク等＞

- ・[講話]『「この1点を見てほしい。」補遺～山口蓬春と中国の古画」(令和 6/5/5 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
- ・[講座]「国宝「鳥獣戯画」北海道初公開 京都 高山寺展一明恵上人と文化財の伝承」見どころ解説 (令和 6/8/4、8/25)
- ・[講座]「上村松園 近代日本画を彩る女性像」(令和 6/8/29 北海道美術館協力会美術講座 2024)
- ・[講話]「担当学芸員が語る！北海道初公開・国宝「鳥獣戯画」と「京都 高山寺展」(令和 6/8/8 特別展「京都 高山寺展」関連オンラインイベント)
- ・[講話]「岩田藤七―美と創造のエッセンス」(令和 6/11/17 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
- ・[講話]Talk & Talk☆キュレーター・サンデー (令和 7/1/12 星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido)

＜執筆・発表＞

- ・作品解説『国宝「鳥獣戯画」北海道初公開 京都 高山寺展一明恵上人と文化財の伝承』展図録、北海道新聞社 (令和 6/7/9)
- ・「片岡球子の『面構』―その構造を分析する一試論」『星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido』展図録、中西出版 (令和 7/1/31)

- ・論文「院政期絵巻に見られる相撲の描写をめぐって—『鳥獣人物戯画』甲巻と『保元相撲図』』『原本が現存しない院政期絵

巻の諸作品に関する基礎的研究』科学研究費報告論集、編集・発行 研究代表者 苫名悠（仏教大学歴史学部）（令和 7/3）

＜展示＞

- ・この1点を見てほしい。山口蓬春《向日葵》 解説執筆
- ・国宝『鳥獣戯画』北海道初公開 京都 高山寺展—明恵上人と文化財の伝承 展示、解説執筆
- ・温かいガラスへ 岩田藤七の軌跡 展示構成、解説執筆
- ・星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido 解説執筆
- ・ウィズ・キッズ'24 めでたいな！幸せねがう日本の絵 展示構成、解説執筆

＜教育支援＞

- ・博物館実習（事業総括）
- ・オンラインアート教室事業総括および「動物のもふもふ」（令和 7/1/29 えりも町立庶野小学校）

＜調査活動＞

- ・科学研究費助成事業「原本が現存しない院政期絵巻の諸作品に関する基礎的研究」参加協力（研究代表者：仏教大学歴史学部講師・苫名悠）

○光岡幸治（上席専門員）

[担当分野（コレクション）]

- ・油彩
- ・版画
- ・浮世絵
- ・映像・写真
- ・三岸好太郎

[担当展覧会]

- ・「琳派×アニメ」展 尾形光琳、神坂雪佳から鉄腕アトム、リラックマ、初音ミクまで（貸館）
- ・浮世絵のヒロインたち 組物・続き絵から生まれるストーリー（近美コレクション）
- ・北海道書道連盟創立 70 周年記念展（貸館）

[教育支援・美術館学]

- ・博物館教育、鑑賞教育
- ・博物館学、美術館学、アート・マネジメント
- ・道内の小中高等学校との連携

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代美術
- ・挿絵
- ・浮世絵

[研究成果・発表活動]

＜講演・講座・トーク等＞

- ・[講話]「藤田嗣治—第二次大戦下とその前後の制作について」（令和 6/4/7 近美コレクション・ミュージアム・トーク）
- ・[講話]「歌川国貞—「組物」と「続き絵」を読み解く」（令和 6/7/14 近美コレクション・ミュージアム・トーク）
- ・[講話]「歌川国芳・溪斎英泉—「組物」と「続き絵」を読み解く」（令和 6/9/22 近美コレクション・ミュージアム・トーク）
- ・[講話]Talk & Talk☆キュレーター・サンデー（令和 7/1/12 星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido）

＜執筆・発表＞

- ・[執筆] 作品解説「【浄瑠璃づくし おしゅん伝兵衛 堀川の段】 歌川国貞『札幌交響楽団定期演奏会』（第 663 回）パンフレット（令和 6/9/14, 9/15）
- ・[執筆] 作品解説「歌川国貞《星の霜》」『アルテピア』第 85 号、北海道美術館協力会（令和 6/10）
- ・[執筆]「小川原脩—シュルレアリスムの時代」『星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido』展図録、中西出版（令和 7/1/31）

＜展示＞

- ・浮世絵のヒロインたち 組物・続き絵から生まれるストーリー（Ⅰ、Ⅲ期） 展示構成、解説執筆
- ・星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido 解説執筆

＜教育支援＞

- ・近代美術館・三岸好太郎美術館・知事公館をめぐる「ポケット学芸員」による電子ガイド（令和 6/10/27 公開）

＜調査活動＞

- ・小川原脩作品調査

○村山史歩（学芸部長）

〔担当分野（コレクション）〕

- ・日本画
- ・デザイン
- ・ガラス工芸
- ・浮世絵

〔担当展覧会〕

- ・アートギャラリー北海道 港の今昔 苫小牧市美術博物館コレクションから
- ・変貌する 20 世紀ヨーロッパ・ガラス プロダクトへ、アートへ（近美コレクション）

〔教育支援・美術館学〕

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネジメント

〔地域文化の振興〕

- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

〔重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等〕

- ・日本の近現代ガラス
- ・北海道の美術
- ・博物館学、アート・マネジメント

〔研究成果・発表活動〕

＜講演・講座・トーク等＞

- ・〔講座〕「組織人として、学芸員として大切にすべきこと」（令和 6/5/15 新任学芸員研修）
- ・〔講座〕「近代美術館の活動（1）展覧会の企画と運営」（令和 6/8/21 博物館実習）
- ・〔講座〕「近代美術館の活動（3）展覧会の企画と運営」（令和 7/1/23 北海道美術館協力会研修部共通研修）

＜執筆・発表＞

- ・「北海道美術史のアーカイブー北海道立近代美術館の掛川源一郎の写真と資料について」『北海道博物館協会 NEWSNo.135』（北海道博物館協会 令和 6/9）

＜展示＞

- ・変貌する 20 世紀ヨーロッパ・ガラス プロダクトへ、アートへ 解説執筆

＜調査活動＞

- ・令和 6 年度購入作品・作家に関する調査

＜社会貢献活動＞

- ・札幌芸術の森美術館作品選定委員会委員
- ・市立小樽美術館協議会委員、資料収蔵委員会委員
- ・北海道学芸員研究協議会幹事長

○村山美波（学芸員）

〔担当分野（コレクション）〕

- ・油彩
- ・版画
- ・ネイティブ・アート
- ・陶磁・染織
- ・現代美術

〔担当展覧会〕

- ・ウィズ・キッズ'24 なぜこのかたちなの？（近美コレクション）
- ・ウィズ・キッズ'24 みる・ふれる・つたえる さいきょうのざいりょう（近美コレクション）
- ・星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido

〔地域文化の振興〕

- ・学校機関との連携・相互協力

〔重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等〕

- ・スペイン（カタルーニャ）近現代美術
- ・日本近現代美術とスペイン美術の関係性
- ・北海道の美術
- ・博物館における社会包摂・アクセシビリティ

〔研究成果・発表活動〕

＜講演・講座・トーク等＞

- ・〔講話〕「福田美蘭 絵画のふしぎ」（令和 6/6/2 近美コレクション・ミュージアム・トーク）
- ・〔講座〕「アントニ・ガウディとバルセロナ」（令和 6/6/13 北海道美術館協力会美術講座 2024）

- ・[講話]「染める・編む・織る一条を使った作品の魅力」(令和 6/11/10, 24 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
- ・[講座]「ウィズ・キッズ'24 みる・ふれる・つたえる さいきょうのざいりょう」オリエンテーション(令和 6/10/17 北海道芸術高等学校 札幌サテライトキャンパス)
- ・[講話]キッズ・ツアー「みよう！ふれよう！つたえよう！」(令和 6/10/27, 11/3, 12/1)
- ・[講話]Talk & Talk☆キュレーター・サンデー(令和 7/1/12 星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido)

<執筆・発表>

- ・「ひととともに、ひとを思うものづくりを。藤戸康平のあゆみと《Singing of the Needle》」『星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido』展図録、中西出版(令和 7/1/31)
- ・「ウィズ・キッズ'24 小学校の先生と取り組むアクセシビリティ向上」(令和 7/3/6 北海道美術館学芸員研究協議会)

<展示>

- ・ウィズ・キッズ'24 なぜこのかたちなの？ 展示構成、解説執筆
- ・ウィズ・キッズ'24 みる・ふれる・つたえる さいきょうのざいりょう 展示構成、解説執筆
- ・星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido 展示構成、解説執筆

<教育支援>

- ・ワークショップ「デコデコのうつわを作ろう」(令和 6/8/3 アートギャラリー北海道～みんなのアートプロジェクト 夏休みワークショップ 2024)
- ・ワークショップ「「なぜこのかたちなの？」学芸員といっしょに、作品にふれてみよう！」(令和 6/8/3, 10 ウィズ・キッズ'24 なぜこのかたちなの？)
- ・キッズ・ツアー「みよう！ふれよう！つたえよう！」(令和 6/10/27, 11/3, 12/1 ウィズ・キッズ'24 みる・ふれる・つたえる さいきょうのざいりょう)
- ・オンラインアート教室「なんのかたち？かたい？やわらかい？抽象彫刻の世界」(令和 7/1/22 北海道札幌聾学校)
- ・北海道リモート・ミュージアム「星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido」(令和 7/3/13)

<調査活動>

- ・中村木美調査
- ・アイヌ・アート調査

〇門間仁史(企画推進課長)

[担当分野(コレクション)]

- ・日本画
- ・ネイティブ・アート
- ・現代美術
- ・映像・写真

[担当展覧会]

- ・国宝「鳥獣戯画」北海道初公開 京都 高山寺展—明恵上人と文化財の伝承
- ・リーヴル・ダルティスト—芸術になった本 ルオー、ダヴィッド、マティス、シャガール(近美コレクション)

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・オンラインによる鑑賞授業にかかる検討
- ・美術館の広報・情報発信の最適化にかかる検討

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・日本画
- ・戦後の美術雑誌、美術批評
- ・旭川美術
- ・現代美術

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講座]「当館の教育普及事業について」(令和 6/5/15 新任学芸員研修)
- ・[講座]「100 倍楽しむ 京都 高山寺展」(令和 6/7/19 道新文化講座)
- ・[講座]「国宝『鳥獣戯画』と高山寺」(令和 6/8/8 北海道美術館協力会美術講座 2024)
- ・[講座]見どころ解説(令和 6/8/12, 17, 9/1 京都 高山寺展)
- ・[講座]「近代美術館の活動(1) 展覧会の企画と運営」(令和 6/8/21 博物館実習)
- ・[講座]「近代美術館の活動④—教育普及活動の概要とその実際」(令和 6/8/22 博物館実習講義&ワーク)
- ・[講座]「京都 高山寺展を終えて」(令和 6/10/12 余白の会オリエンテーション)
- ・[講話]Talk & Talk☆キュレーター・サンデー(令和 7/1/19 星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、

Hokkaido)

- ・[講話]「近代美術館の活動(4) 教育普及」(令和 7/2/13 北海道美術館協力会ボランティア研修部共通研修)

<執筆・発表>

- ・「未完の経蔵—新出の近現代史料をめぐって」、章解説、作品解説『国宝「鳥獣戯画」北海道初公開 京都 高山寺展—明恵上人と文化財の伝承』展図録、北海道新聞社(令和 6/7/9)
- ・「木路毛五郎—『疎外された人間』と美術運動」『星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido』展図録、中西出版(令和 7/1/31)

<展示>

- ・国宝「鳥獣戯画」北海道初公開 京都 高山寺展—明恵上人と文化財の伝承 展示構成、解説執筆
- ・星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido 解説執筆
- ・リーヴル・ダルティスト—芸術になった本 ルオー、ダヴィッド、マティス、シャガール 解説執筆

<教育支援>

- ・「作品鑑賞を深めるために」令和 6 年度道立近代美術館活用学習のための指導者研修(令和 6/8/1、令和 7/1/9)
- ・近代美術館・三岸好太郎美術館・知事公館をめぐる「ポケット学芸員」による電子ガイド(令和 6/10/27 公開)
- ・オンラインアート教室「なんのかたち?かたい?やわらかい?抽象彫刻の世界」(令和 7/1/21 北海道札幌稲穂高等支援学校、北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校)
- ・北海道リモート・ミュージアム「星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido」(令和 7/3/13)

<調査活動>

- ・高山寺典籍文書総合調査団調査外部参加(京都・高山寺)
- ・木路毛五郎の美術運動についての調査(釧路市立美術館)

<社会貢献活動>

- ・北海道芸術学会委員
- ・公益財団法人道銀文化財団 「道銀芸術文化奨励賞」選考委員

2-E 地域との協力事業

①解説活動

事業名等	タイトル・内容等	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
ギャラリー・ツアー	〈近美コレクション〉において、北海道美術館協力会ボランティア解説部によるギャラリー・ツアー（展示解説）を行う。火～土曜日3回の定時実施に加え、希望する団体には時間調整のうえ適宜実施した。	日曜・祝日を除く毎日（各回約30分） 火～土曜日（1日3回） 11:30～、13:00～、14:00～	展示室A	北海道美術館協力会ボランティア解説部	2,319	個人利用 1940名、458回 団体利用 379名、31回
ARS（アート・レファレンス・サービス）	図書閲覧コーナー、映像ライブラリー、質問コーナーからなるARS（アート・レファレンス・サービス）を設置し、美術情報の閲覧来館者からの質問に対応した。	開館日・開館時間中 （質問コーナーは、日曜・祝日を除く毎日：10:30～15:00）	ARSコーナー	質問コーナー対応：北海道美術館協力会ボランティア解説部	5,689	質問件数 355件 映像利用 32件

②その他の教育普及事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
ミュージアム・コンサート	星の瞬間展 道銀文化財団Art Ensemble#22 音降りそそぐ夜に～3種のオーボエとマリンバで～	3月1日(土) 18:30～19:10	ホール	オーボエ：太田駿祐 マリンバ：橋本涼平	112	
	星の瞬間展 道銀文化財団Art Ensemble#23 春の彩り～クラリネット、ファゴット、ピアノの音色にのせて～ 出演：朝倉愛（クラリネット）&清水彩会（ファゴット）&永井花帆（ピアノ）	3月8日(土) 18:30～19:10	ホール	クラリネット：朝倉愛 ファゴット：清水彩会 ピアノ：永井花帆	114	

③一般社団法人 北海道美術館協力会との連携・協力事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
美術講座2024 「日本・西洋の美術家シリーズ」	美術に関する基礎知識を学ぶ連続講座（全10回）に協力し、講師を派遣した。	①5月9日(木) 10:00～11:30 ②5月16日(木) 10:00～11:30 ③5月23日(木) 10:00～11:30 ④5月30日(木) 10:00～11:30 ⑤6月6日(木) 10:00～11:30 ⑥6月13日(木) 10:00～11:30 ⑦8月1日(木) 10:00～11:30 ⑧8月8日(木) 10:00～11:30 ⑨8月22日(木) 10:00～11:30 ⑩8月29日(木) 10:00～11:30	講堂	実施：北海道美術館協力会ボランティア研修部 講師： ①ガイダンス 越境者パスキン／菌部容子(当館リサーチ推進課長) ②三岸好太郎／井内佳津恵(三岸好太郎美術館上席専門員) ③ミケランジェロとそのライバルたち／河本真夕(当館学芸員) ④クリムト、マラー、そして…。／中村聖司(当館学芸副館長) ⑤黒田清輝と近代洋画のあゆみ／野田佳奈子(当館主任学芸員) ⑥アントニ・ガウディとバルセロナ／村山美波(当館学芸員) ⑦モンマルトルのダンス・ホール／柴勤(前小川原脩記念美術館館長) ⑧国宝「鳥獣戯画」と高山寺／門間仁史(当館企画推進課長) ⑨竹内栖鳳と動物画／飯田花織(当館学芸員) ⑩上村松園／星野靖隆(当館学芸員)	961	①90 ②87 ③105 ④101 ⑤97 ⑥107 ⑦91 ⑧92 ⑨87 ⑩104
美術講座プレミアム	美術に関する専門的・個別的知識を学ぶ連続講座（全5回）に協力した。	①10月3日(木) 10:00～11:30 ②10月10日(木) 10:00～11:30 ③10月17日(木) 10:00～11:30 ④10月24日(木) 10:00～11:30 ⑤10月31日(木) 10:00～11:30	講堂	実施：北海道美術館協力会ボランティア研修部 講師： ①グッズから楽しむミュージアム／大澤夏美(ミュージアムグッズ愛好家／北海道大学大学院文学博士後期課程) ②この世界とわたしを巡る旅／鈴木涼子(美術家) ③伊藤若冲と『動植綵絵』／苫名真(市立小樽美術館長) ④北海道の木彫り熊／田村実咲(国立アイヌ民族博物館アソシエイトフェロー) ⑤お静かに！から考える一声と沈黙と鑑賞の話ー／今村信隆(北海道大学大学院文学研究院准教授)	278	①63 ②50 ③57 ④53 ⑤55

美術への誘い	美術館ボランティアが、区民センター・図書館・福祉施設など外部の機関で行う解説活動に協力した。	①5月15日(水) 13:30-15:00 ②6月25日(火) 13:30-15:00 ③6月27日(木) 13:30-15:00 ④7月2日(火) 13:30-15:00 ⑤7月25日(木) 9:30-11:00 ⑥8月9日(金) 10:00-11:30 ⑦8月28日(水) 13:30-15:00 ⑧9月3日(火) 13:30-15:00 ⑨9月10日(火) 13:30-15:00 ⑩9月17日(火) 13:30-15:00 ⑪9月20日(金) 13:30-15:00 ⑫9月27日(金) 13:30-15:00 ⑬10月4日(金) 13:30-15:00 ⑭10月8日(火) 13:30-15:00 ⑮12月3日(火) 13:30-15:00 ⑯12月17日(火) 13:30-15:00	①中央区民センター ②中央図書館 ③藤野地区センター ④介護予防センターまえた ⑤北区民センター北親大学 ⑥中央区民センターいきいき講座 ⑦西区民センター ⑧旭山公園通地区センター〈浮世絵①〉 ⑨北区民センター ⑩旭山公園通地区センター〈浮世絵②〉 ⑪中央区民センター ⑫東区民センター ⑬北老人福祉センター ⑭中央図書館 ⑮旭山公園通地区センター〈名画①〉 ⑯旭山公園通地区センター〈名画②〉	実施：北海道美術館協力会ボランティア特別活動部	327	①18 ②21 ③19 ④21 ⑤42 ⑥35 ⑦11 ⑧14 ⑨22 ⑩13 ⑪19 ⑫38 ⑬15 ⑭17 ⑮12 ⑯10
アート・クラブ／ジュニア・アートクラブ	美術館ボランティアが当館内で行うワークショップ等の教育普及活動「アート・クラブ」「ジュニア・アート・クラブ」に協力した。	①6月8日(土) 10:30-16:30 ②11月2日(土) 10:00-12:30 ③2月15日(土) 10:30-16:30	①ロビー ②前庭／造形室 ③ロビー	実施：北海道美術館協力会ボランティア特別活動部 内容： ①『アート・クラブ2024 Enjoy!アイス棒あーと〜重ねて組み上げて作ってみよう〜』 ②『ジュニア・アート・クラブ2024 金属あれこれ〜みがいてみよう！たいてみよう！』／川上りえ(美術家) ③『アート・クラブ2025 Enjoy!ちらしで3Dアート！』	91	①36 ②17 ③38
特別オリエンテーション	北海道美術館協力会ボランティアに対して、展覧会(特別展、近美コレクション)の概要を担当学芸員が解説した。	①5月21日(火) 10:30-12:00 ②8月9日(金) 13:30-15:00 ③10月18日(金) 10:30-12:00 ④1月22日(水) 10:30-12:00	講堂	実施：北海道美術館協力会ボランティア研修部 講師：各展覧会担当学芸員	246	①76 ②90 ③80
ボランティア養成研修(共通研修)	北海道美術館協力会ボランティアの新人養成研修に講師を派遣した。	①9月5日(木) 10:00-11:30 ②9月19日(木) 10:00-11:30 ③11月14日(木) 10:00-11:30 ④1月23日(木) 10:00-11:30 ⑤2月13日(木) 10:00-11:30	映像室	実施：北海道美術館協力会ボランティア研修部 講師： ①『美術館ボランティアとその学び』木村純(北海道大学高等教育推進機構 名誉教授) ②『近代美術館のこれまでとこれから』中村聖司(当館学芸副館長) ③『(1)作品の収集・保管(2)調査・研究』蘭部容子(当館リサーチ推進課長) ④『近代美術館の活動(3)展覧会の企画と運営』村山史歩(当館学芸部長) ⑤『近代美術館の活動(4)教育普及』門間仁史(当館企画推進課長)	148	①38 ②27 ③26 ④28 ⑤29
ボランティア専門研修	北海道美術館協力会ボランティアの専門研修に講師を派遣した。	①5月15日(水) 10:00-12:00 ②10月3日(木) 10:00-12:00 ③10月9日(水) 10:00-12:00	映像室	実施：北海道美術館協力会ボランティア資料部、解説部 講師：土岐美由紀(当館主任学芸員) ①「二次資料について」 ②「解説とは」「アートレファレンスサービスとは」 ③「二次資料の活用」	76	①26 ②33 ③17

④その他の連携・協力事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
北海道立近代美術館・北海道立図書館連携展示	特別展の会期中に美術館内にて、北海道立図書館の蔵書から展覧会関係の図書を展示し、来館者への閲覧サービスを行った。	①琳派×アニメ展 4月20日(土)～6月2日(日) ②京都高山寺展 7月9日(火)～9月1日(日) ③皇居三の丸尚蔵館展 9月21日(土)～10月27日(日) ④星の瞬間展 1月5日(日)～3月16日(日)	展示室B出口、展示室A出口、ARSコーナー	①道立図書館蔵書30冊 ②道立図書館蔵書26冊 ③道立図書館蔵書30冊 ④道立図書館蔵書30冊		
札幌交響楽団定期演奏会配布用プログラム協力	『札幌交響楽団定期演奏会プログラム』に当館のコレクションから画像を提供し、学芸員が作品紹介を執筆した。	①『第661回札幌交響楽団定期演奏会プログラム』 5月25日(土)、26日(日)発行 ②『第663回札幌交響楽団定期演奏会プログラム』 9月14日(土)、15日(日)発行 ③『第667回札幌交響楽団定期演奏会プログラム』 2月22日(土)、23日(日)発行	札幌コンサートホール kitara	①「本日の表紙【花束を持つ少女】ジュール・パスキン」／蘭部容子(当館リサーチ推進課長) ②「本日の表紙【浄瑠璃づくし おしゅん伝兵衛 堀川の段】歌川国貞」／光岡幸治(当館上席専門員) ③「本日の表紙【未生命の遊槽】青木美歌」／中村聖司(当館学芸副館長)		

北海道岩見沢高等養護学校表現写真部 北海道岩見沢緑陵高等学校写真部 写真展	北海道岩見沢高等養護学校と北海道岩見沢緑陵高等学校の写真部による合同展のため会場および什器を提供した。	1月25日(土)9:30-17:00 1月26日(日)9:30-12:00	映像室	北海道岩見沢高等養護学校表現写真部、北海道岩見沢緑陵高等学校写真部		
札幌アートコミュニケーターズ「おしゃべりアート with SAC」協力	「星の瞬間」展において、札幌アートコミュニケーターズ(SAC)が実施する対話型鑑賞のワークショップに協力した。	2月1日(土) ①10:30-11:00 ②14:30-15:00	展示室A1F 展示室B	札幌アートコミュニケーターズ	24	①14 ②10
星の瞬間展「初心者向けインスタグラムの使い方講座」	「星の瞬間」展においてシンクスクール(一般社団法人PROJECTA主宰)が実施するSNS初学者向けのワークショップに協力した。	2月24日(月祝)15:00~16:30	展示室A1F 展示室B	講師:丸田鞠衣絵(舞台制作者)	5	

⑤貸館事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
「琳派×アニメ」展 尾形光琳、神坂雪佳から鉄腕アトム、リラックマ、初音ミクまで 4月20日(土)～6月2日(日)	ギャラリー・トーク	4月20日(土) 10:00-11:00	展示室B	細見良行(細見美術館館長)	35	
人形劇	「トランク機械シアターねじまきロボットアルファーの人形劇 あべこべせかいから、だっしゅつだ!」	5月6日(月祝) 13:30-14:20	講堂	出演:縣梨恵、後藤カツキ、立川佳吾	50	
令和6年度 北海道高等学校文化連盟 石狩支部美術専門部 東ブロック大会	高文連研修	5月24日(金) 10:00-15:00	講堂	研修①船井勇佑(恵庭北高校卒業生 現大谷大学3年) 研修②蘭部容子(当館リサーチ推進課長)	254	
第26回北海道韓国語弁論大会	韓国語・観光文化に関する弁論大会	11月9日(土) 13:30-16:30	講堂	主催:札幌韓国教育院	92	
第44回北海道建築作品発表会	学会の発表会	11月23日(土) 12:00-16:30	講堂	主催:一般社団法人 日本建築学会北海道支部	194	
北海道書道連盟創立70周年記念展 12月5日(木)～12月15日(日)	講演会	①12月5日(木) 10:30-11:30 ②12月7日(土) 10:30-11:30 ③12月7日(土) 13:30-14:30 ④12月8日(日) 10:30-11:30 ⑤12月8日(日) 13:30-14:30 ⑥12月14日(土) 10:30-11:30 ⑦12月14日(土) 13:30-14:30 ⑧12月15日(日) 10:30-11:30 ⑨12月15日(日) 13:30-14:30	講堂	講師: ①阿部典英(美術家) ②押上万希子 ③加藤正叙 ④須田廣充 ⑤室井玄聿(創玄書道会会長) ⑥石原北陽 ⑦佐藤翔雲 ⑧菅原京子 ⑨岡田大岬	765	①83 ②70 ③51 ④70 ⑤198 ⑥80 ⑦72 ⑧90 ⑨51

【基本的運営方針】

5つの収集方針に基づいて、優れた作品を計画的に収集し、系統的で個性的なコレクションを形成します。併せて関連資料の整備を進めます。また、IPM(総合的有害生物管理)の進展や当館施設設備の特色と老朽化をふまえながら、保存環境を整備するとともに、作品の修復を計画的に行うなどしながら、作品を適切に保管します。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画〔PLAN〕	事業実施状況〔DO〕
優れたコレクションの形成	●美術に関する調査研究と収集方針に基づいて、美術史の視点からコレクションの欠けた部分や手薄な部分を洗い出し、それらをリストアップした収集計画を更新する。 ●リストアップされた作品の入手可能性に関する情報を収集し、購入や受贈により計画を実現する。	●R6年度収集作家作品候補一覧を集約し、学芸会議へ提出した。本リストを今後、加除しながら収集計画の基礎資料とする。 ●第四期北海道立美術館作品収蔵計画の中間評価を行い、過去5年間の収集を振り返るとともに今後の課題を明確化した。 ●購入では、収蔵作品選定評価協議会での承認を得て、日本現代の「ガラス工芸」3点を収蔵することができた。 ●受贈では、美術作品選定会議での承認を得て、収集方針のうち「北海道の美術」に含まれる油彩5点、彫刻3点、「現代の美術」に含まれる工芸2点を収蔵した。
所蔵作品の適切な保管	●IPM（総合的有害生物管理）の進展に学びながら、ひと月に1回程度の収蔵庫内清掃や虫トラップの設置・観察・分析等を通して、適切な展示・保存環境を保持する。 ●保存と活用のために修復が必要な作品のリストを更新し、計画的に修復を進める。 ●増加する図書や資料類の収納スペースを確保するため、図書や映像資料、過去の展覧会資料等の整理とデジタル化に努める。 ●所蔵品データベースの確認作業を行い、データの精度を高める。 ●二次資料の幅広い活用と公開を目的とするアーカイブ（記録・資料保管システム）のあり方について研究する。	●IPMを適切に実施するため、通年で捕虫・監視を行うとともに、文化財害虫を減らすため収蔵庫等を毎月1回清掃した。その結果、害虫の早期発見と対応策の検討が可能となり、前年度よりも年間の捕虫数はわずかに減少した。 ●修復では、野外彫刻2点、ガラス作品1点の修復を実施した。 ●図書資料増加に伴う収納場所の確保のため、重複資料を処分した。 ●R6年度までの所蔵品データベースの登録を完了した。 ●紙資料及びビデオテープのデジタル化に着手し、すすめている。R5年度に収蔵した掛川源一郎作品については約24万枚のネガ及びポジフィルムから約1万2千枚のデジタル化が終了した。
コレクションの効果的な活用	●R5年度に新たに収蔵した作品を「新収蔵品展」において公開するほか、「この1点を見てほしい。」を開催し、作品の魅力を深く掘り下げた研究の成果を紹介する。 ●両方の展示室を使って開催する「星の瞬間」展では、学芸員のコレクション研究と現代美術作家の作品により、北海道美術の歴史を再検証する。	●R5年度に新たに収蔵した作品を「新収蔵品展」で紹介したほか、「この1点を見てほしい。」を2回実施し、コレクションについての調査の成果を展示した。 ●「星の瞬間」展では、学芸員10名とCAI現代美術研究所/CAI03及び現代美術作家9名が計41点の「北海道の美術」作品をピックアップし、学芸員は研究成果を、作家は当館の「北海道の美術」作品と自作を関連づけて展示することで新たな魅力を発信した。 ●「芸術週間」（11/1～7）中、初めての試みとしてカフェスペースに当館所蔵のガラス作品2点をケース内展示した。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]						今後の対応方向 [ACTION]
		前年度実績	目標値 (a)		実績値 (b)	達成率 (b/a)	指標の判定	項目評価		総合評価	
			設定の考え方					成果・課題			
優れたコレクションの形成	収集方針に基づく収集活動 [定性]	—	—	—	—	—	①	b	【成果】 ●購入及び寄贈により現代日本の「ガラス工芸」と戦後の「北海道の美術」コレクションを充実させることが出来た。 【課題】 ●収集方針に掲げながらも、新たな収蔵が進まない分野についてコレクションの充実を図る必要がある。なお、作品価格高騰のため、「エコール・ド・パリ」については、収集が叶わない状況にある。	B	【優れたコレクションの形成】 ●収集計画に基づき、今後も広く情報収集を行い、コレクションの充実を目指す。 【所蔵作品の適切な保管】 ●データベースの精度を高めるために点検し、誤りを適宜修正する。また、適切な保存環境のもとで所蔵作品を管理するとともに、必要に応じて修復を行う。 【コレクションの効果的な活用】 ●調査研究等を深めることでコレクションの魅力を掘り起こし、展覧会や事業等において紹介する。
所蔵作品の適切な保管	所蔵品データベースの整備率	100%	100.0%	R5年度末までに収蔵した全作品のうち、R6年度末までに18システムに情報登録を予定する作品の割合	100.0%	100.0%	①	a	【成果】 ●新収蔵作品を含めデータの登録が完了した。また、過去データの誤りを点検し、適宜修正した。 保存環境の維持と収蔵作品の計画的な修復を行った。 【課題】 ●過去の作品登録データの誤りを引き続き修正するとともに更新を適宜反映していく必要がある。 ●二次資料のアーカイブ化に関しては、業者委託も含めて検討し、促進を図る必要がある。 ●作品の経年劣化を踏まえ、継続的に適切な修復を実施していく必要がある。		
	適切な保管環境の維持と所蔵作品の計画的な修復 [定性]	—	—	—	—	—	①				
コレクションの効果的な活用	コレクションの活用の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	b	【成果】 ●展示、教育普及事業、情報発信等、美術館活動の多くの場面に活用することができた。 【課題】 ●コレクションのさらなる活用について引き続き様々な方法を検討する必要がある。		

R 6 年 度 美 術 館 評 価 調 書

B 多彩で特色ある展示活動の充実

近代美術館

【基本的運営方針】

収蔵作品を紹介する「近美コレクション」展を、当館の個性を強く発信するとともに、コレクションをすべての人々に向かって開く最も重要な機会と位置づけ、コレクションの魅力や調査研究の進展を伝えます。また、「特別展」では、様々な鑑賞のニーズに応えるとともに、人間と文化の多様性について理解を深める機会となるように、幅広い時代と分野のアートを紹介します。併せて、個性の異なる誰もがアートに親しむことができる展示について研究を進めます。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画〔PLAN〕	事業実施状況〔DO〕
多様なニーズに応える 展示会の開催	●近美コレクションについては、エコール・ド・パリの象徴的な画家バスキンを検証する「越境者バスキン」、アートギャラリー北海道事業として苫小牧市美術博物館の所蔵品を紹介する「港の今昔」等を開催するほか、子どもが大人を連れて訪れたいような美術館を目指し、新たな企画として「ウィズ・キッズ'24」を開催する。 ●国内外の優れた作品を紹介する特別展については、国宝《鳥獣戯画》ほかを紹介する「京都 高山寺展」をはじめ、皇居三の丸尚蔵館の収蔵品から、北海道ゆかりの作品を中心にピックアップした「皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝」、北海道の美術を学芸員と現代アーティストによって読み直す「星の瞬間」、北海道書道連盟の70周年展(貸館)等、近世の日本画や北海道の美術などの幅広い時代・地域・分野に渡る5つの展示会を開催する。	●近美コレクションⅠ期「越境者バスキン」においてバスキンを中心としたエコール・ド・パリの画家たちを紹介。Ⅱ期「浮世絵のヒロインたち」では、浮世絵美人画を3期に分けて計250点を展示した。アートギャラリー北海道事業の展示会では、苫小牧市美術博物館の所蔵絵画や資料によって、港を中心に発展した街の姿と歴史を紹介した。「ウィズ・キッズ'24」(Ⅱ期、Ⅲ期で実施)では、作品の形と素材に注目し、平易な解説により、子どもが美術に親しみやすい展示を行った。 ●特別展では、国宝《鳥獣戯画》等を展示した「京都 高山寺展」、国宝「動植綵絵」を含む皇室に継承された名品と北海道及び皇室をつなぐ優品を一堂に紹介した「三の丸尚蔵館展」、学芸員とCAI現代美術研究所/CAI03及び現代美術作家が当館コレクションを活用しながら北海道美術を再考した「星の瞬間」展等、5つの展示会を開催した。
観覧者拡充のための工夫	●チラシやポスター等の紙媒体のほか、道立美術館ポータルサイト、ホームページ、X(旧ツイッター)、フェイスブックを通じて、展示会情報や見どころを細やかに発信する。 ●当館収蔵作品のなかでも人気の高い片岡球子の「面構」シリーズ、岩橋英遠の《道産子追憶之巻》を、それぞれⅠ期とⅡ期のコレクション展において展示する。 ●障がい者、子どもを対象とした展示について研究を深める。	●チラシやポスター等のほか、ホームページ、X(旧ツイッター)、フェイスブックを通じ、展示会情報や見どころを細やかに発信した。 ●片岡球子「面構」、岩橋英遠《道産子追憶之巻》はコレクション展のⅠ、Ⅱ期及び、「星の瞬間」展で展示し、鑑賞機会を充実させた。 ●近美コレクションでは、全ての展示において作品鑑賞のためのワークシートを展示室内に配置。計16種を提供し、うち4種はR6年度新規作成した。 ●「ウィズ・キッズ'24」では、北海道造形教育連盟に所属する教員より助言を得て、展示物の目線を子供の高さに近くするほか、解説文は短めにする等の工夫をした。Ⅲ期では、手で触れて親しむ「作品に さわってみよう!」コーナーを設けた。
館外における鑑賞 機会の提供	●道内外の美術館からの作品借用希望に協力し、当館来館者以外にもコレクションの鑑賞機会を提供する。主な貸出予定は、道立旭川美術館「オブ・アート展」に約120点、道立釧路芸術館「自然への眼差し」展に5点、三岸好太郎美術館「モダニストの蝶」展に3点、等。	●道立旭川美術館「オブ・アート展」に56点、道立三岸好太郎美術館「モダニストの『蝶』」展に3点、「わがこころの街ー好太郎と画家たちの札幌」展に28点、道立釧路芸術館「自然へのまなざし」展に5点、木田金次郎美術館「木田金次郎ストーリーズ」展に16点の貸出しを行った。このほか知事公館、知事室に5点を貸出した。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定〔PLAN〕			評価〔CHECK〕						今後の対応方向 〔ACTION〕
		前年度 実績	目標値(a)		実績値 (b)	達成率 (b/a)	指標の 判定	項目評価		総合評価	
				設定の考え方					成果・課題		
多様なニーズに応える 展覧会の開催	展覧会の観覧者数（※展覧会毎の内訳は下表のとおり）	(常) 10,143 (特) 121,402	(常) 31,152 (特) 137,662	(常)過去5年間の上位3年間の 平均(特)主催者申出又は予算 要求上の人数	(常) 39,738 (特) 152,128	(常) 127.6% (特) 110.5%	①	b	【成果】 ●特別展「高山寺展」「三の丸尚蔵館展」、コレクション展「浮世絵のヒロ インたち」を中心に、多数の観覧者を迎えることができた。 【課題】 ●国宝を展示し多数の入館者があった「高山寺」展では、混雑状況に関する 情報提供への不満の声が多くあり、今後、来館予定者が事前に情報取得しや すいように配慮していく必要がある。	B	【多様なニーズに応える展覧会の開催】 ●海外の美術をはじめ、多彩な地域の美術の美術の紹介に努める。また、社会包摂を意識し、多様な 鑑賞者が楽しめる展覧会企画を探る。
	観覧者の満足度	(常) 91.4% (特) 85.9%	(常) 91.4% (特) 93.3%	来館者アンケートによる過去 5年間の最高値	(常) 91.1% (特) 84.9%	(常) 99.7% (特) 98.8%	②				
観覧者拡充のための 工夫	観覧者に占めるリピーターの割合	(常) 64.0% (特) 73.8%	(常) 71.8% (特) 73.9%	過去5年間の最高値	(常) 80.7% (特) 85.5%	(常) 112.4% (特) 115.7%	①	c	【成果】 ●魅力ある展覧会企画と幅広い広報により、特別展・コレクション展ともにリ ピーター率で目標値を大きく上回った。コレクション展で「ウィズ・キッ ズ'24」展を2回行う等、児童生徒の来館を促し、年間を通じてコレクション 展ではほぼ1割が児童生徒になっている。 【課題】 ●日本美術及び現代美術を取り上げた特別展は、児童生徒の来館率が他より 低く6%程度であり、この世代への広報や周知方法を検討していく必要がある。		
	観覧者に占める児童生徒の割合	(常) 13.1% (特) 7.7%	(常) 10.0% (特) 10.0%	各展覧会の児童生徒の見込割 合	(常) 9.8% (特) 5.6%	(常) 97.6% (特) 55.5%	④				
	展示の企画構成やPR等の工夫〔定性〕	—	—	—	—	—	①				
館外における鑑賞機 会の提供	館外における展示活動の状況〔定性〕	—	—	—	—	—	①	b	【成果】 ●館外への作品貸出や、積極的なウェブ上での作品紹介等により、鑑賞機会 を提供することができた。 【課題】 ●輸送費の高騰により、道外からの貸出依頼が減少傾向にある。 (R3年度3件、R4年度1件、R5年度1件、R6年度0件)		

【展示会開催状況】

区分		展覧会名	計 画				実 績				
			会期	開催日数	観覧者見込数 (うち児童生徒)	1日当たり観覧者数	会期	開催日数	観覧者数 (うち児童生徒)	1日当たり観覧者数	特記事項
常設展		越境者バスキン／現代ガラスのオトマトベ ほか	4／1～6／16	62	10,974 (1,097)	177	4／1～6／16	62	7,752 (1,177)	125	
		浮世絵のヒロインたち／ウィズ・キッズ'24 ほか	7／9～9／26	63	11,151 (1,115)	177	7／9～9／26	60	24,815 (2,019)	413	
		ウィズ・キッズ'24／岩田藤七の軌跡 ほか	10／12～12／8	51	9,027 (903)	177	10／12～12／8	51	6,725 (646)	131	
		リーブル・ダルティスト／ウィズ・キッズ'25 ほか	3／29～3／30	2	－	－	3／29～3／30	2	446 (39)	223	
		常設展計	－	176	31,152 (3,115)	177	－	175	39,738 (3,881)	227	
特別展	館単独主催展	星の瞬間／変貌する20世紀ヨーロッパ・ガラス	1／5～3／16	61	8,761 (876)	144	1／5～3／16	61	8,896 (481)	145	
	実行委員会展	京都 高山寺展	7／9～9／1	47	56,400 (5,640)	1,200	7／9～9／1	48	82,981 (5,367)	1,728	
		皇居三の丸尚蔵館展	9／21～10／27	32	35,501 (3,550)	1,109	9／21～10／27	32	36,872 (748)	1,152	
	貸館展	「琳派×アニメ」展	4／20～6／2	38	35,000 (3,500)	921	4／20～6／2	38	20,781 (1,802)	546	
		北海道書道連盟創立70周年記念展	12／5～12／15	10	2,000 (200)	200	12／5～12／15	10	2,598 (49)	259	
	特別展計		－	188	137,662 (13,766)	732.2	－	189	152,128 (8,447)	804	
合 計		－	263	168,814 (16,881)	641	－	263	191,866 (12,328)	729		

※ 計の開催日数は、展示会の開催実日数

R 6 年度 美術館評価調書

C 学習の場と情報提供の充実

近代美術館

【基本的運営方針】

コレクション、展示、調査研究に結びつけながら、個人の成長・年齢や個性に応じたラーニング・プログラムを企画し、実施します。特に鑑賞学習支援ツールとオンラインについて、効果的な活用を進めます。また、コレクションのデジタル・データ化や、ホームページとSNSの活用によって、発信する情報の魅力アップに取り組みます。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画〔PLAN〕	事業実施状況〔DO〕
教育普及活動の充実	●作品鑑賞の補助ツールとしてスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」を利用した音声ガイドのコンテンツを増やす。特に、当館前庭と知事公館庭園の野外彫刻のガイドプログラムを充実させることで、当館・三岸好太郎美術館のあるエリア一帯の魅力向上を図る。 ●近美コレクションの内容と連動したワークショップを実施して、鑑賞と制作が一体化した芸術体験の機会を提供する。 ●「ウィズ・キッズ'24」の関連事業として、子どもを対象とするギャラリー・ツアーを実施する。 ●幅広い層に美術館の利用を促すため、外部研究者による特別展に関連した講演会、美術館の雰囲気を活かしたホールでのコンサート等を実施する。	●R5年度からスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」を用いて、近代美術館、三岸好太郎美術館、知事公館内外の作品8点を、画像・テキスト・音声による作品電子ガイドを制作し、新たに公開。コンテンツ数を延べ17件に増やした。音声ガイドは昨年続き、北海道札幌北陵高等学校と連携し、同校放送局の生徒がナレーションを行った。 ●コレクション展では、小学生と保護者を対象に鑑賞と制作を行うワークショップを開催したほか、「ウィズ・キッズ'24」では、作品を見たり、触れたりして能動的な鑑賞体験を提供するツアーやワークショップ等のラーニング・プログラムを計5回実施し、併せて138名の参加者があった。 ●「高山寺展」「三の丸尚蔵館展」等3つの特別展で外部研究者による講演会等を計7回、「星の瞬間」展ではCAI現代美術研究所/CAI03及び連携した北海道の現代美術作家9名によるトークを2回にわたって開催した。 ●道銀文化財団との連携によるミュージアム・コンサートを2回実施した。
情報提供の充実	●HP及びSNSを通じ、迅速かつ積極的に、展覧会や関連事業の情報を発信する。 ●展覧会紹介動画「北海道リモート・ミュージアム」の新規コンテンツを制作し、ネット上で公開する。 ●ARSコーナーの魅力向上のため、図書や図録を整理し利便性の向上を図る。上映中の「北海道リモート・ミュージアム」のアーカイブ動画については、新しいコンテンツを編集次第、古いコンテンツと入れ替えて更新する。 ●コレクションのデータベースを着実に整備し、所蔵作品の基本情報を公開する。	●SNS（フェイスブック、X）により、展覧会に関する投稿を延べ385回発信し、利用者への情報提供に努めた。 ●「北海道リモート・ミュージアム」は2件のコンテンツを新たに作成、配信するとともに、ARSコーナー上映モニターに追加し、利用者への情報提供に努めた。 ●コレクションのデータベースは、調査で判明した情報をデータ変更調書に基づいて随時、更新し、データ整備を図った。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [P L A N]			評価 [C H E C K]						今後の対応方向 [A C T I O N]
		前年度 実績	目標値 (a)	実績値 (b)	達成率 (b/a)	指標の 判定	項目評価		総合評価		
							成果・課題				
教育普及活動の充実	教育普及プログラムの実施件数	60件	65件	特別展関連25件＋近コレ 関連34件＋その他6件	53件	81.5%	③	b	【成果】 ●講演会をはじめ、学芸員による解説や外部講師によるワークショップ等、様々な教育普及事業を実施した。また、今年度から新たにコレクション展で子ども向け教育普及展覧会「ウィズ・キッズ」を開催した。 【課題】 ●ラーニング・プログラムの企画に際しては、より効果的の事業が実施できるよう対象・参加人数を想定の上、内容を検討することで、参加者数だけでなく質的な向上にもつなげる必要がある。	C	【教育普及活動の充実】 ●教育普及事業は、実施内容と適切な参加人数、募集方法等のバランスを考慮して計画をたてる。同時にワークシートのように来館者が誰でも利用できるプログラムも充実させていく。
	教育普及プログラムの参加者数	2,349人	2,660人	特別展関連1件あたり140人＋近コレ関連1件あたり10人＋その他1件あたり20人	2,656人	99.8%	②				
	教育普及プログラムの企画・実施状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				
情報提供の充実	A R S、図書コーナーの利用件数	3,521人	7,627人	H30、R1、R4の1日あたりの平均利用者数29.0人×開館日数263日	5,689人	74.6%	④	d	【成果】 ●SNSへの注力により、展覧会に関する情報発信を充実させた。 ●ウェブによる情報収集を重視する層が増えている状況をふまえ、従来の紙媒体による周知方法を見直しHP中心に転換することとした。SNSの投稿数は目標値を大きく上回った。 【課題】 ●HP・SNSを中心とした情報発信に転換する一方で、紙媒体主体で情報収集を行っている層への配慮（アクセス方法の問合せに対する丁寧な説明、ウェブの利用が困難な方への情報提供等）も十分に行う必要がある。 ●ARS、図書コーナーの魅力向上と利用促進に向けて、配架図書の冊数・内容の見直しや映像コーナーのプログラムを利用者自身で選択できるようにする等、今後改善すべき点がある。	C	【情報提供の充実】 ●HP・SNSでの情報発信を中心にしつつ、ウェブでの情報収集が困難な層への情報提供が滞ることがないように、来館者アンケートの意見等を踏まえて対応する。 ●ARS、図書コーナーについては、映像コーナーのコンテンツを更新、配架図書を見直し、利用しやすい配架や内容を検討する。
	利用しやすい図書・資料コーナーの整備	—	—	—	—	—	②				
	H Pアクセス件数	571,976件	977,098件	HPリニューアル後、年間通じて開館した令和4（2022）年度の値	700,795件	71.7%	④				
	S N Sの投稿数	273回	226回	フェイスブック、X（旧ツイッター）とも週2回＋AGH月間10回	385回	170.4%	①				
	北海道リモート・ミュージアムの公開件数	3件	2件	近美コレクション1期および2期にて新規コンテンツを制作	2件	100.0%	①				
	情報発信の工夫改善 [定性]	—	—	—	—	—	①				

R 6 年 度 美 術 館 評 価 調 書

D 活動の基礎となる調査・研究の推進	近代美術館
--------------------	-------

【基本的運営方針】

美術及び美術館に関する調査研究を、これまでの蓄積と新たな知見の上に立って推進するとともに、学芸員の資質向上を目的とした研修を行うことにより、活動全般の信頼性や企画における創造性を向上させます。また、調査研究の成果を、様々な形で発信し社会に還元します。併せて、リニューアルに向けた活動、施設、運営等に関する調査研究を進めます。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画〔PLAN〕	事業実施状況〔DO〕
調査・研究の推進	●今年度の近美コレクション展、特別展のほか、来年度以降開催が検討されている展覧会、特に自主企画展について、また作品収集について、調査・研究を着実に進める。 ●コレクション研究を推進し成果をわかりやすく示す展示として、「この1点を見てほしい。」を行う。また、「この1点」の拡大版とも言える「星の瞬間」展を開催するため、各学芸員が対象作家・作品の調査研究を深める。 ●リニューアルに向けて、他館のリニューアル事例の情報収集や視察を進めるとともに、実現のためのロードマップ（行程表）をブラッシュアップする。 ●新しい展示用具や照明機器、設備等について情報収集を行い、見やすさや作品保全機能、展示効果向上のための研究を進める。 ●新任学芸員を対象とした研修を行う。	●近美コレクション展をはじめ、特別展や次年度の企画展について調査研究を進めた。また収集作品についても、新収蔵の作品を中心に調査研究を行い、「新収蔵品展」で作品解説を付して展示した。 ●「この1点を見てほしい。」を2回開催した。「星の瞬間」展では、各学芸員が出品作品とその周辺の調査・研究を進め、図録と展示解説にて研究成果を発表した。 ●リニューアルに向けて滋賀・大阪・白老の博物館施設を視察する等、情報収集を行うとともに、ロードマップの内容・扱いを整理した。 ●新しいLED照明についての情報収集を行い、新収蔵作品展のため専用カラーフィルターを購入した。 ●新任学芸員を対象とした研修を5月に実施した。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]						今後の対応方向 [ACTION]
		前年度実績	目標値(a)		実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価(※定量指標がないため最高評価はb)		総合評価	
				設定の考え方					成果・課題		
調査・研究の推進	学芸員による調査・研究の報告や発表の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	b	【成果】 ●各学芸員が調査・研究を進めた。「この一点を見てほしい。」「高山寺展」「三の丸尚蔵館展」「星の瞬間」等では、展示解説や図録等においてその成果を発表した。また、次年度以降の事業に向けても各学芸員が調査・研究に意欲的に取り組んでいる。 ●新任学芸員研修を実施し、道教委の学芸員としての基本的な心構えや専門知識・技能を習得する機会を設けた。	B	【調査・研究の推進】 ●展覧会や所蔵品に関係する調査研究を進め、その成果を展示や紀要を通して引き続き発表していく。
	学芸員の研修等の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①		【課題】 ●遠方で開催されるオンラインではない学芸員研修への参加機会の充実を図ることが必要		

R 6 年 度 美 術 館 評 価 調 書

E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

近代美術館

【基本的運営方針】

地域の文化活動や学校の教育活動と連携・協働することで、美術に対する関心を高め、美術館の利用促進を図り、地域のアートの活性化に寄与します。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画〔PLAN〕	事業実施状況〔DO〕
多様な機関との連携・協力	●北海道美術館協会及びボランティアとの取り組みを継続し、図録や美術関連グッズの販売、ギャラリー・ツアー、アート・レファレンス・サービス（ARS）、資料整理、美術講座など、幅広い活動に協力する。 ●北海道の中核的な美術館として、北海道美術館学芸員研究協議会と協力して道内美術館のネットワークを強化するとともに、学芸員の相互研鑽等に協力する。 ●北海道内の多様な美術館等が相互に連携し、本道全体がアートの舞台となることを目指す「アートギャラリー北海道（AGH）」事業として、苫小牧市美術博物館のコレクション展の実施、AGH月間における広報、来年度以降の展覧会の企画、ネットワーク参加館への連携協力等を行う。 ●CAI現代美術研究所/CAI03及び現代美術作家と連携し、「星の瞬間」展を実施する。 ●500m美術館や道銀文化財団に協力し、美術の振興および地域作家の顕彰に寄与する。 ●札幌交響楽団等に協力し、美術ファン以外にもコレクションへの関心を高める。	●協会及びボランティアの日常的な活動に協力、助言、研修を行い、各部の養成研修においても多くの講座等を担った。ボランティアが使用するプリンターや掲示プレートの整備、「アート・クラブ」「ジュニア・アート・クラブ」等の事業内容や方法について助言、会場提供等で協力した。 ●第33回北海道美術館学芸員研究協議会の開催にあたり運営および会場の提供等に協力した。 ●「アートギャラリー北海道（AGH）」事業として苫小牧市美術博物館のコレクションによる「港の今昔」展を近美コレクション展と併せて開催し、7,489名の来場者を迎えた。またAGH月間では周年を迎えた連携館紹介の特設コーナーを設けるとSNSでも集中的に広報し、活動の周知に努めた。 ●「星の瞬間」展では、CAI現代美術研究所/CAI03及び現代美術作家と連携して北海道美術の紹介を行った。 ●500m美術館専門委員会や道銀文化財団に協力し、地域の芸術文化振興および地域作家の顕彰に寄与した。 ●札幌交響楽団定期演奏会に際し、当館のコレクションからプログラムに掲載する画像を提供し、学芸員が作品解説を執筆した。 ●貸館事業として北海道高等学校文化連盟、北海道書道連盟等5団体に当館施設を貸与し、その活動に協力した。
学校等の教育機関との連携・支援	●自主研修や職場体験等、学校等の要望に応じた教育プログラムを提供する。 ●鑑賞学習支援ツールについてチラシ等で周知し、貸出を行う。 ●「オンラインアート教室」では多様なプログラムを用意するとともに、学校からの要望に応じて授業内容を構成し、効果的な鑑賞学習を実施する。 ●道立図書館と連携し、特別展ごとに関連図書の閲覧コーナーを設け、「もっと知りたい」という来館者の思いに応える。 ●キャンパスパートナーシップについては、本庁とも連携しながら各学校の状況の把握に努め、参加を働きかける。 ●学校教育における美術館活用を促すため、指導者研修を実施する。 ●道内外の大学からの要請に応じ、博物館実習（館園実習、見学実習）を実施する。 ●「学芸員インターンシップ（実務研修）」に基づき、学芸業務に携わる実務研修生を広く募集し受け入れる。	●自主研修・職場体験を随時受け入れた。年度当初に利用案内チラシ（お役立ちシート）を配布し、利用を促進した。 ●鑑賞学習支援ツールは15件の貸出に対応した。またチラシ等で利用方法を周知したほか、指導者研修でも実用例を紹介した。 ●「オンラインアート教室」は8校に対し、各校・各学級の実態、教員の要望に応じた授業を計10件行った。 ●「琳派×アニメ展」「高山寺展」「三の丸尚蔵館展」「星の瞬間」展の会期中、道立図書館の関連図書閲覧コーナーを設け来館者の閲覧に供した。 ●夏季と冬季の学校休業期間中に指導者研修を実施した。夏季は5名、冬季は16名の参加者があった。 ●博物館実習について、館園実習では3名の大学生を、見学実習では2校を受け入れた。 ●昨年度に引き続き、北海道札幌北陵高等学校放送局の協力のもと、「ポケット学芸員」電子ガイド・コンテンツ8件を新たに制作・公開した。 ●「学芸員インターンシップ制度」に基づき、実務研修生1名を2か月間受け入れた。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]							今後の対応方向 [ACTION]
		前年度 実績	目標値(a)		実績値 (b)	達成率 (b/a)	指標の 判定	項目評価		総合評価		
				設定の考え方					成果・課題			
多様な機関との連携・協力	地域の団体やイベント等と連携した取組の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	b	【成果】 ●ボランティアの活動支援をはじめ、貸館事業への対応等、年間を通して多様な団体との連携を継続的に行った。「星の瞬間」展の実施に際しては、CAI現代研究所/CAI03及び現代美術作家と連携し、地域の芸術文化の活性化に貢献した。 【課題】 ●北海道美術館協会やさまざまな団体と連携・協力を図っていく必要がある。	B	【多様な機関との連携・協力】 ●引き続き様々な機会を捉えて多様な機関との連携を探っていく。 【学校等の教育機関との連携・支援】 ●学校における鑑賞授業等の支援のため、引き続き広報や研修を通じて美術館の利活用について周知し、必要な協力を行う。 ●オンラインアート教室は、人員体制や授業形態の見直し等により、持続可能な実施方法を検討する。	
	企業や団体等と連携したPR活動 [定性]	—	—	—	—	—	①					
	道内美術館等との連携・協力の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①					
	ボランティアとの連携・協力の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①					
学校等の教育機関との連携・支援	学校教育と連携した取組の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	c	【成果】 ●オンラインアート教室実施に加え、小中高校の自主研修等を受け入れ、学校の鑑賞教育や総合的な学習の時間における課題学習を支援した。 ●教員研修について、冬季より教員が申し込みやすいフォームからの申請を可能にしたこと等で、参加者数が夏季の3倍に増加した。 【課題】 ●オンラインアート教室は、実施希望が増加傾向にあることを踏まえて、プログラム内容や実施体制の効率化、継続のための方策が必要である。			
	児童生徒向け鑑賞教室（オンラインを含む）の実施件数	9件	7件	文化財博物館課作成の同事業実施要項「実施校数の目安」による	10件	142.9%	①					
	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	0校	1校	R4実績と同数（近コレ開催日数 R4:137日、R5:60日、R6:246日）	0校	0.0%	④					
	教員を対象とした研修の実施状況 [定性]	—	—	—	—	—	①					

4 リニューアル

検討経過

時 期	内 容	備 考
令和6年（2024年）5月	○ 第12回これからの北海道立近代美術館検討会議 ・近代美術館の整備方法等に係る技術的検討調査結果	5月15日（水）
7月	○ 第13回これからの北海道立近代美術館検討会議 ・近代美術館の整備方法	7月11日（木）
8月	○ 「北海道立近代美術館リニューアル基本構想の策定に向けた検討の考え方」 公表	8月6日（火）
11月	○ 「北海道立近代美術館リニューアル基本構想（素案）」公表 ○ パブリック・コメント募集（24人 59件）	11月25日（月） 11月26日（火）～12月25日（水）
令和7年（2025年）1月	○ 第14回これからの北海道立近代美術館検討会議	1月21日（火）
2月	○ 「北海道立近代美術館リニューアル基本構想（案）」公表	2月18日（火）
3月	○ 「北海道立近代美術館リニューアル基本構想」策定	3月27日（木）

その他詳細については、北海道教育委員会「北海道立近代美術館リニューアルの検討」

（<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kinbirenewal.html>）を参照。

5 名簿

北海道立近代美術館職員名簿（令和 7 年 3 月31日現在）

職 名	氏 名	発令年月日	前 職 等
館 長（非）	立 川 宏	R1. 7. 1	北海道教育委員会教育長
副 館 長	松 田 俊 也	R4. 4. 1	
学 芸 副 館 長	中 村 聖 司	R4. 4. 1	
総 務 企 画 部 長 （兼 事 業 課 長）	熊 澤 栄 司	R5. 6. 1	
学 芸 部 長 （兼学芸統括官）	村 山 史 歩	R6. 4. 1	北海道立釧路芸術館学芸主幹
総 務 企 画 課 長	富 田 拓 貴	R5. 6. 1	
総 務 企 画 課 主 査 （ 総 括 ）	川 窪 誠	R6. 4. 1	学校教育局高校教育課主査
専 門 主 任	北 川 昌 亨	R2. 4. 1	
主 事	谷 内 山 莉 花	R6. 4. 1	日高教育局主事
事 業 課 主 査	小 林 大 樹	R5. 6. 1	
主 任	佐 藤 仁 美	R6. 4. 1	北海道立近代美術館総務企画課主事
主 任	小 松 智 子	R6. 4. 1	生涯学習推進局文化財・博物館課主幹
主 事	妻 沼 泰 輝	R6. 4. 1	新採用
主 事（非）	森 谷 玲 子	H3. 4. 1	
〃	三 浦 彰 子	H7. 4. 1	
〃	沼 沢 千 佳 子	H7. 4. 1	
〃	黒 川 亜 紀	H13. 8. 1	
〃	佐々木 絵 梨 子	H14. 4. 1	
〃	山 下 深 雪	H21. 4. 1	
〃	佐々木 青	H21. 4. 1	
リサーチ推進課長	藺 部 容 子	R5. 4. 1	
主 任 学 芸 員	野 田 佳 奈 子	R2. 4. 1	
学 芸 員	河 本 真 夕	R5. 4. 1	
〃	村 山 美 波	R5. 4. 1	
上 席 専 門 員	久 米 淳 之	R4. 4. 1	
企 画 推 進 課 長	門 間 仁 史	R6. 4. 1	北海道立近代美術館主任学芸員
調 整 幹 （兼主任学芸員）	土 岐 美 由 紀	R6. 4. 1	北海道立近代美術館学芸統括官兼企画推進課長
学 芸 員	星 野 靖 隆	R2. 4. 1	
〃	熊 谷 麻 美	R5. 4. 1	
上 席 専 門 員	光 岡 幸 治	R5. 4. 1	
臨 時 学 芸 員	志 賀 万 有 美	R6. 4. 16	
〃	大 石 智 子	R6. 4. 29	

※（非）は非常勤であることを示す

※発令年月日：職名の発令年月日

沿革

- 昭和 46 年 7 月 新北海道立美術館建設調査費計上
- 昭和 46 年 10 月 新北海道立美術館建設調査委員会、道外の美術館を調査
- 昭和 46 年 12 月 新北海道立美術館建設調査委員より、建設に対する意見と道外美術館調査報告
を北海道教育委員会に提出
- 昭和 47 年 3 月 新北海道立美術館建設敷地、北 1 条西 17 丁目に決定
- 昭和 47 年 3 月 新北海道立美術館建設調査設計費計上
- 昭和 47 年 7 月 新美術館建設協議会発足
- 昭和 48 年 1 月 北海道教育庁内に新美術館建設準備室を設置
- 昭和 48 年 2 月 基本設計終了
- 昭和 48 年 10 月 実施設計終了
- 昭和 49 年 8 月 新美術館建設工事起工式
- 昭和 52 年 3 月 北海道立美術館条例一部改正、
新美術館の名称を「北海道立近代美術館」と決定
- 昭和 52 年 4 月 条例制定（常設展観覧料）
- 昭和 52 年 6 月 北海道立近代美術館建設工事完成
- 昭和 52 年 6 月 北海道立近代美術館職員の発令組織発足
北海道立近代美術館長（兼務）一気境公男教育長
- 昭和 52 年 7 月 北海道立近代美術館落成・開館記念式、一般公開
- 昭和 52 年 10 月 北海道立近代美術館長（兼務）一中川利若教育長
- 昭和 53 年 4 月 北海道立近代美術館長一倉田公裕
- 昭和 55 年 4 月 条例一部改正（常設展観覧料）
- 昭和 55 年 6 月 観覧者数 100 万人
- 昭和 58 年 4 月 機構改正（学芸部課名変更・主任学芸員新設）
- 昭和 59 年 4 月 条例一部改正（常設展観覧料）
- 昭和 59 年 8 月 観覧者数 200 万人
- 昭和 61 年 7 月 北海道立近代美術館長（兼務）一植村 敏教育長
- 昭和 62 年 3 月 第 2 収蔵庫工事完成
- 昭和 62 年 5 月 北海道立近代美術館長（兼務）一澤 宣彦教育長
- 昭和 62 年 7 月 北海道立近代美術館長一佐藤雅彦
- 昭和 62 年 8 月 開館 10 周年記念式
- 昭和 62 年 12 月 観覧者数 300 万人
- 昭和 63 年 5 月 北海道立近代美術館長一井関正昭
- 平成 2 年 4 月 機構改正（参事新設）
- 平成 6 年 4 月 北海道立近代美術館長（兼務）一阿部 茂教育長

平成 7 年 6 月 北海道立近代美術館長－阿部 茂
機構改正（学芸副館長新設）

平成 7 年 8 月 観覧者数 500 万人

平成 8 年 4 月 条例一部改正（常設展観覧料）

平成 9 年 4 月 北海道立近代美術館長（兼務）－南原一晴教育長

平成 9 年 7 月 開館 20 周年記念式

平成 11 年 4 月 北海道立近代美術館長（兼務）－鎌田昌市教育長

平成 11 年 5 月 観覧者数 600 万人

平成 11 年 7 月 北海道立近代美術館長－水上武夫

平成 12 年 4 月 条例一部改正（常設展観覧料）

平成 14 年 7 月 観覧者数 700 万人

平成 16 年 4 月 機構改正（学芸第三課新設）条例一部改正（常設展観覧料）

平成 17 年 7 月 観覧者数 800 万人

平成 18 年 7 月 北海道立近代美術館長－相馬秋夫

平成 19 年 10 月 開館 30 周年記念式

平成 20 年 4 月 条例一部改正（常設展観覧料）

平成 21 年 4 月 観覧者数 900 万人

平成 23 年 4 月 条例一部改正（三岸好太郎美術館を分館として設置・常設展共通観覧料新設）

平成 24 年 4 月 条例一部改正（年間観覧料追加）

平成 25 年 4 月 北海道立近代美術館長－高橋教一

平成 25 年 7 月 観覧者数 1,000 万人

平成 26 年 4 月 機構改正（総務企画部 2 課を 1 課に統合、学芸部 3 課を 2 課に再編）
条例一部改正（常設展観覧料）

平成 27 年 4 月 北海道立近代美術館長（兼務）－立川 宏教育長

平成 27 年 6 月 北海道立近代美術館長（兼務）－山本広海教育部長

平成 27 年 7 月 北海道立近代美術館長－嵐田 昇

平成 28 年 4 月 条例一部改正（使用料）

平成 29 年 8 月 観覧者数 1,100 万人
開館 40 周年記念式

平成 30 年 4 月 機構改正（学芸部 2 課を 1 課に統合）

令和元年 7 月 北海道立近代美術館長－立川 宏

令和元年 10 月 条例一部改正（観覧料及び使用料）

令和 2 年 8 月 観覧者数 1,200 万人

令和 3 年 4 月 機構改正（総務企画部 1 課を 2 課に再編）

令和 4 年 4 月 機構改正（学芸部 1 課を 2 課に再編）



令和6年度 北海道立近代美術館年報



令和7年9月12日発行

編集・発行／北海道立近代美術館

〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目

TEL. (011) 644-6881 (代)